

令和元年度 岐阜県日本語教育実態調査結果

令和2年2月
岐 阜 県

目次

第1章 調査概要

- 1 調査概要…p.1

第2章 アンケート結果

- 1 市町村調査結果…p.4
 - ・クロス集計…p.23
- 2 市町村教育委員会調査結果…p.27
- 3 国際交流協会調査結果…p.33
 - ・クロス集計…p.42
- 4 日本語教室代表者調査結果…p.43
- 5 日本語ボランティア調査結果…p.53
- 6 日本語学校調査結果…p.58
- 7 大学調査結果…p.63
- 8 大学日本語教師調査結果…p.68
- 9 外国人雇用企業調査結果…p.73
 - ・クロス集計…p.85
- 10 外国人学校・コミュニティ調査結果…p.88
- 11 日本語教室学習者調査結果…p.91
 - ・クロス集計…p.102
- 12 在住外国人調査結果…p.106
- 13 外国人労働者調査結果…p.115
- 14 外国人全般調査結果…p.126
 - ・クロス集計…p.133

第3章 ヒアリング結果

- 1 市町村調査結果…p.142
- 2 市町村教育委員会調査結果…p.145
- 3 国際交流協会調査結果…p.147
- 4 日本語教室代表者調査結果…p.149
- 5 日本語学校調査結果…p.151
- 6 大学調査結果…p.152
- 7 外国人雇用企業調査結果…p.153
- 8 外国人学校・コミュニティ調査結果…p.156
- 9 外国人調査結果…p.157

第1章 調査概要

1 調査概要

(1) 調査の趣旨

岐阜県における日本語教育機会の提供体制を整備するため、地域の日本語教室、市町村、外国人雇用企業、在住外国人等の現状やニーズを把握し、体制整備に向けた施策立案の基礎資料とする。

(2) 調査方法・対象・調査数等

① アンケート調査

(ア) 日本語教育実施主体等に関する調査

対象者	調査数	回答数	回収率(%)
【A】市町村	42	42	100
【B】市町村教育委員会	45	41	91
【C】国際交流協会	23	17	74
【D】日本語教室代表者	12	8	67
【E】日本語ボランティア	48	27	56
【F】日本語学校	8	5	63
【G】大学	5	5	100
【H】大学（日本語教師）	25	21	84
【I】外国人雇用企業	111	76	68
【J】外国人学校・コミュニティ	8	6	67
計	327	248	76

(調査期間：2019年10月2日から2019年10月25日まで)

* 調査対象の選定について

【A】市町村、【B】市町村教育委員会はその全てを、【C】国際交流協会、【D】日本語教室代表者、【F】日本語学校は調査時点で把握していた団体等を対象とした。

【E】日本語ボランティアについては、【D】と比較するため活動経験年数が2年未満の者を対象とし、各教室2名に依頼した。【G】大学は留学生に日本語教育を実施しているところのみを対象とし、【H】大学（日本語教師）は【G】で日本語教育を担

当している者を対象とした。【I】外国人雇用企業については、岐阜県日本語教育の総合的な体制づくり推進検討委員会委員の協力により、また、外国人労働者等受入企業連携推進会議構成企業を対象として調査を実施した。【J】外国人学校・コミュニティは、調査時点で把握していた団体等から、国籍や種別（学校・宗教団体・NPO）の異なるものを選び対象とした。

(イ)外国人ニーズ調査

調査対象	調査数	回収数	回収率(%)
【K】日本語教室学習者	223	138	62
【L】在住外国人	719	400	56
【M】外国人労働者	329	321	98
計	1,271	859	68

(調査期間：2019年10月21日から2019年11月8日まで)

* 調査対象の選定について

【K】日本語教室学習者は、県内日本語教室のうち、協力の申し出があった11教室の学習者を対象とした。【L】在住外国人は、県内市町村のうち、協力の申し出があった11市町在住の外国人を対象とした。【M】外国人労働者は、岐阜県日本語教育の総合的な体制づくり推進検討委員会委員の協力により、また、外国人労働者等受入企業連携推進会議構成企業を対象として調査を実施した。なお、いずれも対象年齢は16歳以上である。

②ヒアリング調査

(ア)日本語教育実施主体等に関する調査

対象者	調査件数
【A】市町村	6
【B】市町村教育委員会	3
【C】国際交流協会	3
【D】日本語教室代表者、【E】ボランティア	2
【F】日本語学校	3
【G】大学、【H】日本語教師	3
【I】外国人雇用企業	5
【J】外国人学校・コミュニティ	5
計	30

(調査期間：2019年10月23日から2019年12月13日まで)

(イ)外国人ニーズ調査

調査対象	調査数
【K】日本語教室学習者	6
【L】在住外国人	11
【M】外国人労働者	7
計	24

(調査期間：2019年11月3日から2019年11月29日まで)

<次ページ以降のグラフについて>

【記号の説明】

- ・「N」は母集団数を、「n」はサンプル数を示す。
- ・回答が1つの質問であっても、小数第2位を四捨五入して割合を求めているため、合計が100%にならないことがある。
- ・1項目を選択し、数字を入れる回答については、回答者数を超える回答数になることがある。

第2章 アンケート結果

1 市町村調査結果

1 外国人状況について

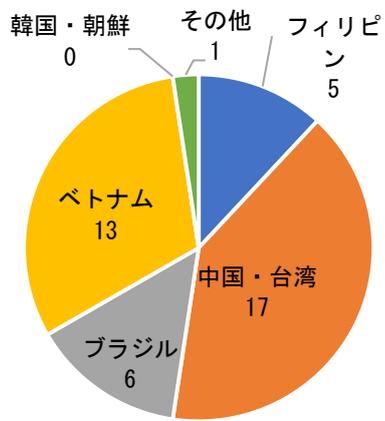
問1 国・地域別在住外国人数 多い順に5位まで (N=42)

(単位：自治体)

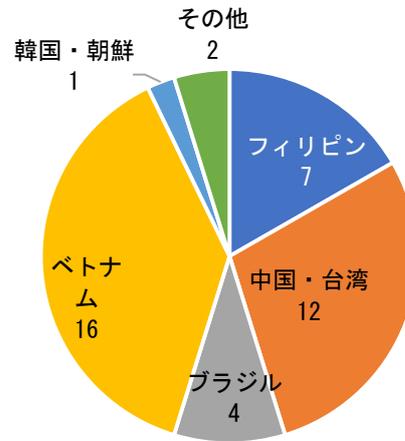
	1位	2位	3位	4位	5位
①フィリピン	5	7	13	10	4
②中国・台湾	17	12	7	5	1
③ブラジル	6	4	7	5	7
④ベトナム	13	16	8	4	0
⑤韓国・朝鮮	0	1	2	1	1
⑥その他	1	2	4	15	26

(調査時点：各自治体により 2019年6月～10月の間)

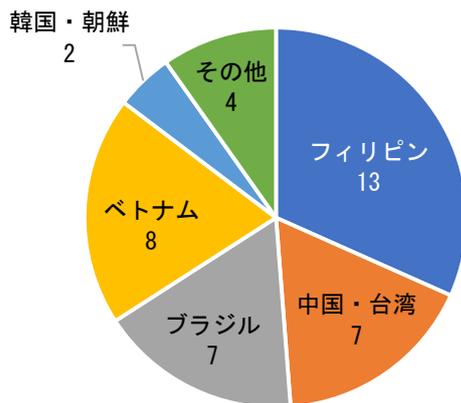
国・地域別第1位



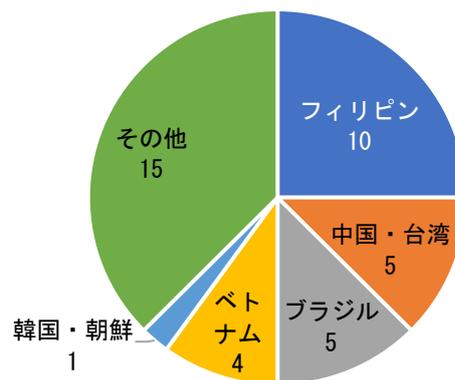
国・地域別第2位



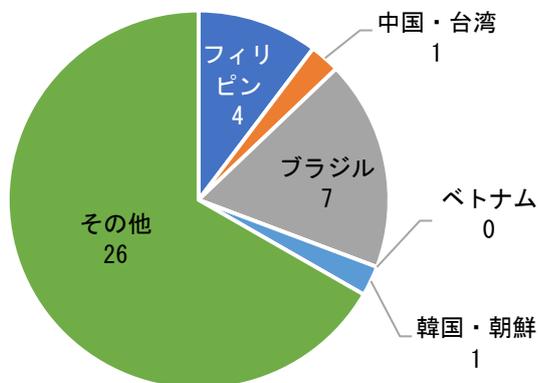
国・地域別第3位



国・地域別第4位



国・地域別第5位



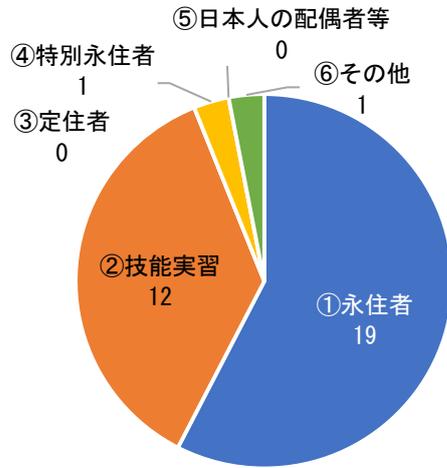
問2 在留資格別外国人数 多い順に5位まで (N=42)

(単位：自治体)

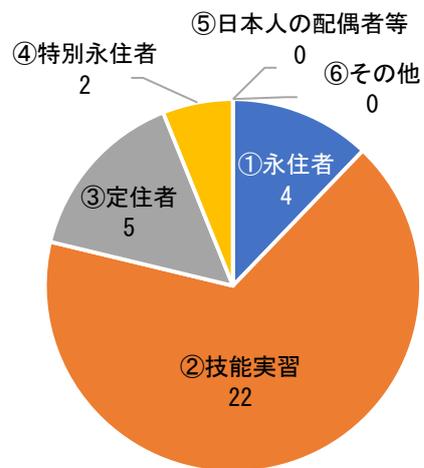
	1位	2位	3位	4位	5位
①永住者	19	4	8	2	0
②技能実習	12	22	18	7	4
③定住者	0	5	4	4	4
④特別永住者	1	2	0	6	3
⑤日本人の配偶者等	0	0	1	6	7
⑥その他	1	0	2	8	13

(調査時点：各自治体により 2019年6月～10月の間)

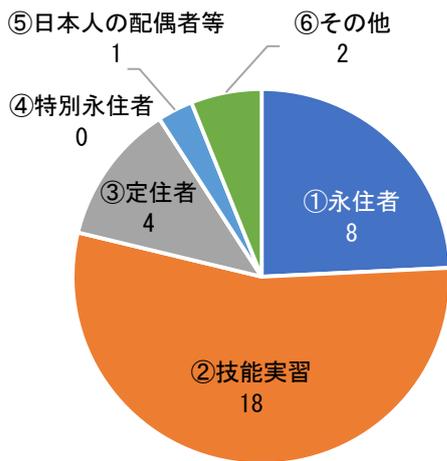
在留資格別第1位



在留資格別第2位



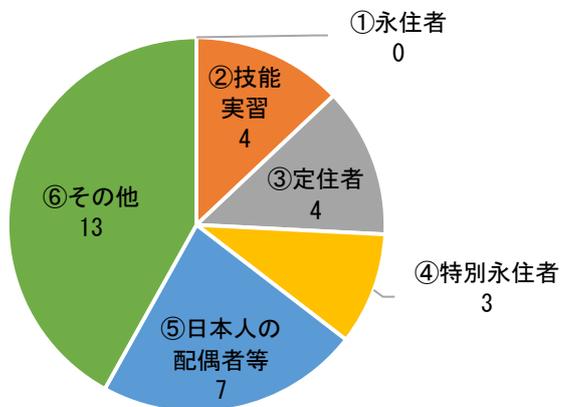
在留資格別第3位



在留資格別第4位



在留資格別第5位



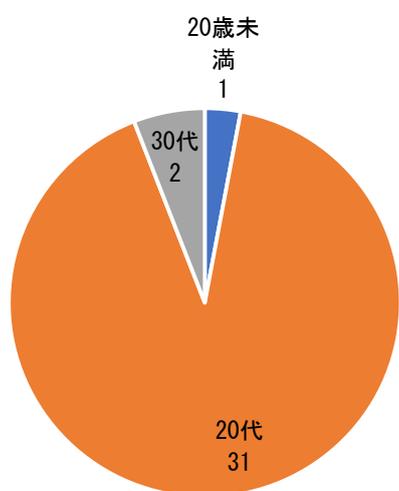
問3 年代別外国人数 多い順に5位まで (N=42)

(単位：自治体)

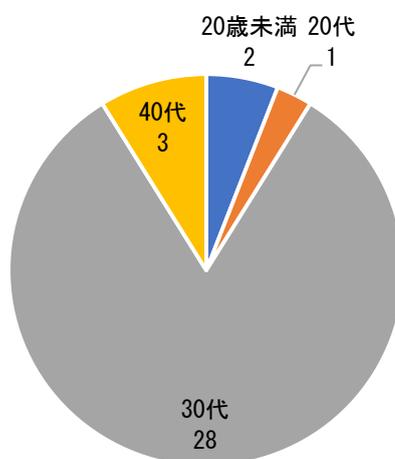
	1位	2位	3位	4位	5位
①10代未満	1	2	11	17	0
②20代	31	1	1	0	0
③30代	2	28	2	1	0
④40代	0	3	17	13	0
⑤50代	0	0	2	2	28
⑥60代	0	0	0	1	1
⑦70代以上	0	0	0	0	2

(調査時点：各自治体により 2019年6月～10月の間)

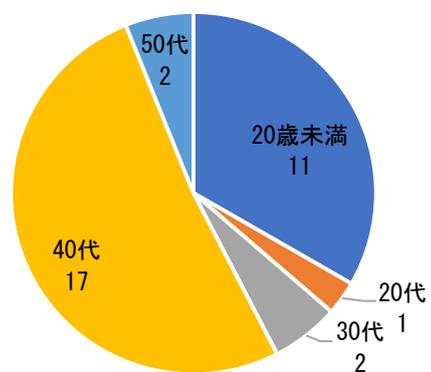
年代別第1位



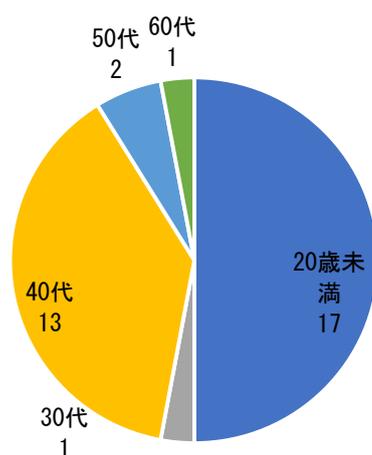
年代別第2位



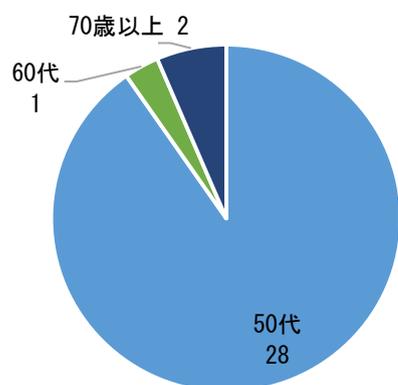
年代別第3位



年代別第4位

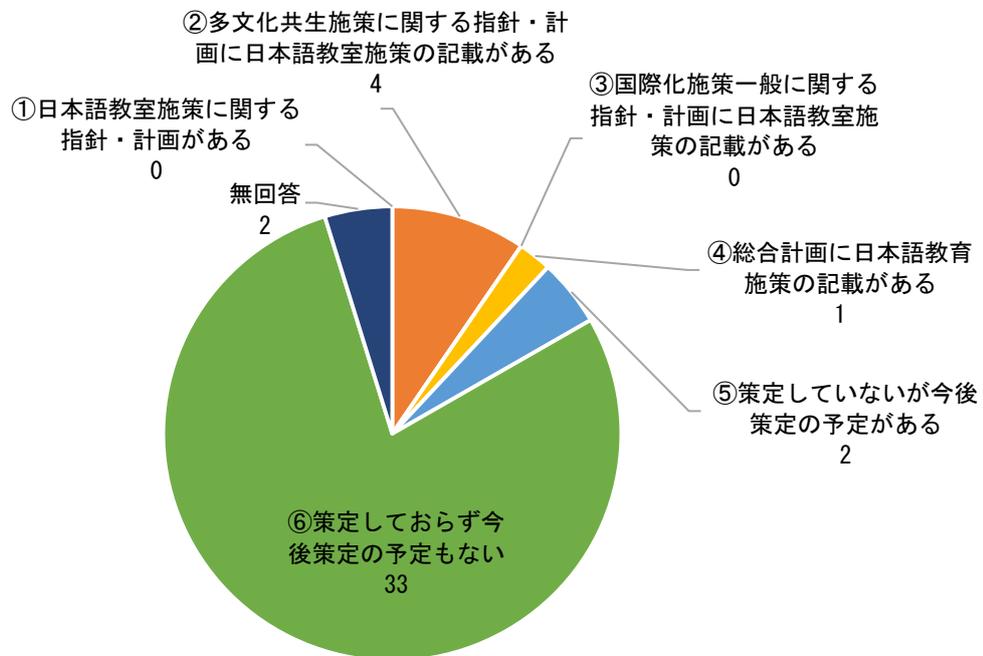


年代別第5位

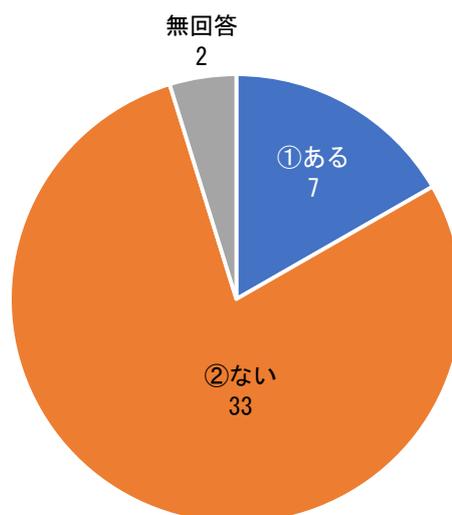


2 日本語教育に関する取り組みについて

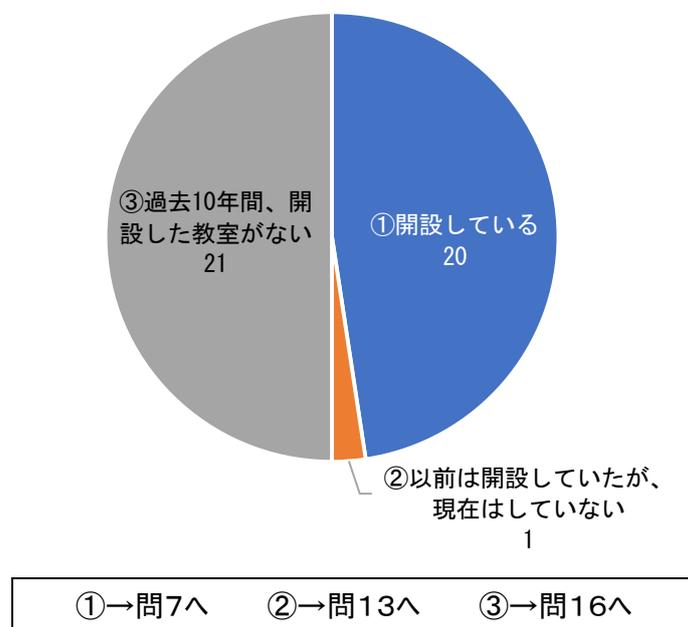
問4 貴市町村には日本語教育施策に関する指針・計画等がありますか。(N=42)



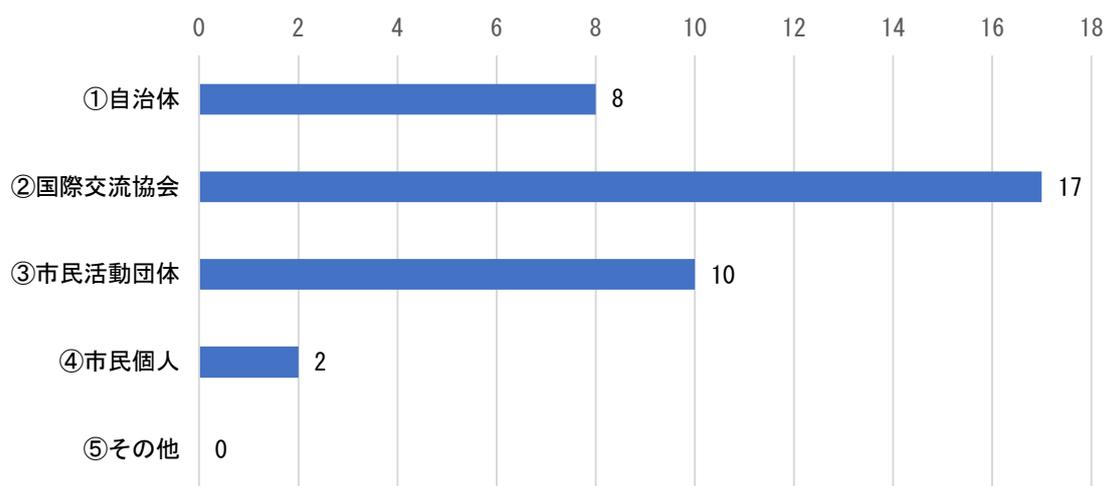
問5 規模を問わず、過去10年以内に外国人住民を対象に実施したアンケートやヒアリング調査があれば教えてください。(N=42)



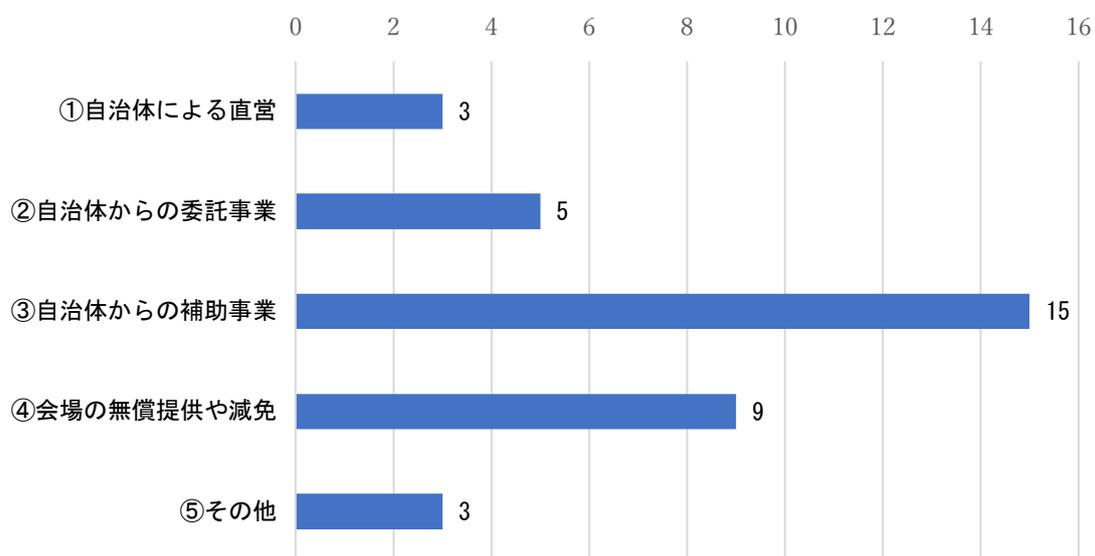
問6 令和元年度の貴市町村内の地域日本語教室の開設状況（把握しているもの）を教えてください。* 開設主体は問いません。大学や日本語学校等の教育機関は含みません。（N=42）



問7 教室の主催者は次のうちどれですか。該当するものすべてにチェックを入れてください。教室が複数ある場合は（ ）に数字を記入してください（n=20, 37 教室）



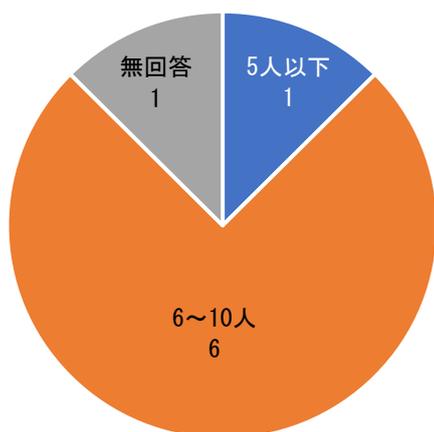
問8 各教室への貴市町村の関与等について、該当するものすべてにチェックを入れてください。教室が複数ある場合は()に数字を記入してください。(n=20, 37 教室)



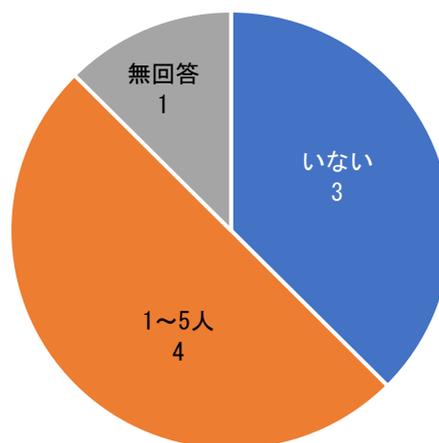
①②→問9へ ③④⑤→問18へ

問9 貴市町村が開講している教室について教えてください。教室が複数ある場合は、それぞれについてお答えください。(n=4, 8教室)

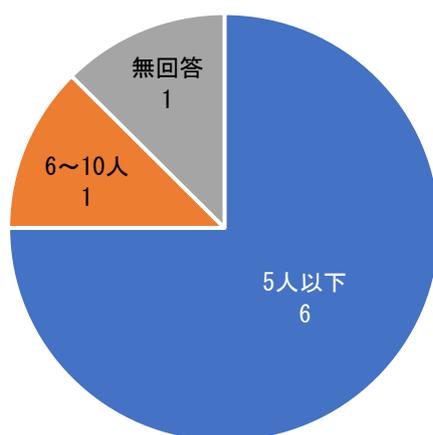
<日本語指導者登録人数>



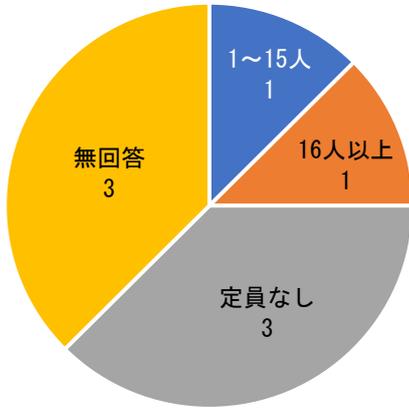
<指導者のうち、有資格者数>



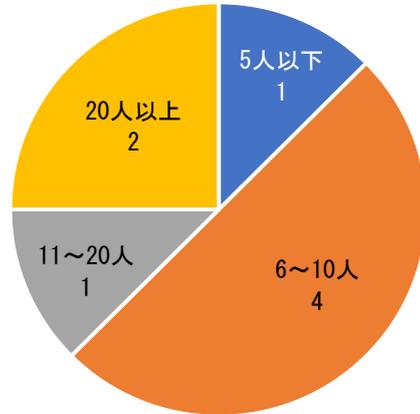
<指導者の平均参加人数>



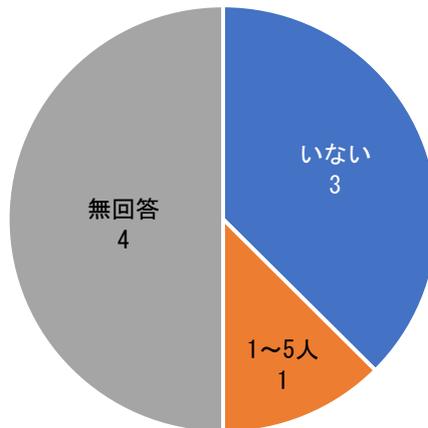
<学習者の定員>



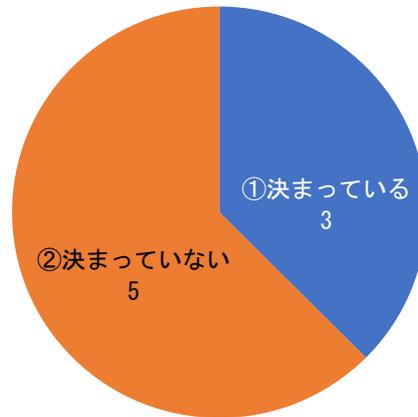
<受講者の平均参加人数>



<待機者数>



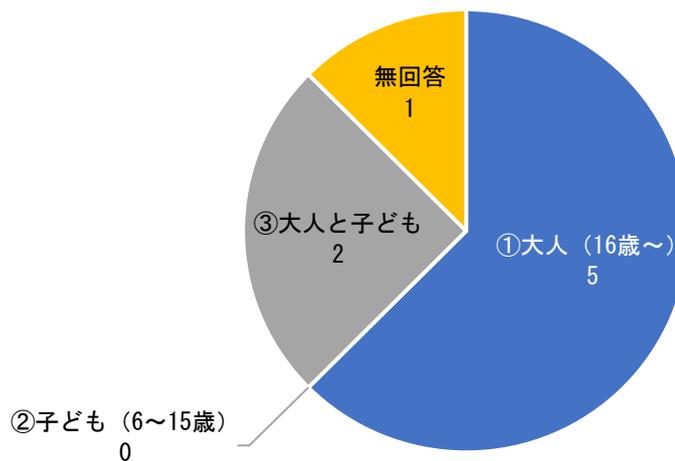
<使用教材>



①「決まっている」の教材名

- ・「せいかつのにほんご」大垣市国際交流協会作成（2）
- ・スーパー模試 N3（1）
- ・ドリル&ドリル N3 聴解・読解（1）
- ・ドリル&ドリル N3 文字・語彙（1）

<受講対象>



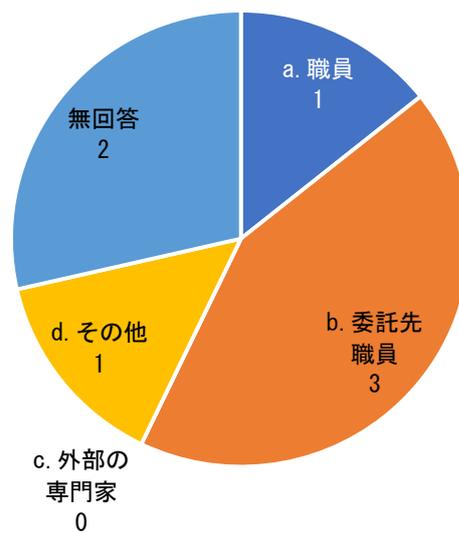
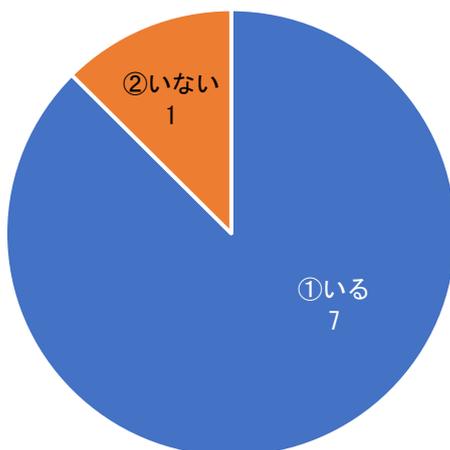
<年間事業費>



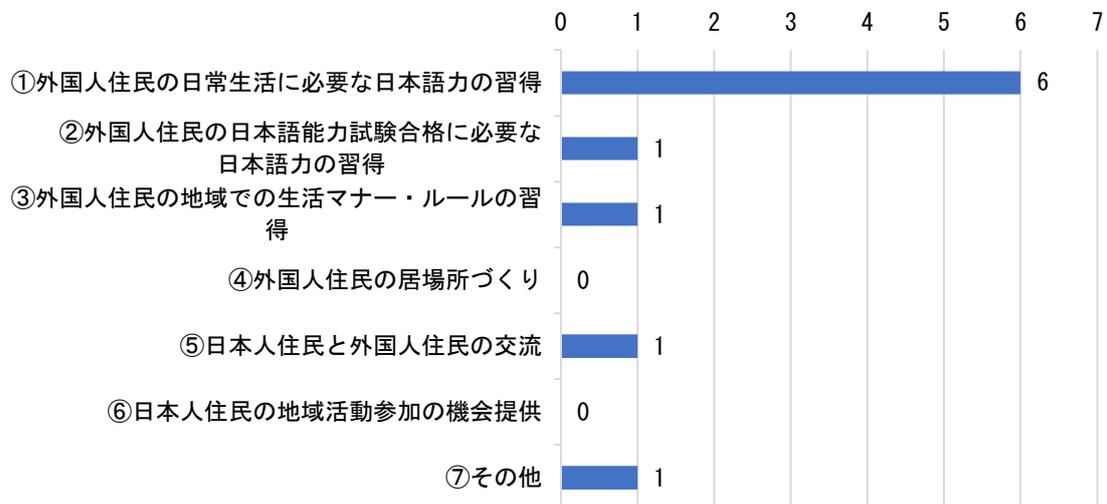
※複数教室の合計金額での記載は教室数で除した平均金額としている。

<コーディネーターの配置>

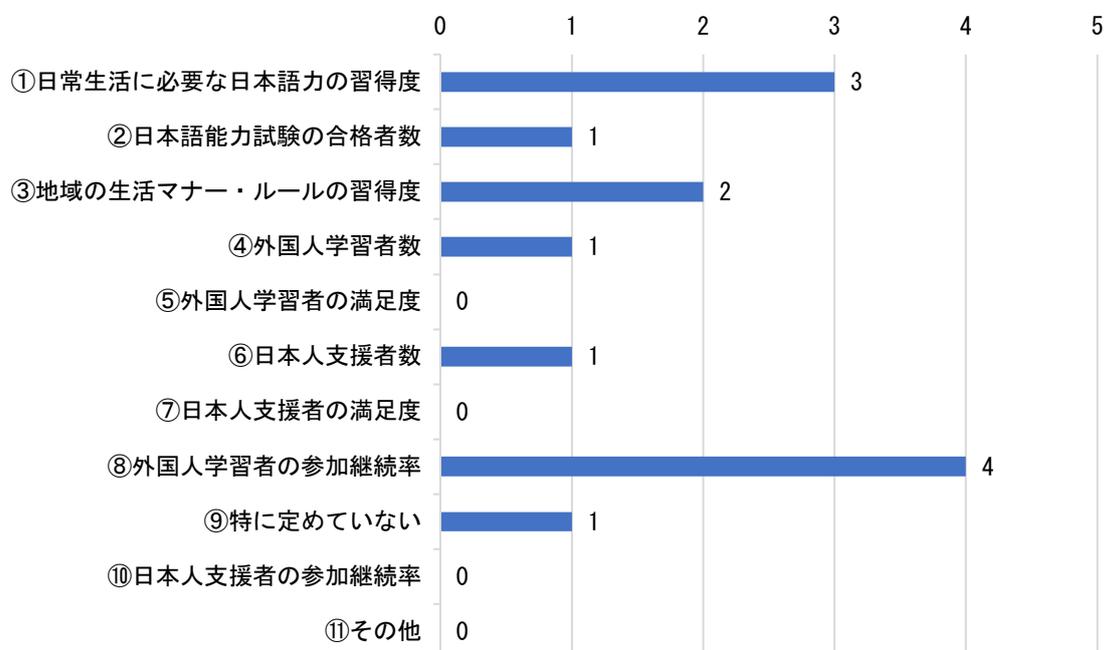
「①いる」の内訳



問 10 日本語教室活動の主目的を次から1つ選んでチェックを入れてください。
教室が複数ある場合は（ ）に数字を記入してください。（n=4, 8 教室）

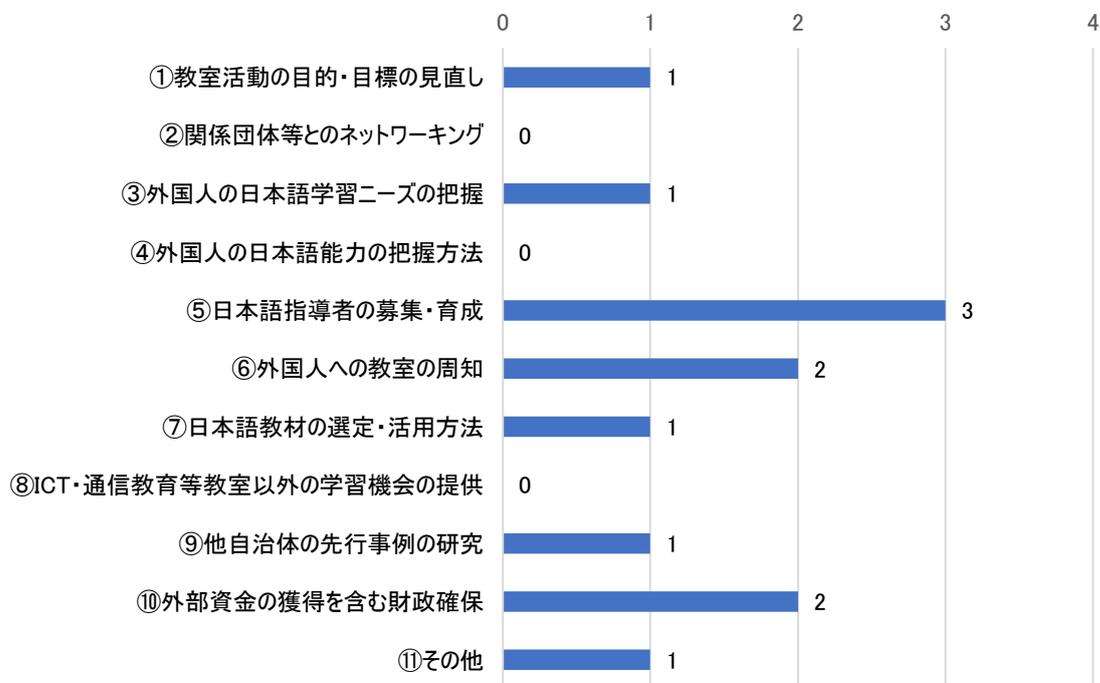


問 11 日本語教室活動の事業評価項目を教えてください。該当するものすべてにチェックを入れてください。教室が複数ある場合は（ ）に数字を記入してください。
(n=4, 8 教室)



問 12 今後の日本語教育事業の展開において、どのような課題に取り組んでいく必要があると思われますか。該当するものすべてにチェックを入れてください。

(n=4, 8 教室)



問 18 へ

問 13 教室が閉鎖された時期を教えてください。(n=1)

・②把握していない (1)

問 14 教室が閉鎖された理由を教えてください。(n=1)

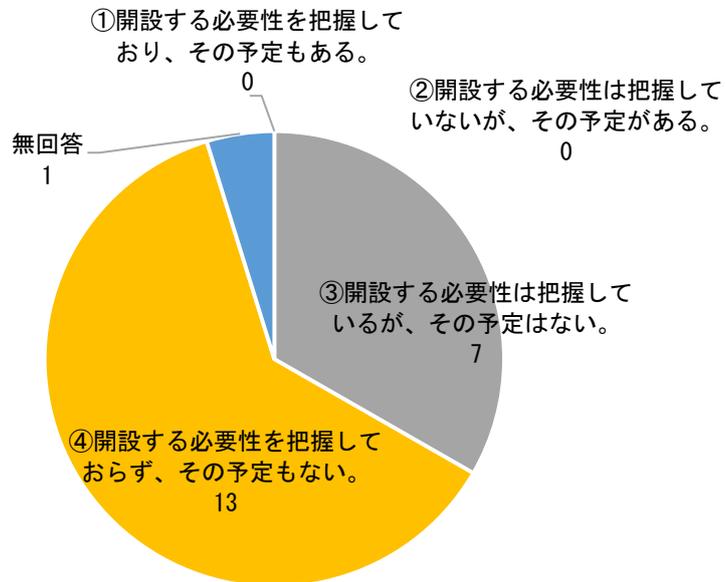
・無回答 (1)

問 15 貴市町村として、教室の再開の必要性和今後の予定について、次から 1 つ選んでください。(n=1)

・③再開する必要性は認識しているが、その予定はない。(1)

問 18 へ

問 16 教室開設の必要性と今後の予定について、次から 1つ選んでください。
(n=21)

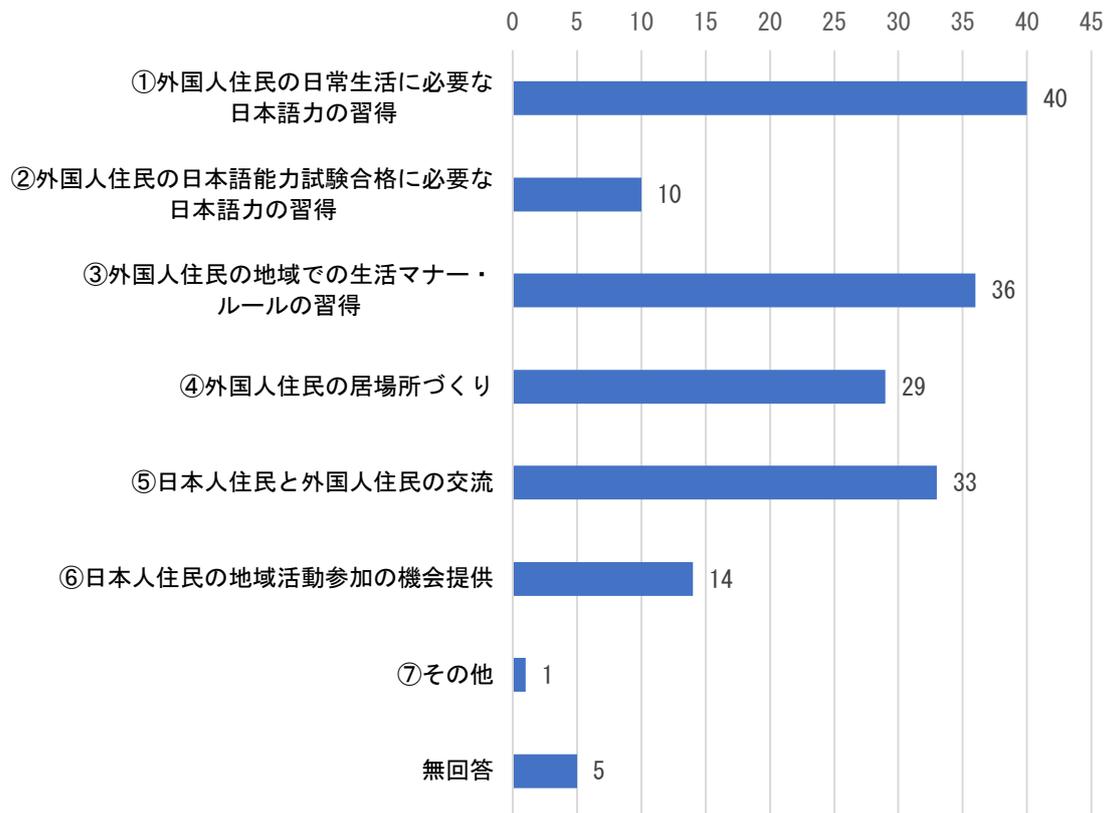


問 17 貴市町村が教室開設を検討すると仮定した場合の課題は何ですか。次から 1つ選んでください。(n=21)

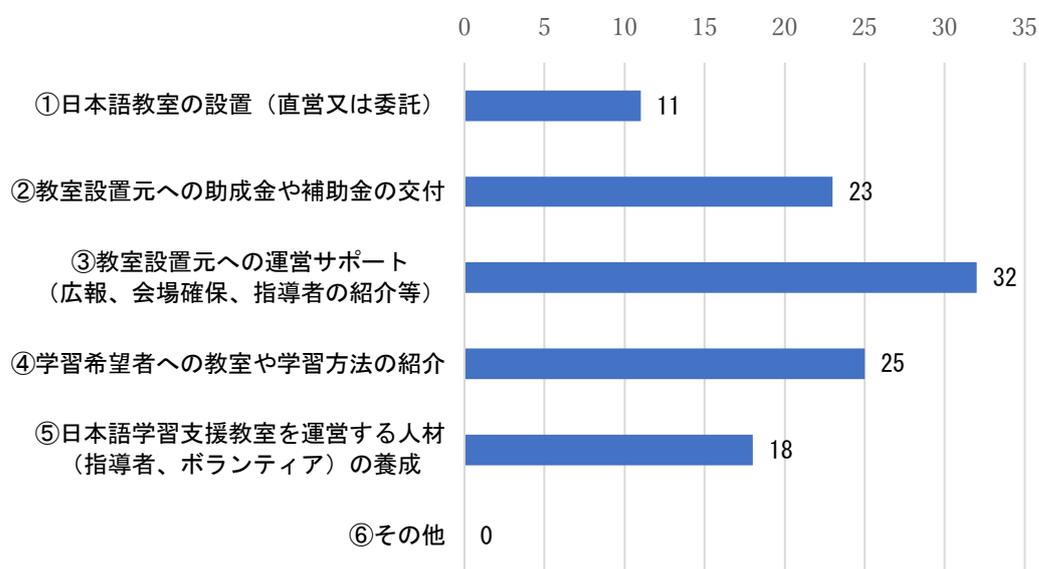


3 日本語教育における役割について

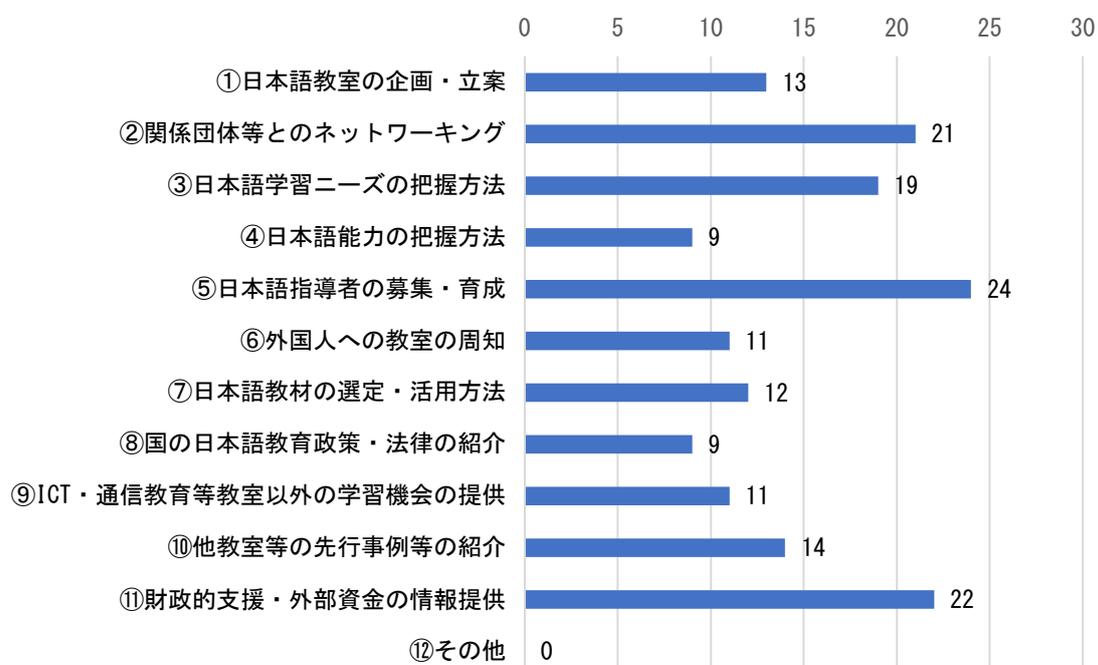
問 18 地域日本語教室の役割にはどのようなものがあるとお考えですか。重要だと思うものを4つまで選んでください。(N=42)



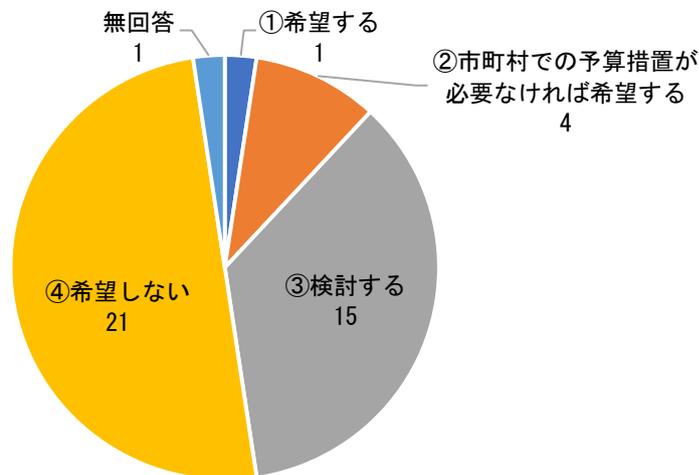
問 19 在住外国人に対する日本語教育における市町村の役割にはどのようなものがあると思われますか。該当するものすべてにチェックを入れてください。(N=42)



問 20 今後の貴市町村における日本語教育事業の実施・展開にあたり、県からどのようなサポートがあるとよいと思われますか。該当するものすべてにチェックを入れてください。(N=42)



問 21 県では、次年度、県内においてモデル教室の開設を予定しております。開設希望の有無についてご回答ください。（N=42）



問 22 その他、日本語教育事業に関して、県に対してご意見・ご要望・ご質問等がありましたらご自由にお書きください。

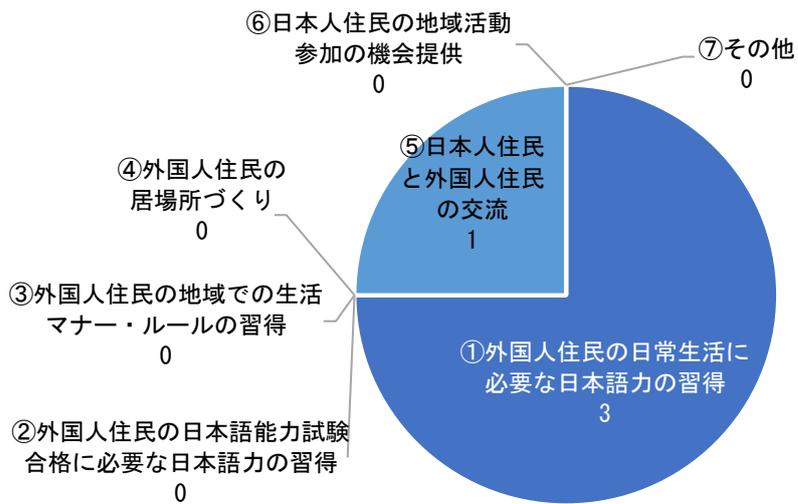
- ・まだまだ在住外国人への周知方法が難しく、知り合いを通じての申込等のみで受講生が他の言語の講座と比べ少ない傾向にあります。市が発行する広報等でも周知はしていますがそれを見ることが出来る外国人の方も少なく、周知方法を考える必要があると思っています。
- ・教室をボランティアでやってくださっている団体から、講師不足について相談を受けます。住所的な問題があると思いますが、ボランティアで活動してくださる方等の把握している名簿等があれば提供をお願いしたいです。また、講師募集等で良い手段等の事例があれば教えていただきたいです。
- ・要望事項（参加してみたい・利用してみたいと思うもの）：愛知県など多文化共生事業（日本語教室含む）の先進地への視察研修会の開催。／他市町村との顔の見える関係性づくり。／日本語教師の派遣（集団で教えることが出来る人）。／学習者のニーズ把握・地域日本語教室のあるべき姿について。
- ・外国人向けに日本で生活するうえでよく使われる日本語を多言語で解説したパンフレットを作成して配布する、簡単な防災ハンドブックの多言語版を配布する、無料で言葉から同時翻訳できるアプリなどを紹介するなど…各市町村で対応している制作費用が市町村分かかってしまうようなものを県で作成いただけるとよいと思います。

クロス集計

自治体における日本語教室との関わりによる違いについて

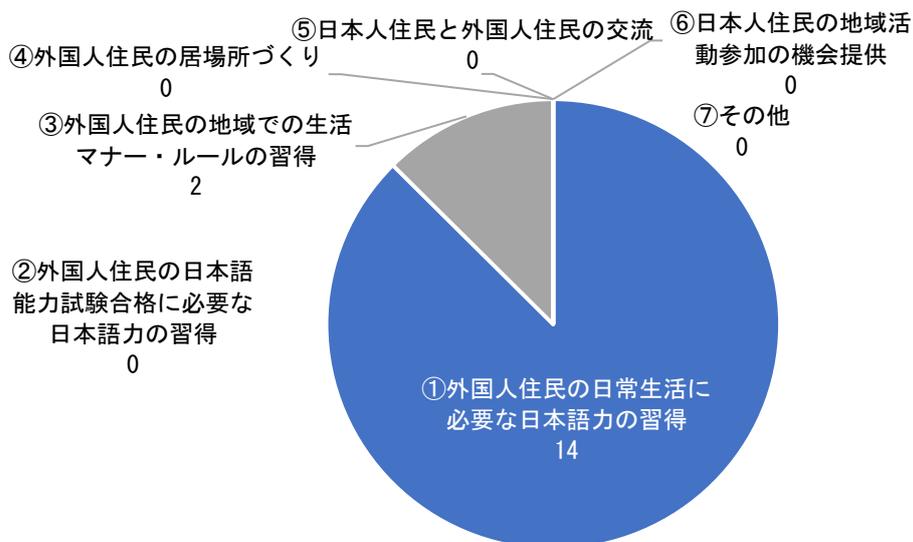
【直営または委託】問8①②×問18(優先順位1位のみ)

地域日本語教室の第一の役割(n=4)



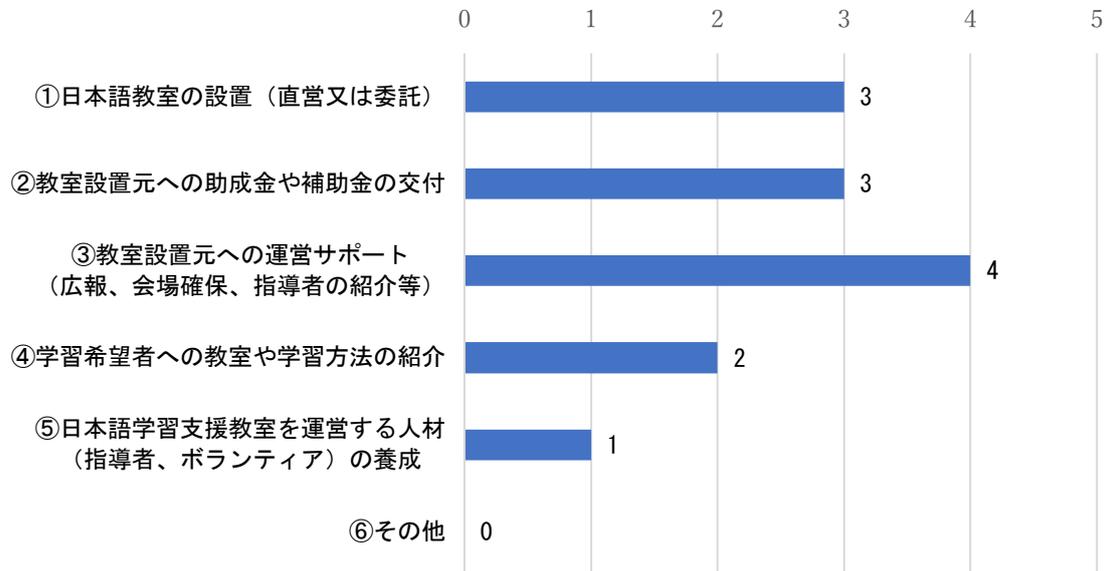
【補助等】問8③④⑤×問18(優先順位1位のみ)

地域日本語教室の役割(n=16)



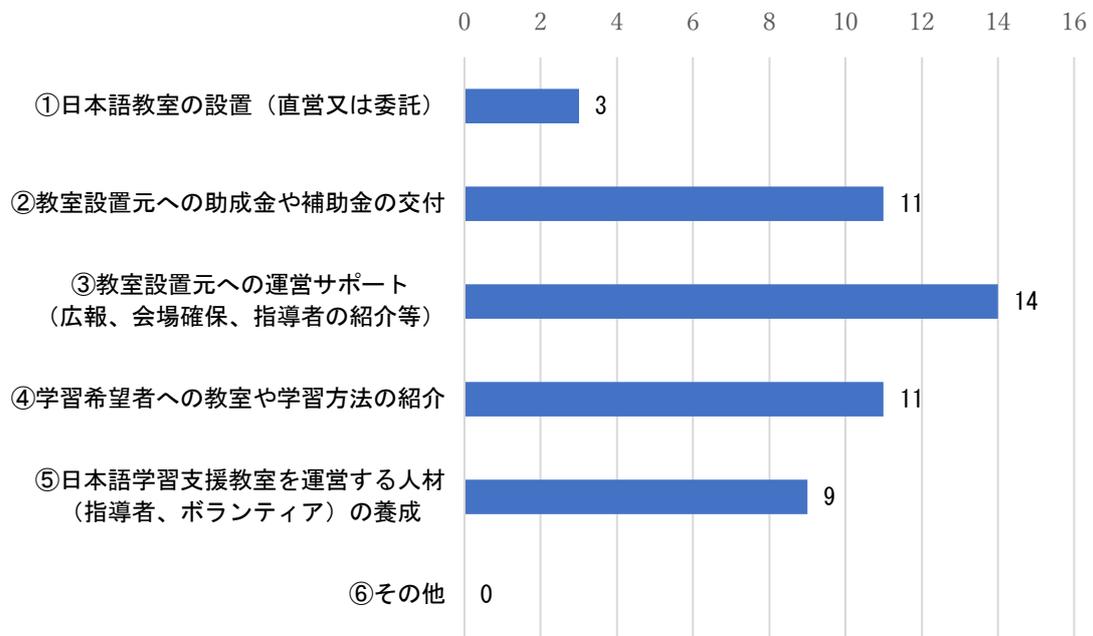
【直営または委託】問8①②×問 19

日本語教育における市町村の役割(n=4)



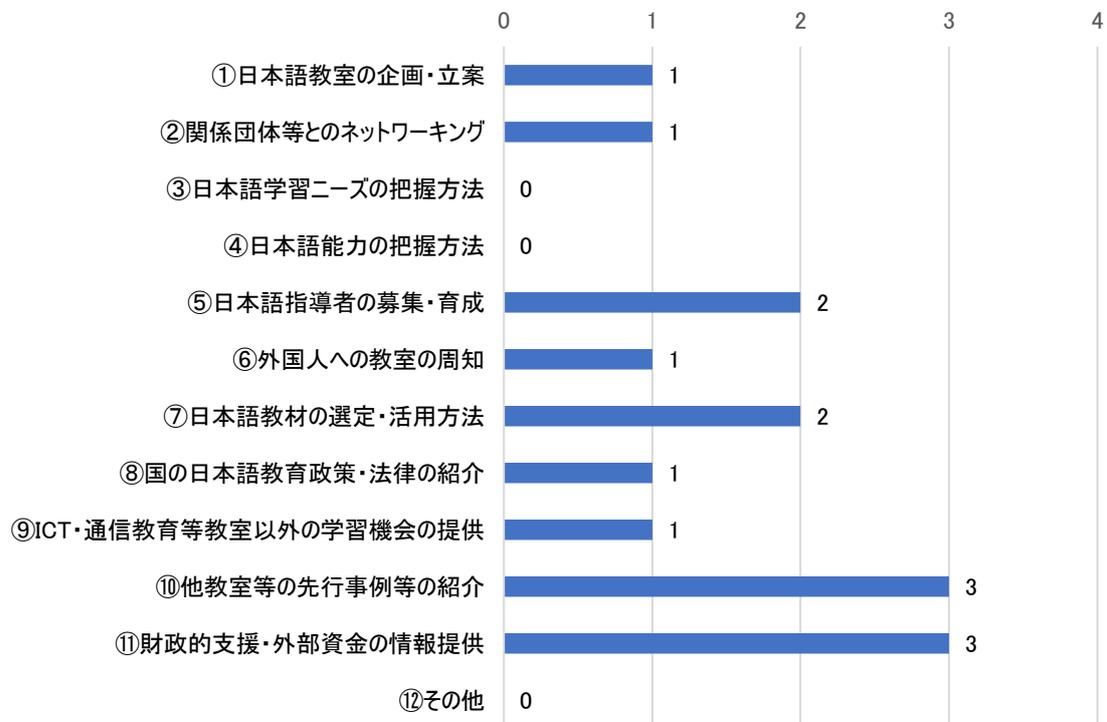
【補助等】問8③④⑤×問 19

日本語教育における市町村の役割(n=16)



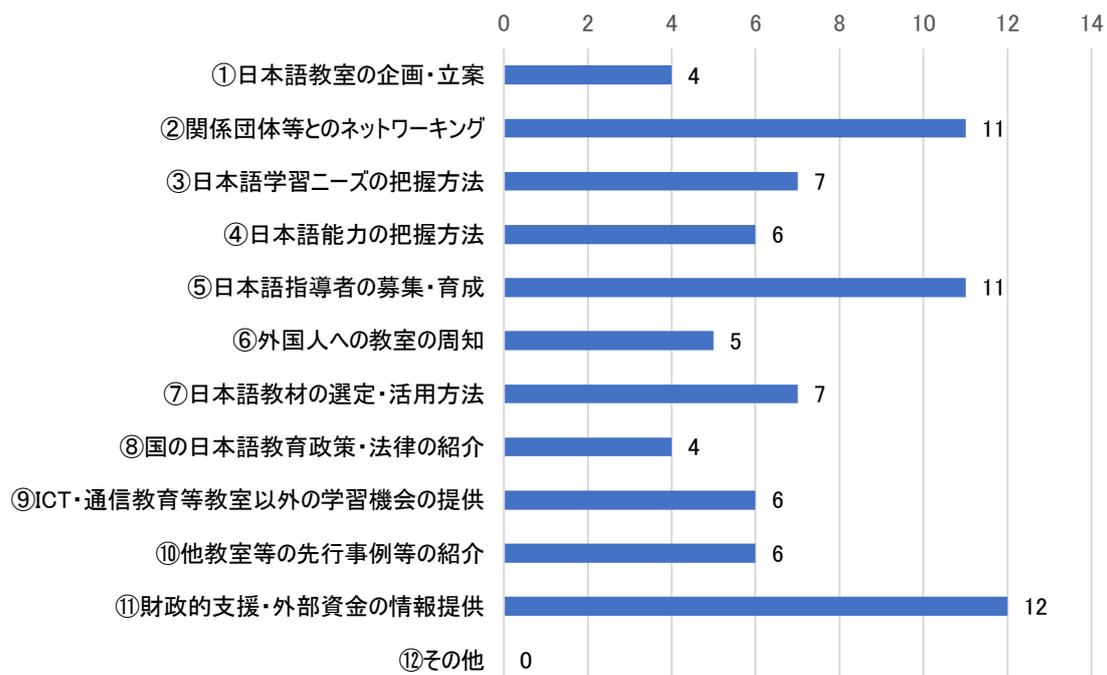
【直営または委託】問8①②×問20

日本語教育事業において県に期待するサポート(n=4)



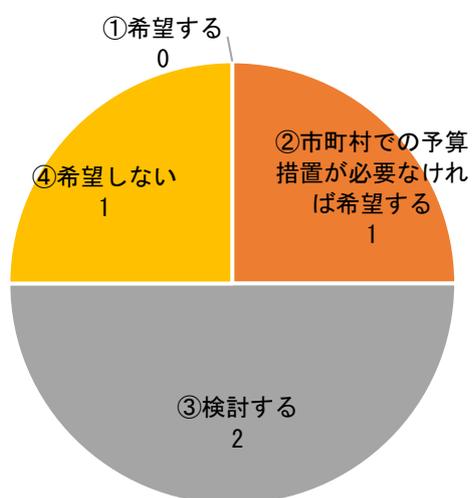
【補助等】問8③④⑤×問20

日本語教育事業において県に期待するサポート(n=16)



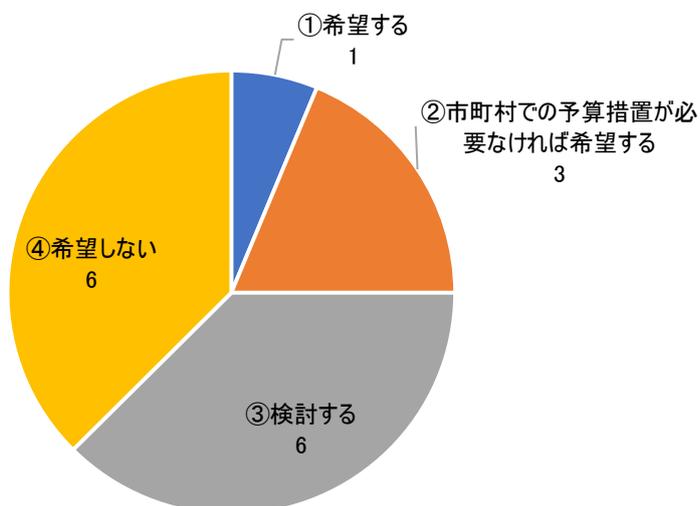
【直営または委託】問8①②×問 21

次年度のモデル教室開設希望(n=4)



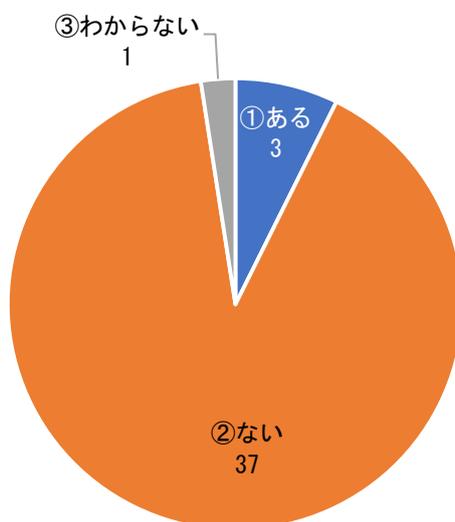
【補助等】問8③④⑤×問 21

次年度のモデル教室開設希望(n=16)



2 市町村教育委員会調査結果

問1 学外の団体（大学、日本語学校、ボランティア団体等）と連携して、子どもの日本語学習支援に取り組んでいる学校や地域がありますか。（N=41）

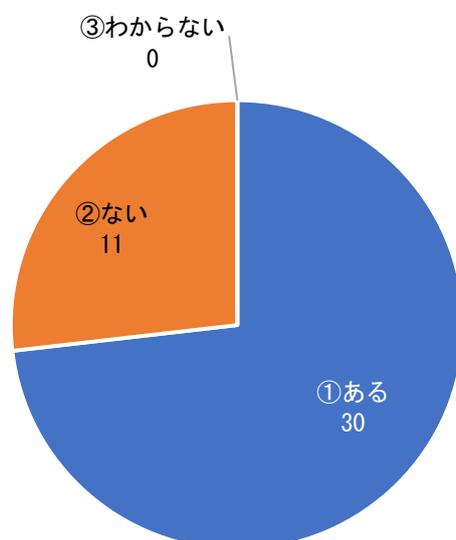


「①ある」の具体例

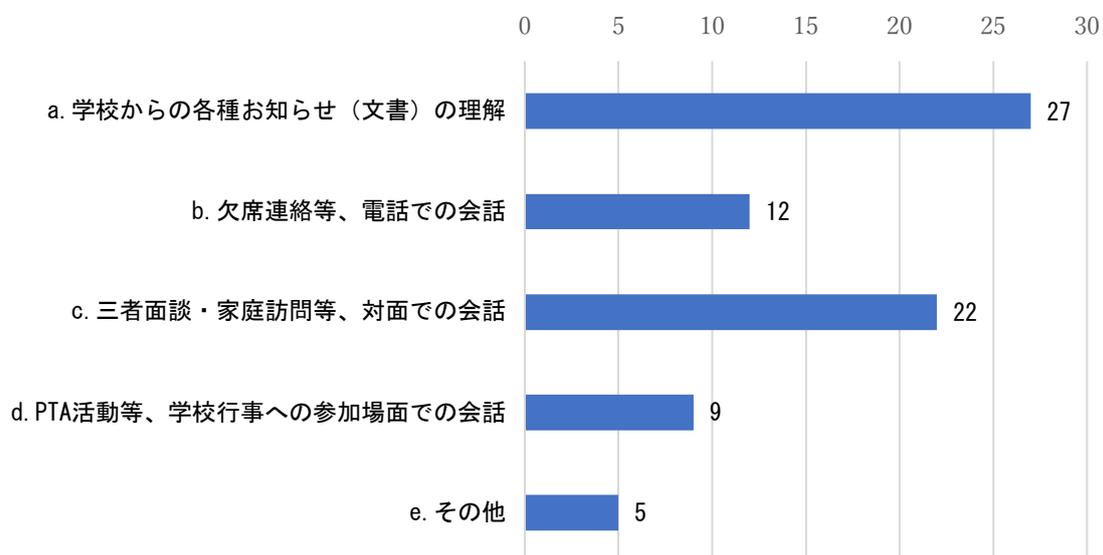
- ・〇〇市〇〇課から「多文化共生サポーター」として市内6校へ日本語学習などのサポートに入っている。
- ・〇〇市国際交流協会(市教委からの業務委託)。
- ・〇〇市国際交流協会が、外国人児童生徒の放課後学習支援を実施している。

問2 学校教員等から、在籍児童生徒の保護者とのコミュニケーションにおいて、日本語が伝わらず意思疎通に困っているという声を聞かれたことがありますか。

(N=41)



「①ある」の内訳(n=30)

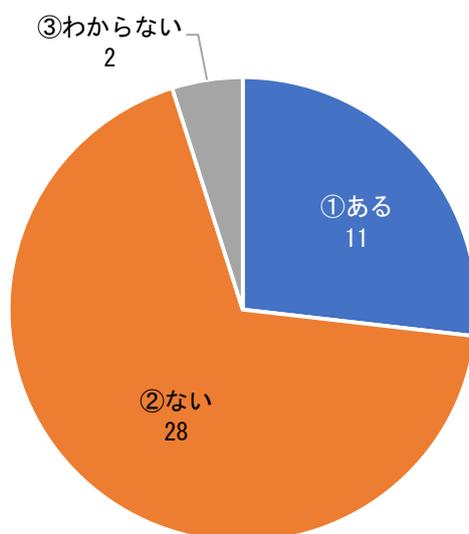


「①ある」の具体例(自由記述)

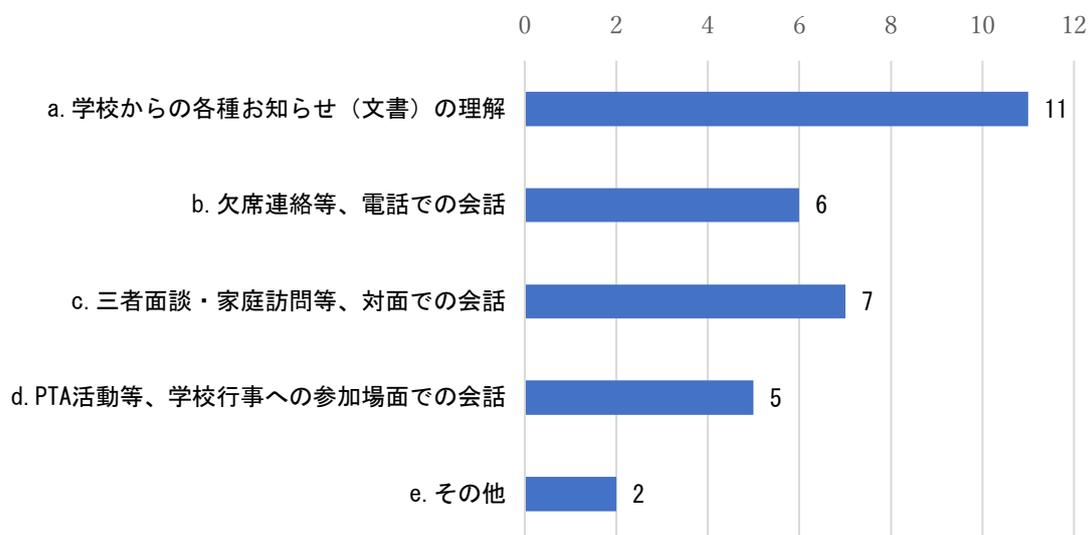
- ・学校の制度の理解〔例〕校区の考え方…住所が変わっても自由に学校へ行けると考えていることなど
- ・電話そのものがつながりにくいという意味疎通以前に困っている声の方が多い。
- ・児童・生徒間トラブル発生時の会話。
- ・各学校に適宜支援員を配置していますが、外国人児童生徒の散在化により人数が不足しているのが現状です。
- ・今年度より、「外国人児童生徒適応指導員配置事業」において、「岐阜県外国人児童生徒適応指導員」を月に2回、町内の学校に派遣していただいている。その中で、上記①の a や c のポルトガル語訳などを行っていただいている。また、ALT の先生にお願いし、通訳等を行ってもらっているときもある。

問3 在籍児童生徒の保護者から、学校教員等とのコミュニケーションにおいて、日本語がわからず意思疎通に困っているという声を聞かれたことがありますか。

(N=41)



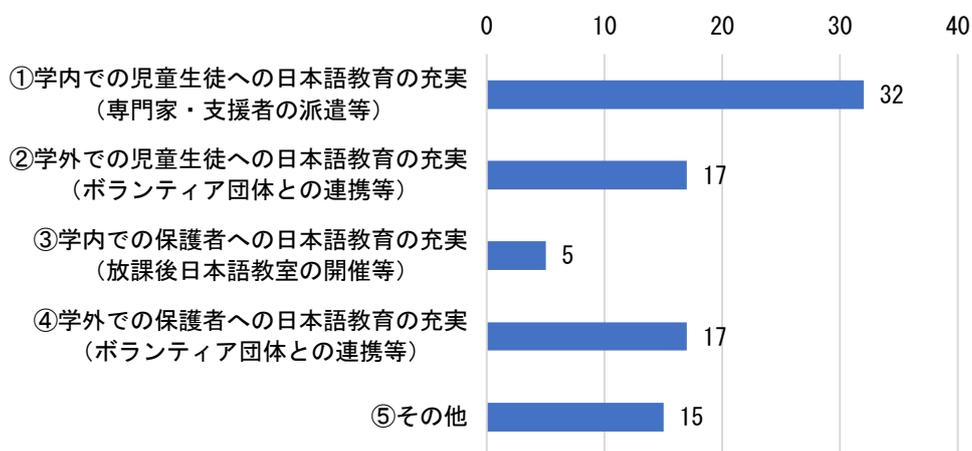
「①ある」の内訳(n=11)



「e.その他」(自由記述)

- ・保護者から教育委員会へ直接ではないが、通訳を通して「もっと詳しく（一言一句）翻訳してほしい」という要望があると聞いた。文書の理解が難しく、より詳細が知りたいのだと捉えている。
- ・各学校に適宜通訳支援員は配置しているが、勤務時間の関係で対応できないこともあり、保護者からの連絡事項が伝わらないことがある。

問4 今後、県が日本語教育の体制整備を進める上で、学校教員等と児童生徒や保護者とのコミュニケーションを円滑に進めるために、県にどのような支援や連携・協力を期待しますか。(N=41)



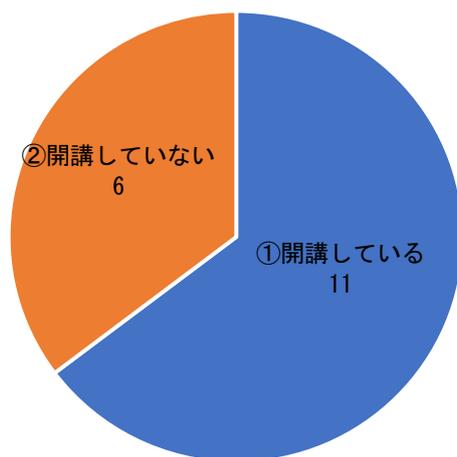
「e.その他」(自由記述)

- ・保護者の雇用主と学校との連携。
- ・義務教育終了後の就学(高等学校)就労の場での日本語教育の充実。
- ・UD トークアプリの導入及び使用機器(タブレット等)の導入支援。
- ・外国人児童生徒適応指導員の増員。
- ・翻訳・保護者対応専門の適応指導員の配置。
- ・勤務校が固定されない外国人児童生徒適応指導員の配置(年度途中で外国人児童生徒が入退学しても、臨機応変に対応できる勤務形態)。
- ・少数言語(ネパール語、ベトナム語など)にも対応していただきたい。
- ・基本的に町内8小中学校に、外国籍の児童生徒や保護者はいません。
- ・今のところ困っていることはありません。
- ・様々な外国語に対応する支援者の充実(現在ポルトガル語、中国語、タガログ語の児童生徒が在籍しているが、次年度ベトナム語の児童が入学予定のため)。
- ・外国人児童生徒の年度途中の転入に対しての支援(外国人児童生徒適応指導員の配置等、対応いただけるとありがたい)。
- ・その他ではありませんが、②④については、予算の関係もあるかと思いますが、各郡単位で支援等を行っていく場があるとよいと思います。

- ・保護者は、日本語教育に関心をもっている方が多い。市の関係課の日本語教室が開催されているが、回数も限られているため機会を増やすことが必要。保護者への日本語教育の充実が児童生徒の日本語教育にもプラスとなる。
- ・〇〇市では、特任指導員（外国籍対応指導員）として、中国語指導員を1名、市費で配置し、児童・生徒や保護者への対応をしています。可能であるなら県の方で配置するなど人的・金銭的な支援や補助をしていただくとありがたいです。
- ・翻訳機等の提供。
- ・懇談時の通訳や教育相談の補助等。
- ・外国籍の児童生徒が多い所では、日本語教育の進め方が確立されているように感じる。少数の町にあった体制の提案や示唆があると、町としても整備に取り組みやすいと考える。
- ・日本語学級等、個別の指導教育があると良い。
- ・通訳の派遣、各種お知らせの翻訳の見本。

3 国際交流協会調査結果

問1 令和元(2019)年度に、日本語教室を開講されていますか。(予定含め)
(N=17)

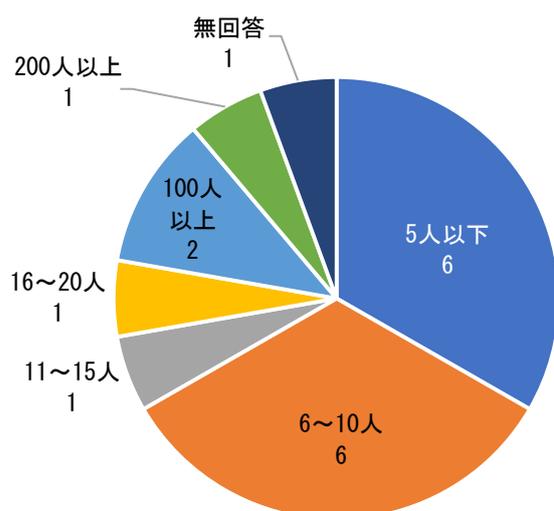


①→問2へ ②→問6へ

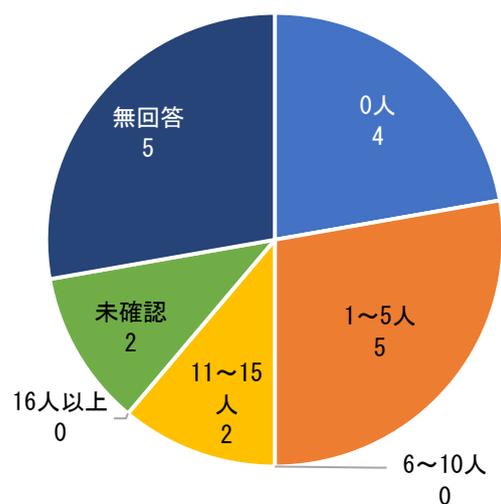
問2 開講している・年度内に開講予定である教室について、把握されている範囲で教えてください。教室が複数ある場合は、それぞれについてお答えください。

(n=11, 18教室)

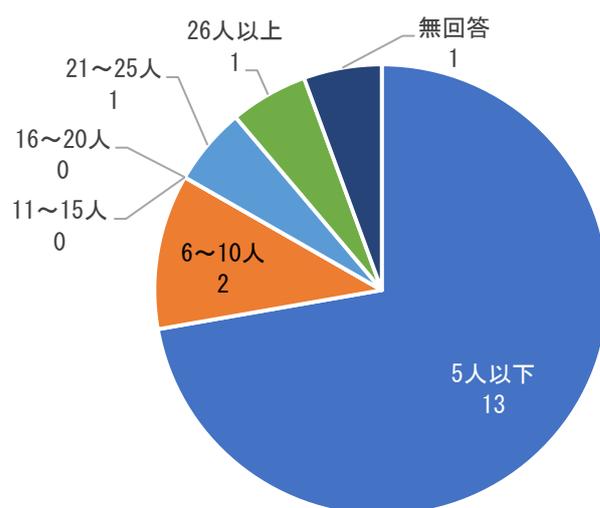
<日本語指導者登録人数>



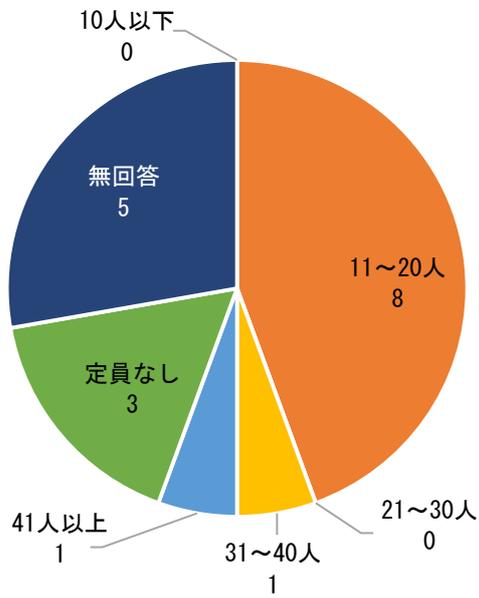
<指導者のうち、有資格者数>



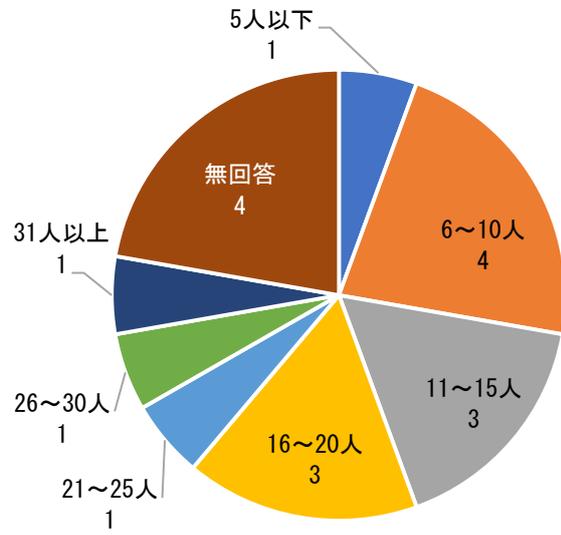
<指導者の平均参加人数>



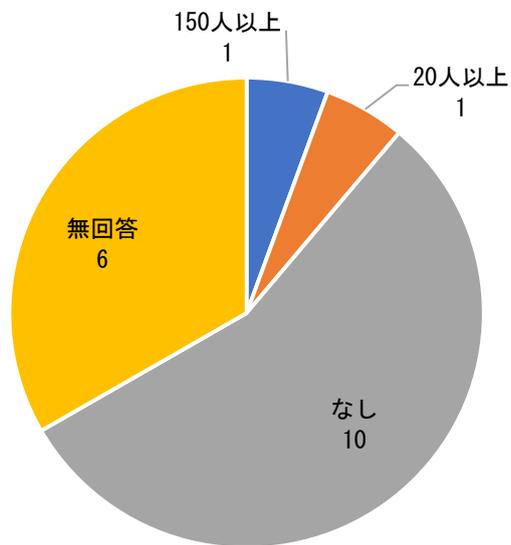
<学習者の定員>



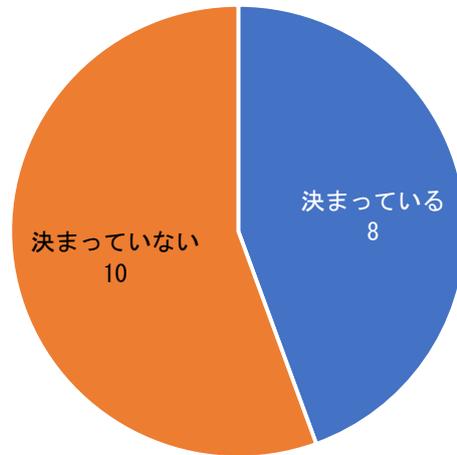
<受講者の平均参加人数>



<待機者数>



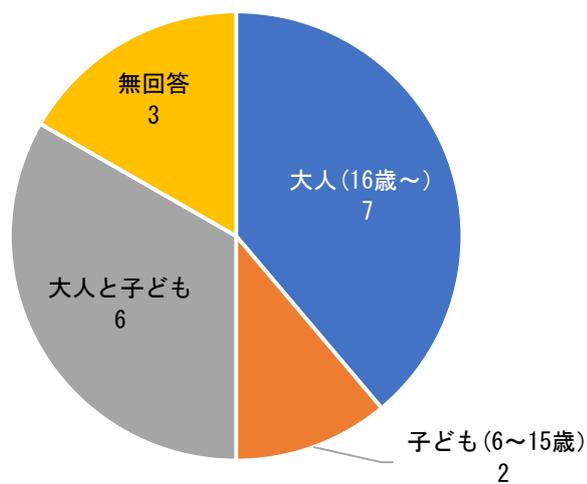
<使用教材>



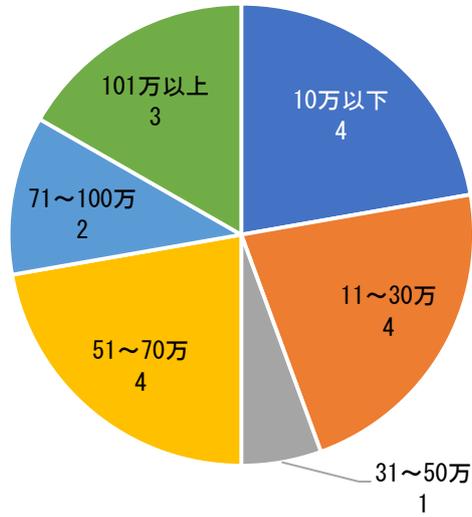
①「決まっている」の教材名

- ・ちびむす (2)
- ・かんじだいすき (2)
- ・大垣国際交流協会作成教材 (1)
- ・みんなの日本語 (1)
- ・せいかつのためのほんごコース (1)
- ・みんなの日本語 I、II (1)

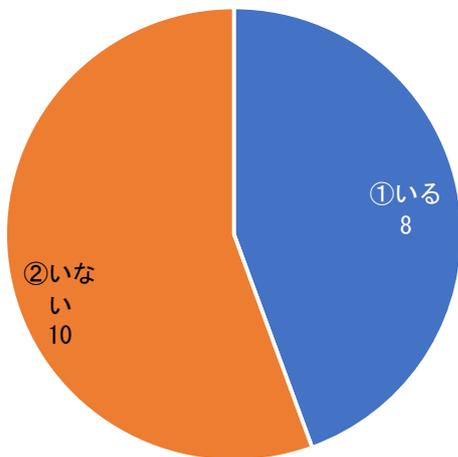
<受講対象>



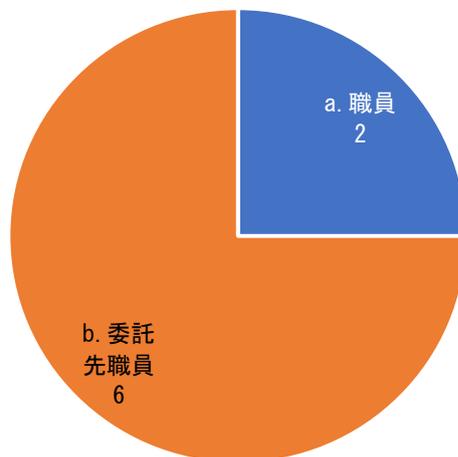
<年間事業費>



<コーディネーターの配置>

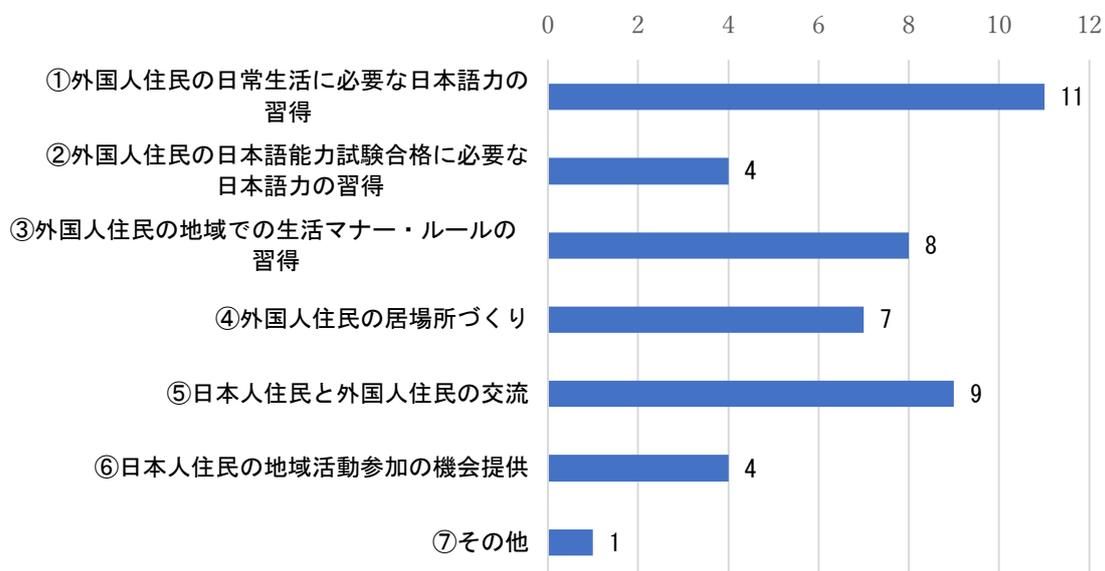


「①いる」の内訳



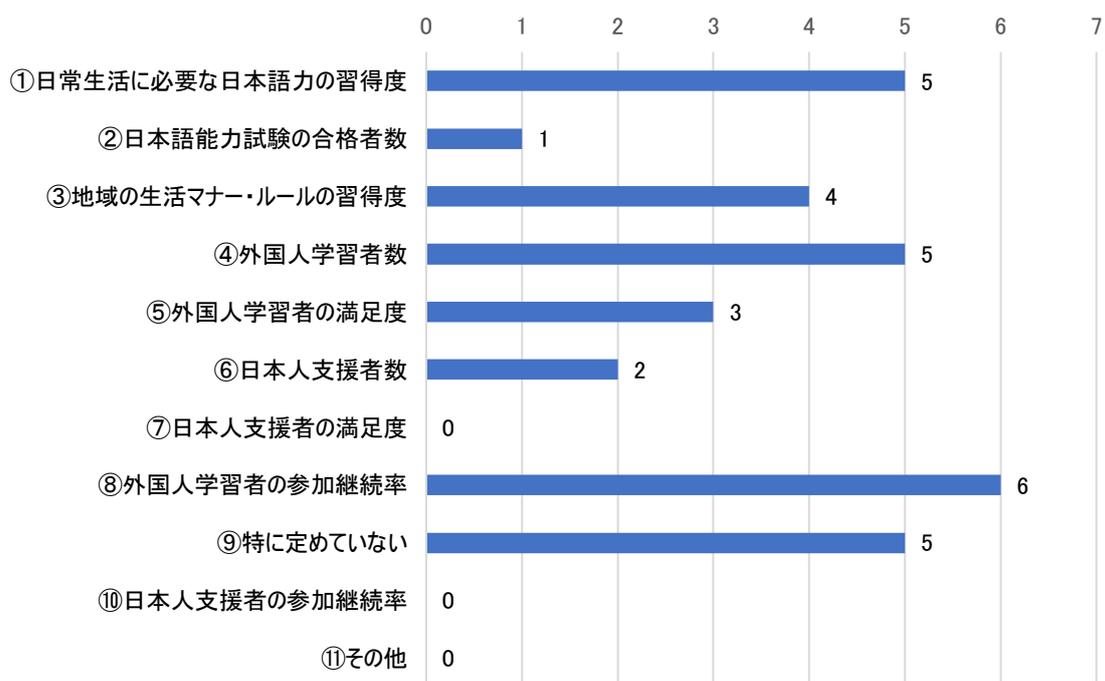
問3 日本語教室活動の目的について、該当するものすべてにチェックを入れてください。*教室が複数ある場合は（ ）に数字を記入してください。

(n=11, 18教室)



問4 日本語教室活動の事業評価項目を教えてください。該当するものすべてにチェックを入れてください。*教室が複数ある場合は（ ）に数字を記入してください。

(n=11, 18教室)

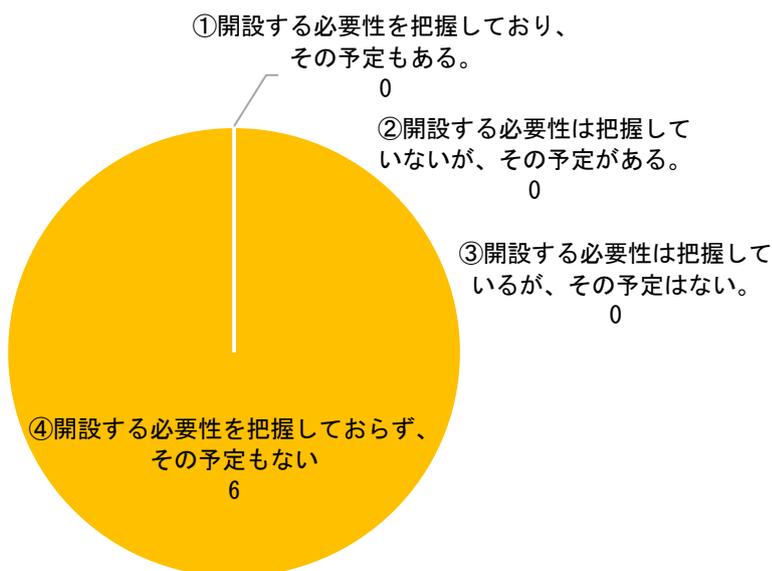


問5 今後の日本語教育事業の展開において、どのような課題に取り組んでいく必要があると思われますか。該当するものすべてにチェックを入れてください。(n=11)

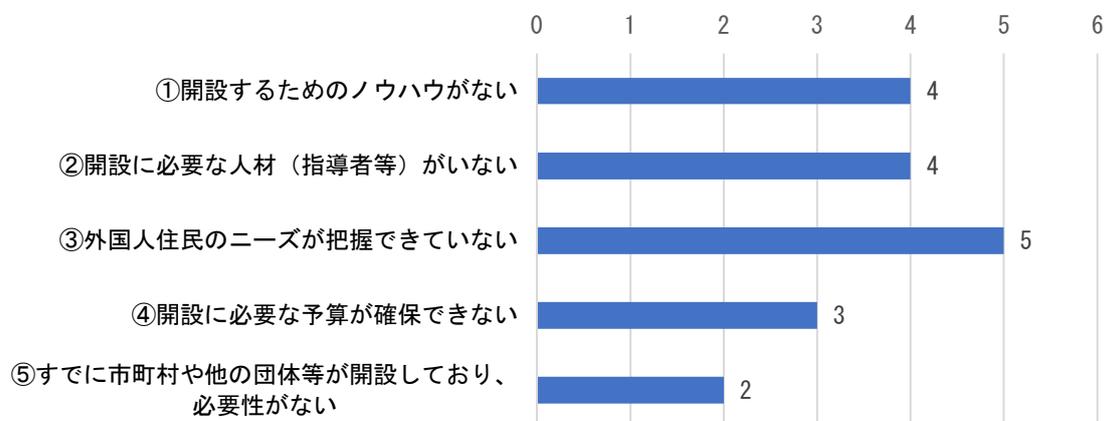


問8へ

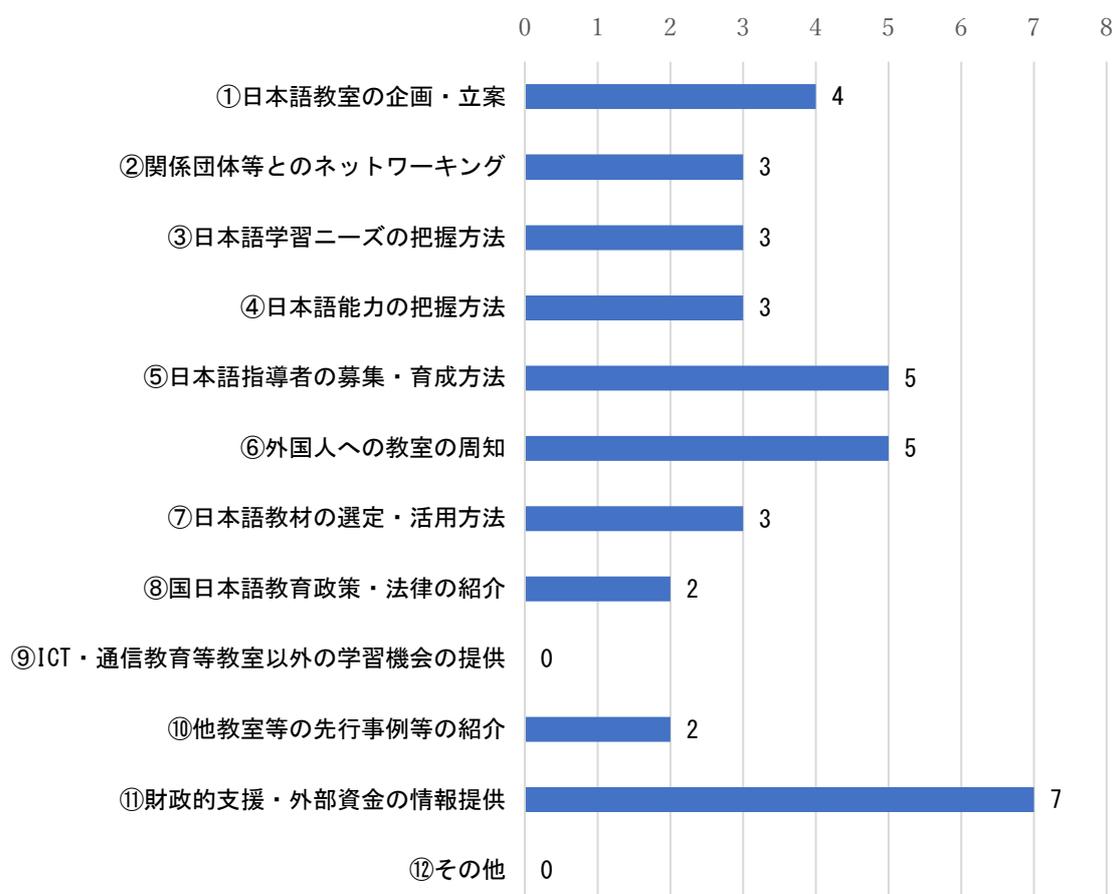
問6 教室開設の必要性和次年度以降の予定について教えてください。(n=6)



問7 教室開設を検討すると仮定した場合の課題は何ですか。該当するものすべてにチェックを入れてください。(n=6)



問8 今後の日本語教育事業の実施・展開にあたり、県からどのようなサポートを希望されますか。該当するものすべてにチェックを入れてください。(N=17)



問9 その他、日本語教育事業に関して、県に対してご意見・ご要望・ご質問等がありましたらご自由にお書きください。

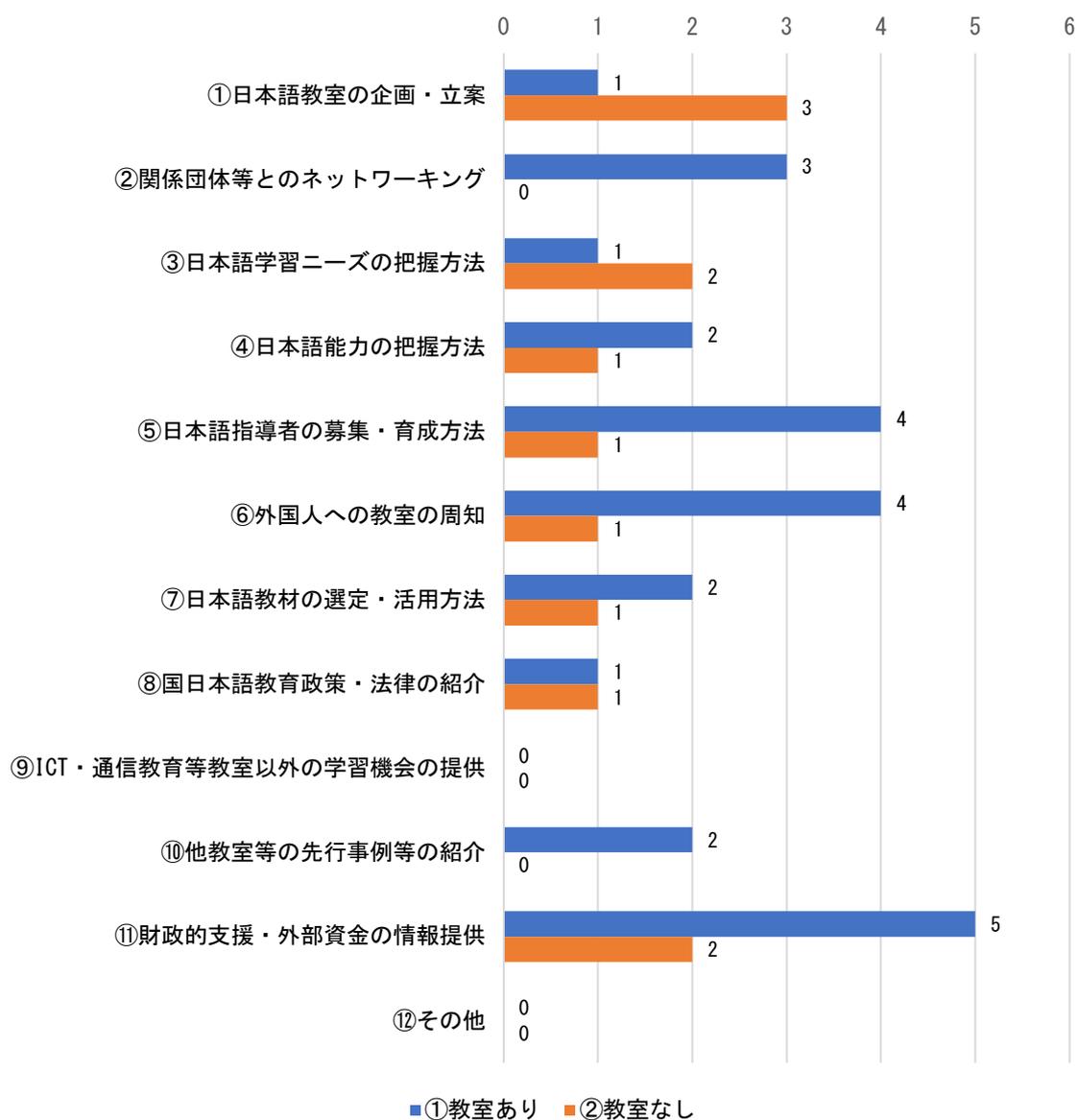
・日本語教室運営には、核となるコーディネーターの育成、配置が必要です。東濃・西濃・中濃…など地区に一人配置、市町村の教室にもコーディネーターは必要。県として取り組む方針・目的をコーディネーターは把握しており、それに対する成果や課題を会議で議論するなど県全体で取り組む体制整備を行うのはいかがでしょうか。

クロス集計

日本語教室開設の有無による違い

問1①②×問8

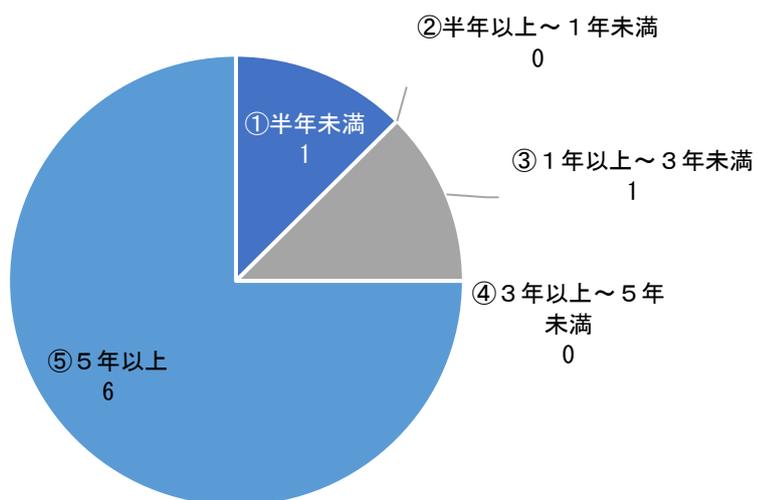
県に期待するサポート(n=11, 6)



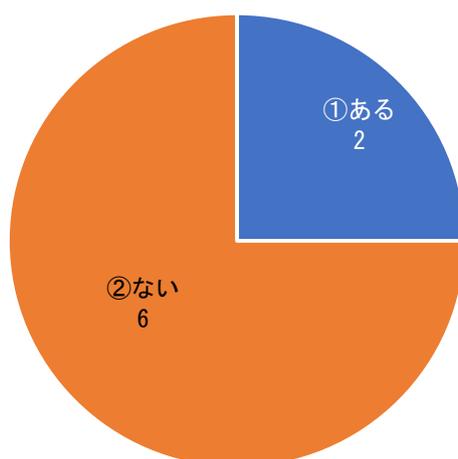
4 日本語教室代表者調査結果

1 あなたについて

問1 教室の代表になられてどのくらいですか？ (N=8)



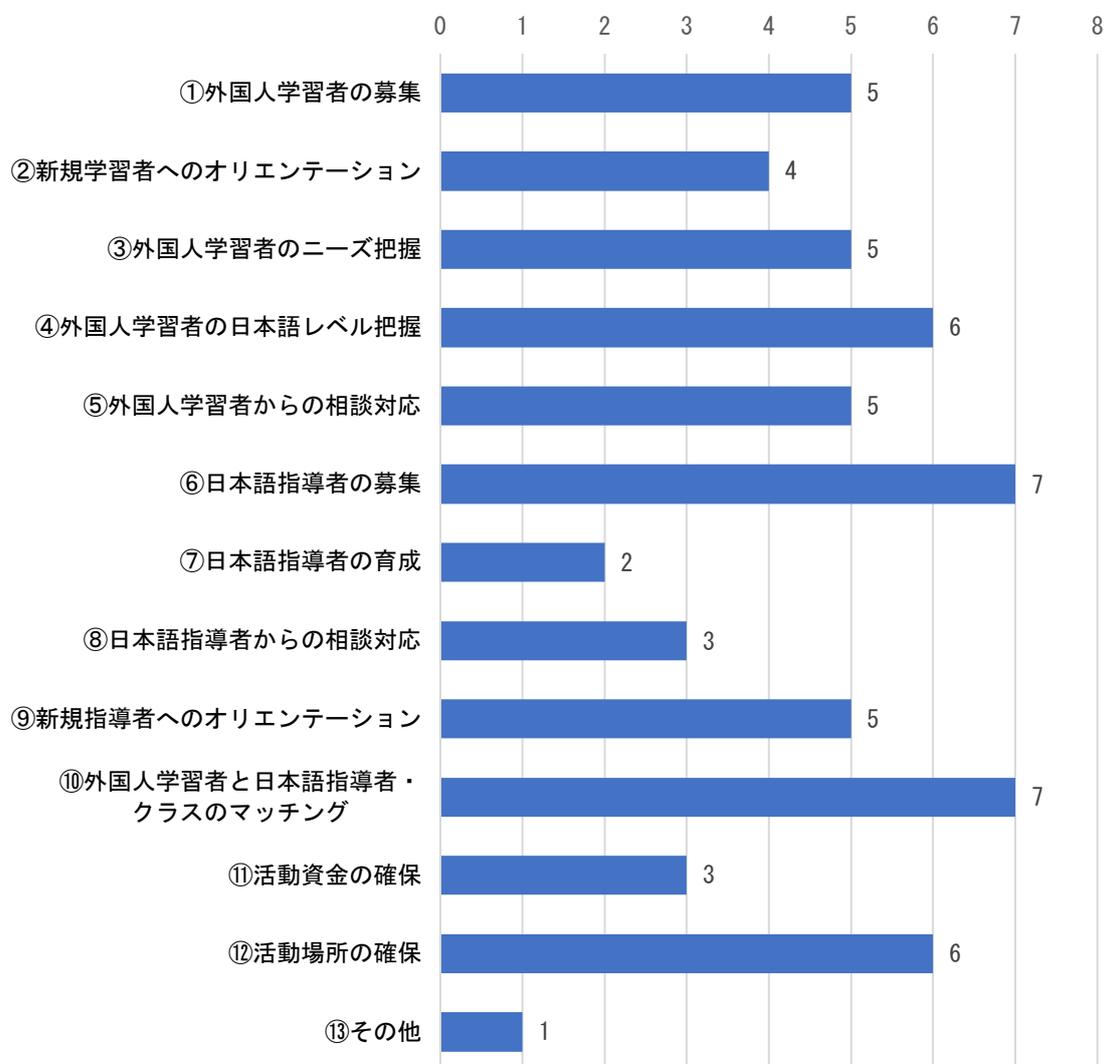
問2 日本語教育に関して専門的な勉強をされたり、資格を取得されたりしていますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。 (N=8)



「①ある」の内訳(n=2)

	0	1	2
a. 大学院後期博士課程修了（博士号）又は単位取得満期退学	0		
b. 大学院後期博士課程在学中	0		
c. 大学院前期博士課程修了（修士号）	0		
d. 大学院前期博士課程在学中	0		
e. 大学（主専攻）修了	0		
f. 大学（主専攻）在学中	0		
g. 大学（副専攻）修了	0		
h. 大学（副専攻）在学中	0		
i. 民間養成講座（420時間）修了		1	
j. 民間養成講座（420時間）受講中	0		
k. 日本語教育能力検定試験合格		1	
l. 日本語教師検定合格	0		
m. ACTFL日本語OPIテスト一認定	0		
n. ACTFL日本語OPIテスト一研修中	0		
o. その他		1	

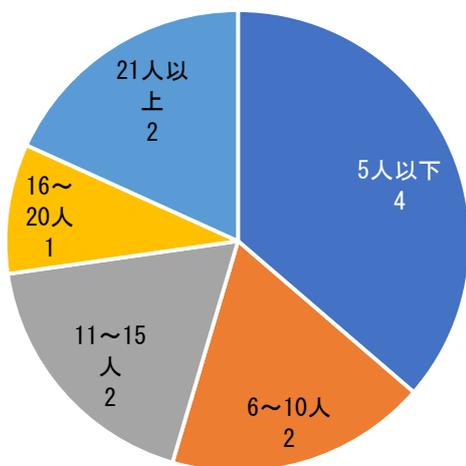
問3 教室活動におけるあなたの役割について、該当するものすべてにチェックを入れてください。(N=8)



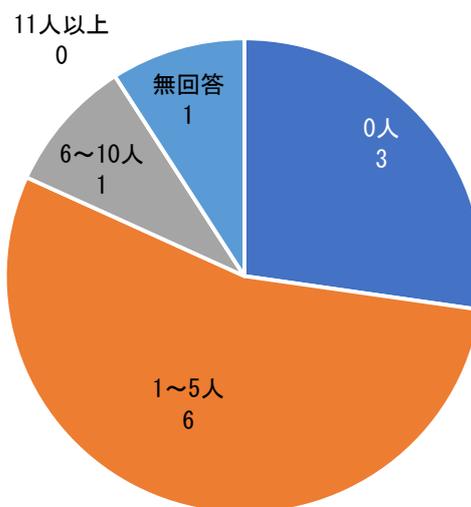
2 日本語教室について

問4 開講している教室について、把握されている範囲で教えてください。教室が複数ある場合は、それぞれについてお答えください。(N=8, 11 教室)

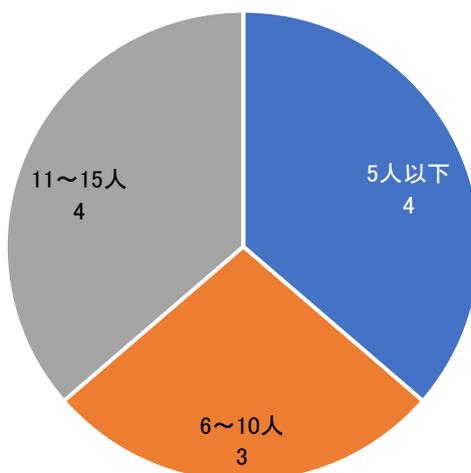
<日本語指導者登録人数>



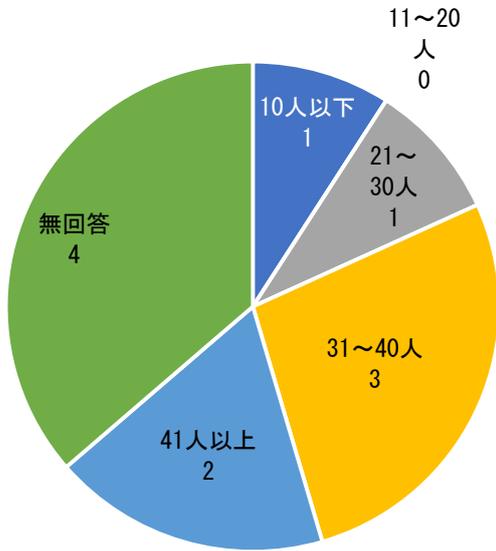
<指導者のうち、有資格者数>



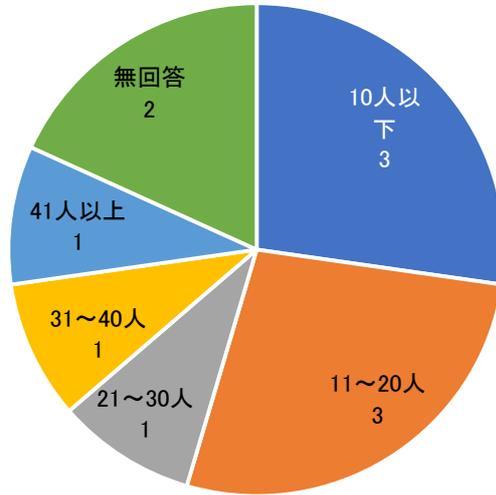
<指導者の平均参加人数>



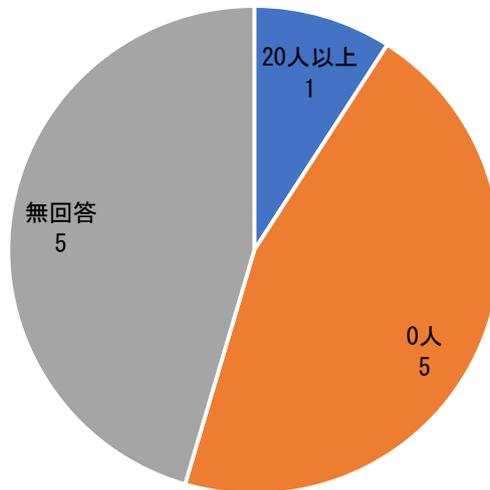
<学習者の定員>



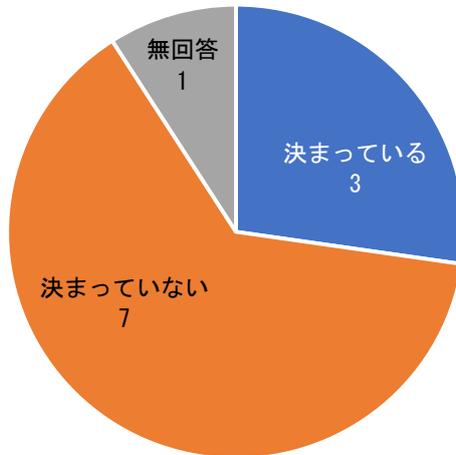
<受講者の平均参加人数>



<待機者数>



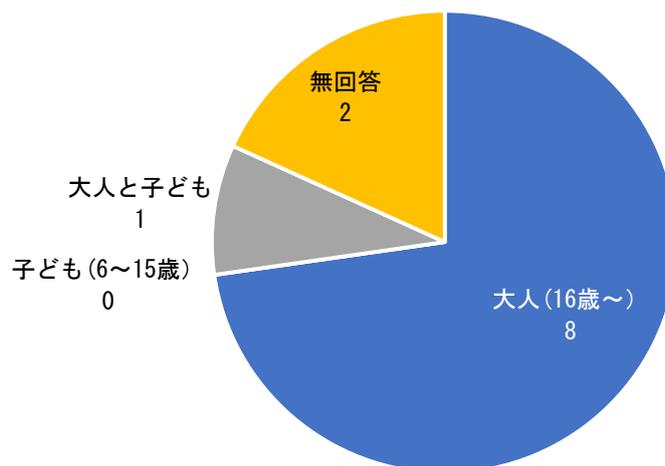
<使用教材>



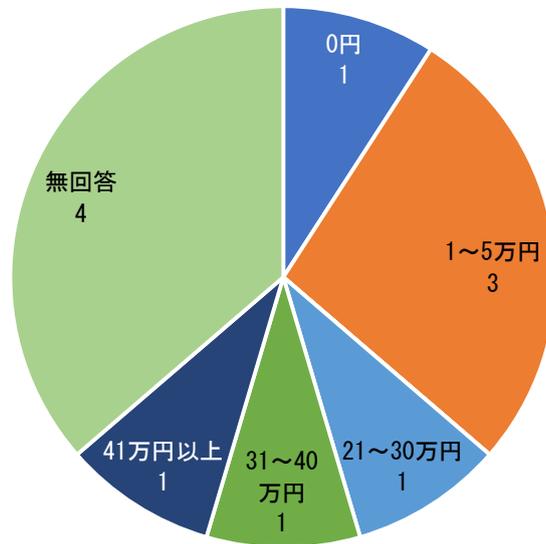
①「決まっている」の教材名

- ・みんなの日本語（1）
- ・みんなの日本語初級Ⅱ（1）
- ・無回答（1）

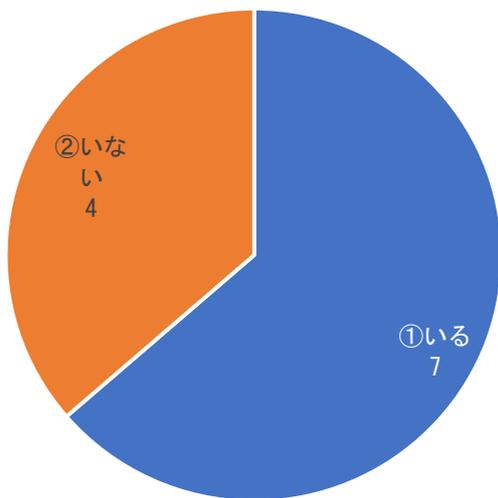
<受講対象>



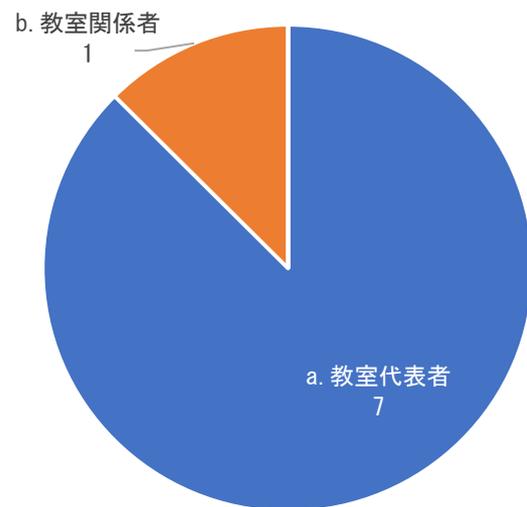
<年間事業費>



<コーディネーターの配置>

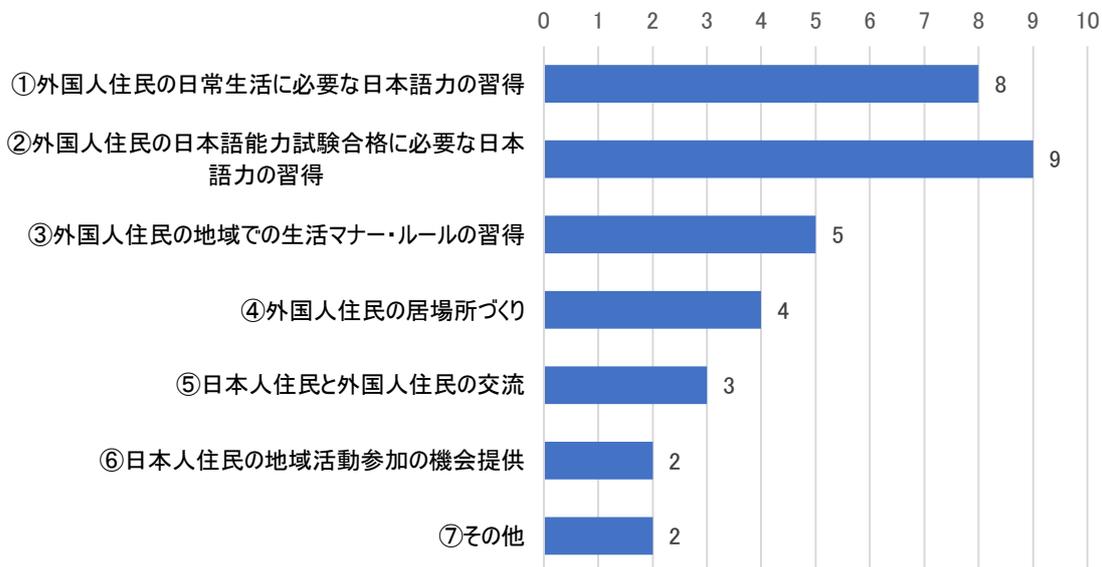


「①いる」の内訳

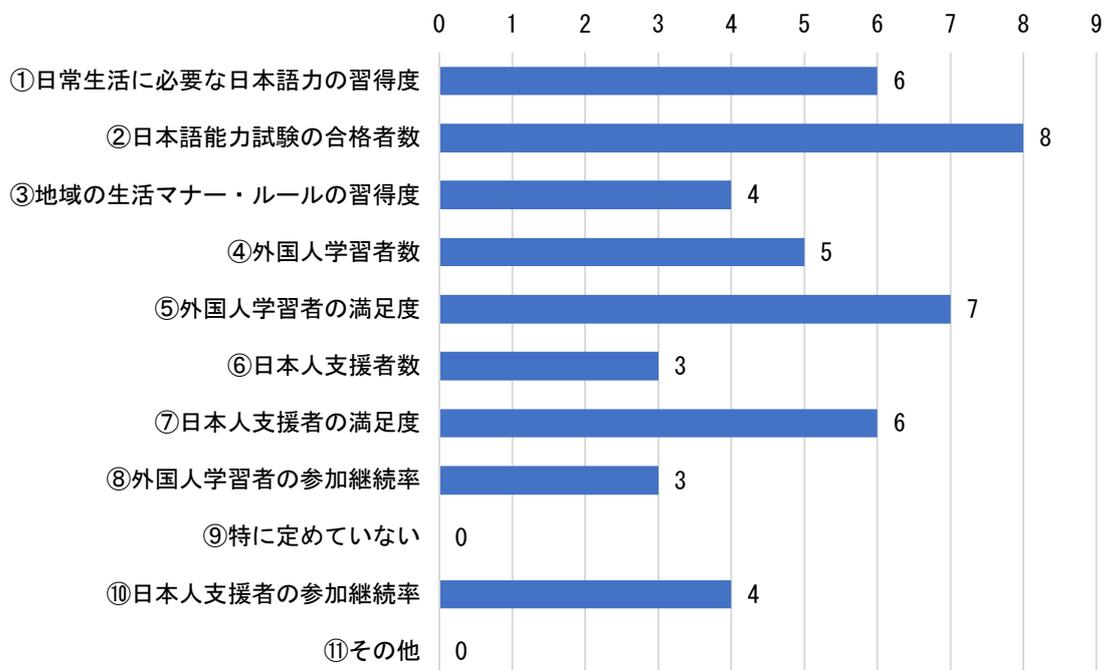


問5 教室活動の目的について、該当するものすべてにチェックを入れてください。

* 教室が複数ある場合は () に数字を記入してください。(N=8, 11 教室)

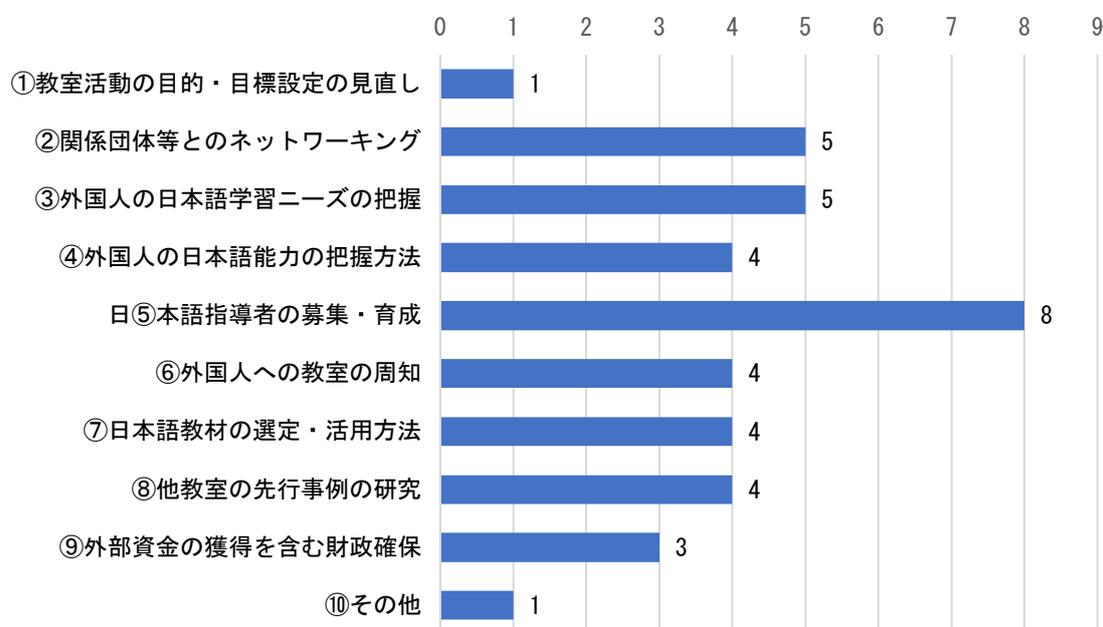


問6 教室活動の成果について、どのように自己評価されていますか。該当するものすべてにチェックを入れてください。(N=8, 11 教室)

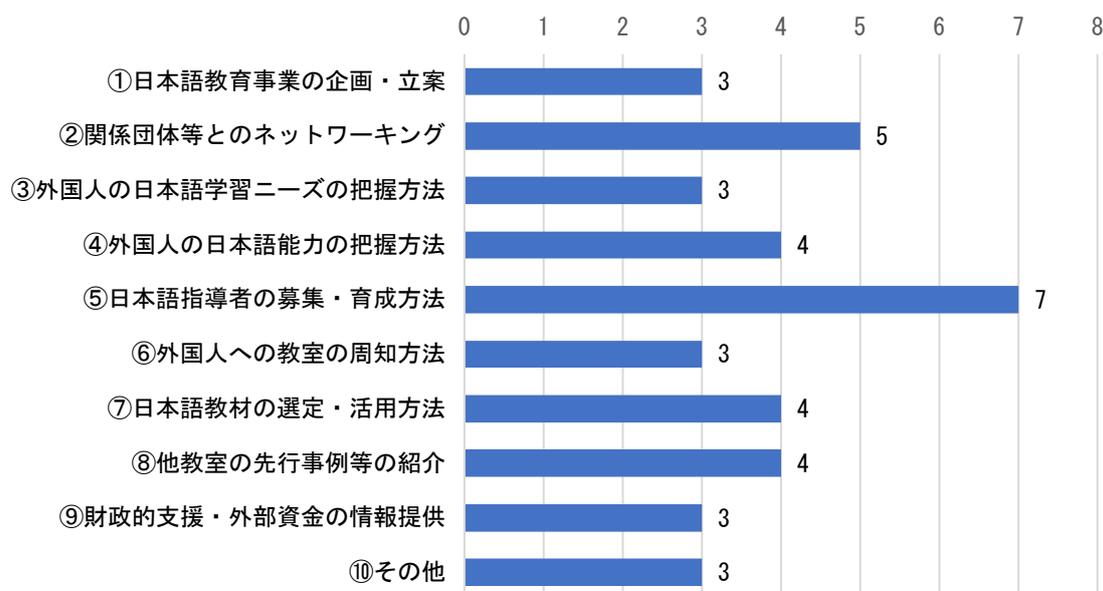


問7 今後の日本語教育事業の実施・展開において、どのような課題に取り組んでいく必要があると思われますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。

(N=8)



問8 今後の日本語教育事業の実施・展開にあたり、県からどのようなサポートがあるとうよいと思われますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。 (N=8)



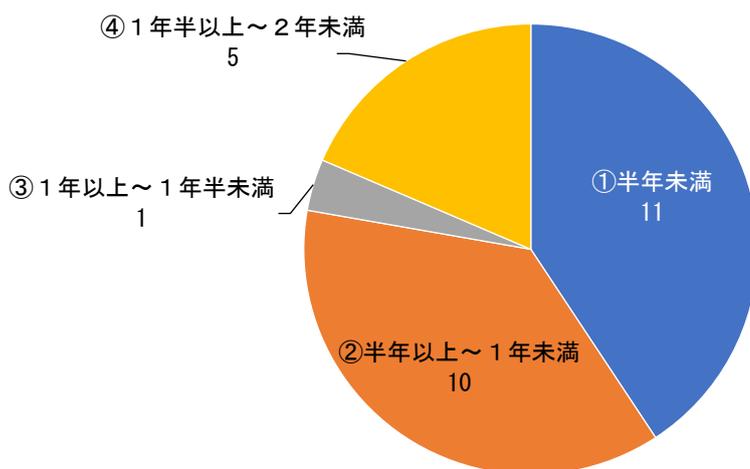
問9 その他、日本語教育事業に関して、県に対してご意見・ご要望・ご質問等がありましたらご自由にお書きください。

- ・県で空き教室、施設を無料で貸して頂ける場所があればありがたいです。現在、教室は満員状態です!!日本語を学びたい生徒は増えるばかりです!!中小企業内でも日本語研修する時間と場を必ず設定して頂きたい。講師はこちらから派遣できます!!
- ・最大の課題はボランティア不足です。学習希望者のニーズは多くありますが日本人支援者の数が少なく十分な対応ができません。人材確保の方策や具体的に人材確保につながる事業実施をお願いしたい。ボランティアは現在無償ですが、少額でも有償とするか交通費を支給できればと思いますが、今のところその財源がありません。いろいろな学習者にどんな教材を使用しどのように指導していくとよいかを悩むことがよくあります。随時気軽にそのような事業について相談ができるシステムがあると良いと思います。
- ・日本語教師資格のない多くのボランティアでの活動です。ボランティアの方々も、日々努力をしていますが、やはり専門的な講義を受ける機会があると良いと思います。例えば、岐大で夏期講座を行うなど、市民が参加しやすいものを行っていただけると、ありがたいです。

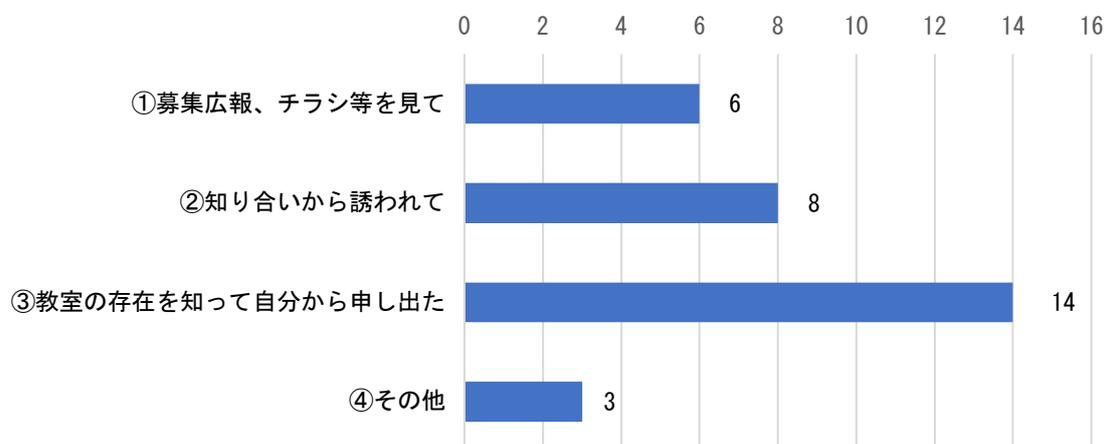
5 日本語ボランティア調査結果

1 あなたについて

問1 教室活動に参加されてどのくらいですか。(N=27)



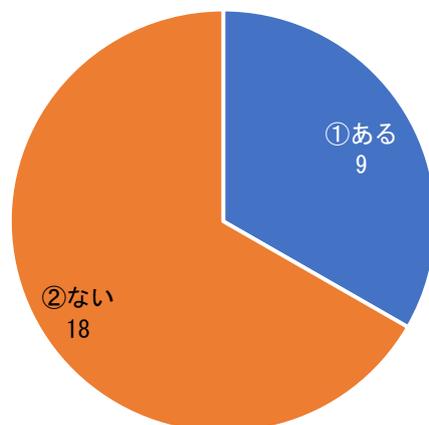
問2 教室活動に参加されたきっかけは何でしたか。該当するものすべてにチェックを入れてください。(N=27)



「④その他」の具体例

- ・インターネットで検索して探した。
- ・ホームステイを協力しているので役に立ちたいと思った。

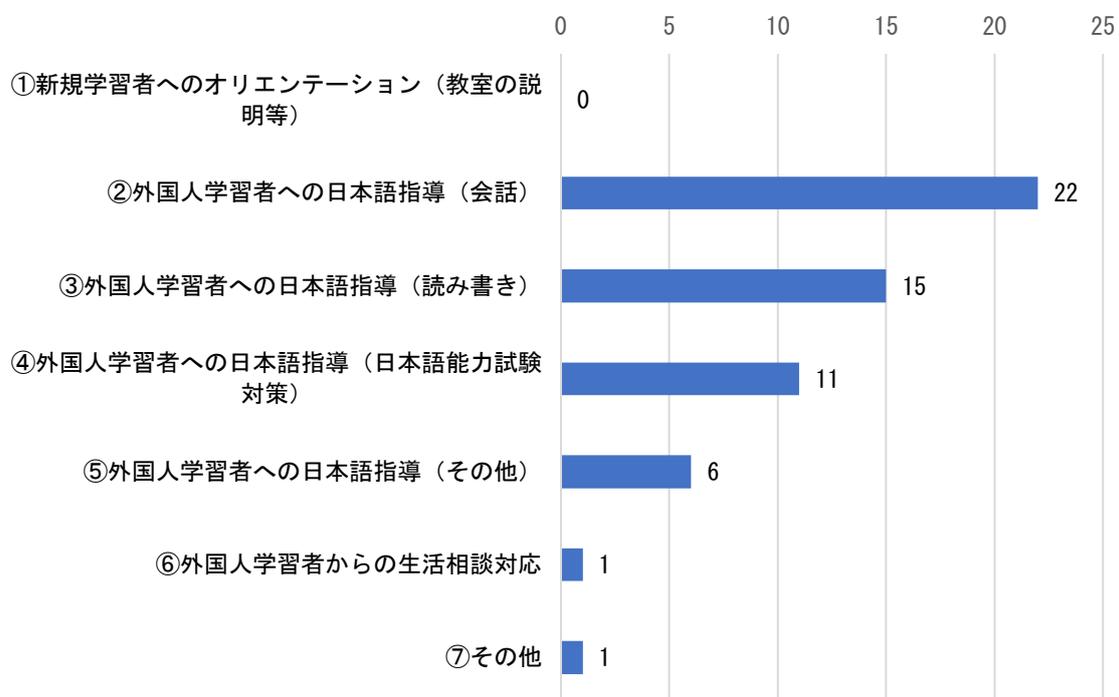
問3 日本語教育に関して専門的な勉強をされたり、資格を取得されたりしていますか。該当するものすべてにチェックを入れてください。(N=27)



「①ある」の内訳(n=9)



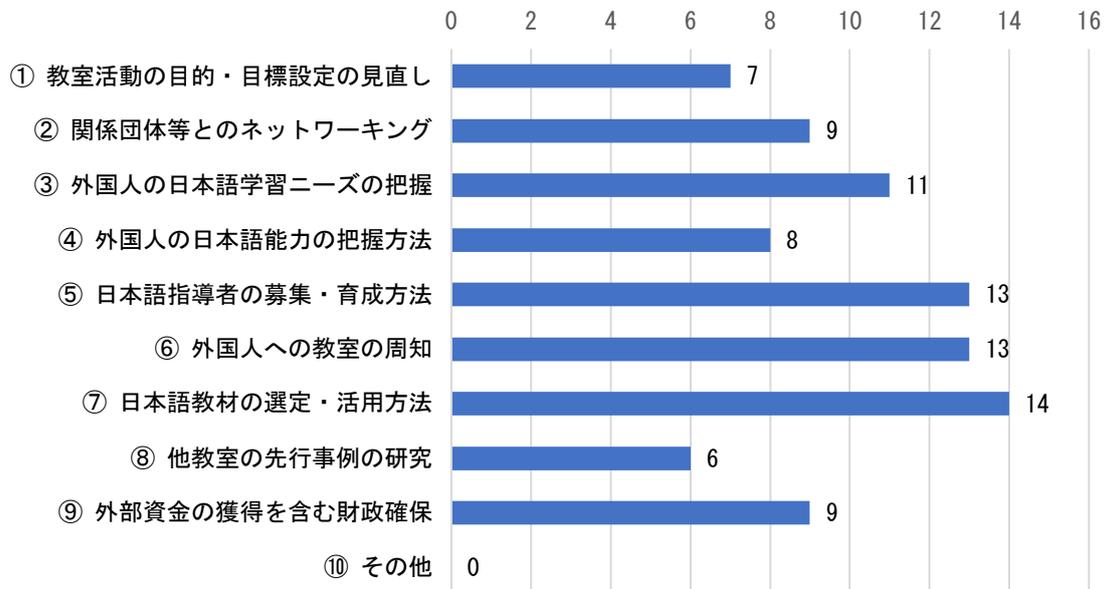
問4 教室活動におけるあなたの役割について、該当するものすべてにチェックを入れてください。(N=27)



2 日本語教室について

問5 今後の日本語教育事業の実施・展開において、どのような課題に取り組んでいく必要があると思われますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。

(N=27)



問6 今後の教室活動の充実に向けて、県からどのようなサポートを希望されますか。該当するものすべてにチェックを入れてください。 (N=27)



問7 その他、日本語教育事業に関して、県に対してご意見・ご要望・ご質問等がありましたらご自由にお書きください。

- ・市レベルの活動への積極的支援、負担軽減案の作業等。サステナビリティ策（高齢化でボランティア講師減少対策）。
- ・日本語ボランティアの人数が不足していることの周知が足りないと思います。広報に周知するだけでは足りないのでは。駅や図書館など公共施設内にポスターなどでも告知をしてはどうでしょうか。
- ・現在独自の指導をしているが、他の指導方法や教材などを知りたいと思います。そのような機会があれば参加します。
- ・日本語指導者の能力アップ及び人員確保。
- ・日本語を教えることに興味がある人がいてもどのような形でそれに関わっていいのかという情報やそれについての勉強、講習などの情報がなかなか入手することがむずかしいと感じました。ホームページなどで随時更新された情報が知れるといいと思います。
- ・間口を広げることも良いでしょうが、真に学習を希望している者への支援（外国人や外国人に日本語を教えたいと望む日本人に対して）は必要だと思います。日本語を学ぶことを通して、日本の考え方や捉え方、見方を外国人に広めたい。その先に真の平和活動につながっていくと考えます。
- ・他教室の先行事例のうち、特に少数の外国人児童・生徒に対する学校（あるいは教育委員会）の取り組みがあればお知らせ下さい。
- ・外国人の日本語レベルがあいまいで、教える時に困ることがある。ボランティアではあるものの、外国人の方から求められればやれる範囲のことはやるが、経済的負担がある場合もあるので、市に予算を出してほしい。県自体でどの国のどのくらいの外国人がいて、どのくらいの日本語レベルなのか把握してほしい。
- ・今後より一層力を入れていくべきことだと思います。県もそのスタンスでバックアップをしてもらえればと思います。
- ・上級者になるほど教えるのが難しいと思うので学習法など指導してほしいと思うがそれより交流会など楽しくお話できる場がたくさんあるのが一番いいと思う。財政支援は何より大切なので協力会社やその他確保することも必要だと思う。

6 日本語学校調査結果

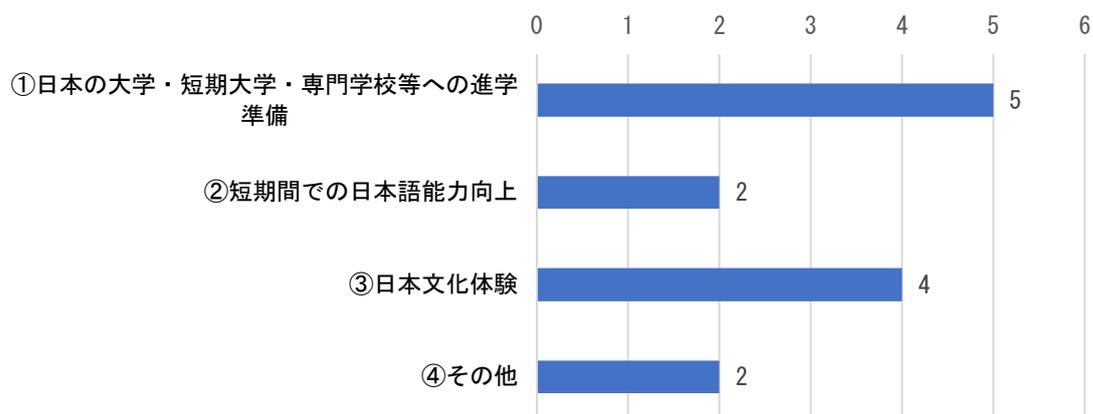
1 貴校の教育サービス等について

問1 現在、貴校に登録されている日本語教師数について教えてください。(N=5)

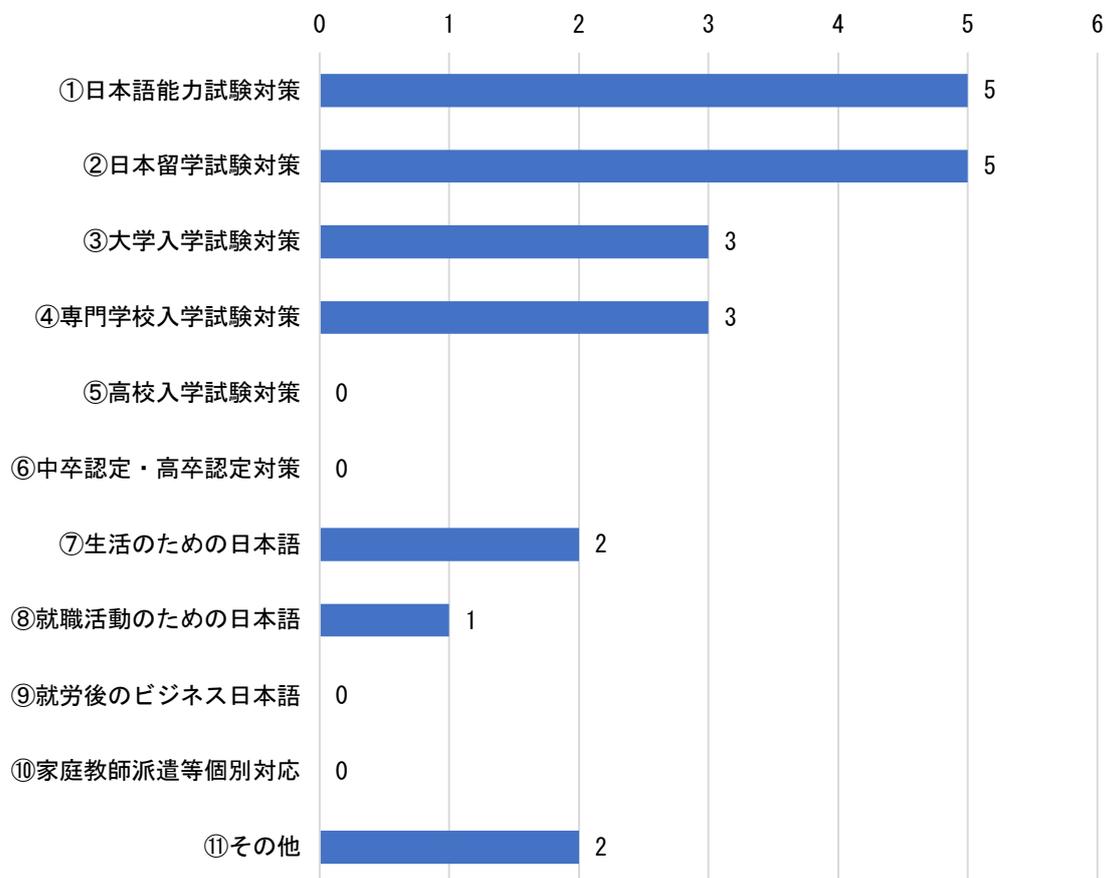
(単位：人)

	学校	常勤講師数	非常勤講師数
1	A校	6	19
2	B校	3	0
3	C校	2	3
4	D校	5	4
5	E校	5	7

問2 貴校で行われている日本語教育の主な目的・目標について教えてください。該当するものすべてにチェックを入れてください。(N=5)



問3 問2でご回答いただいたこと以外に、外国人向けに提供されている教育サービスについて、該当するものすべてにチェックを入れてください。 (N=5)

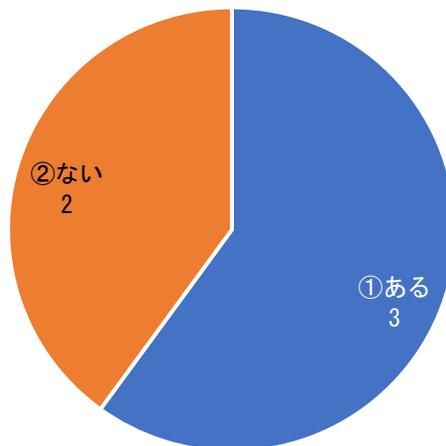


「①日本語能力試験対策」のレベル

- ・ N5～N1まで (1)
- ・ N4～N1まで (1)
- ・ N4～N2まで (1)

2 地域との関わりについて

問4 現在または過去に自治体や国際交流協会、地域の日本語教室等との関わりがありますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。（N=5）



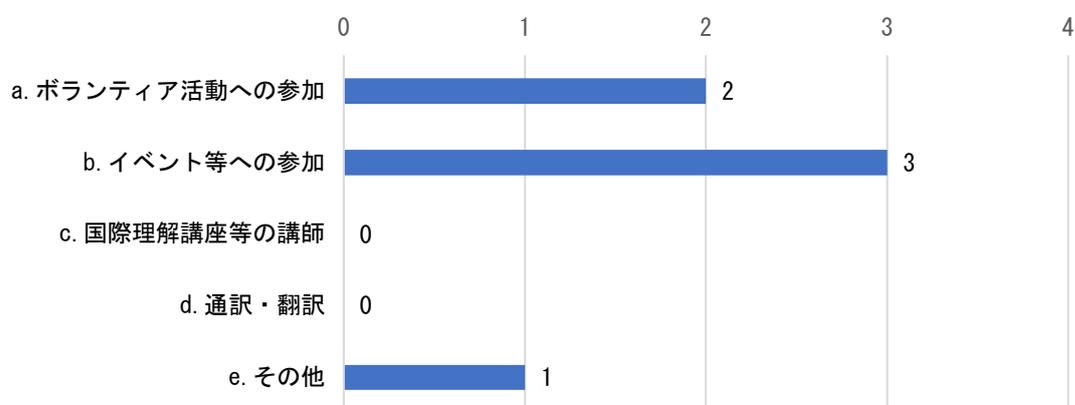
「①ある」の団体名

- ・〇〇市国際交流協会（1）
- ・〇〇市・〇〇市教育委員会・地域任意団体他（1）

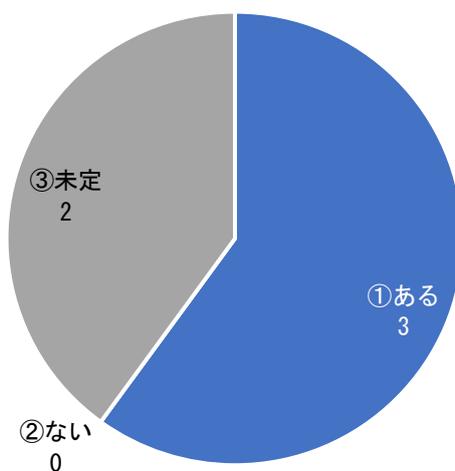
「①ある」の内訳（日本語教育に関する、学校または教職員の関わり）（n=3）

	0	1	2
a. 事業企画	0		
b. 事業運営	0		
c. 指導者養成	0		
d. 教材作成	0		
e. カリキュラム作成	0		
f. 学習者紹介	0		
g. 日本語能力判定	0		
h. 講師派遣		1	
i. 講師紹介	0		
j. その他	0		

「①ある」の内訳（地域活動に関する、外国人学生の関わり）（n=3）



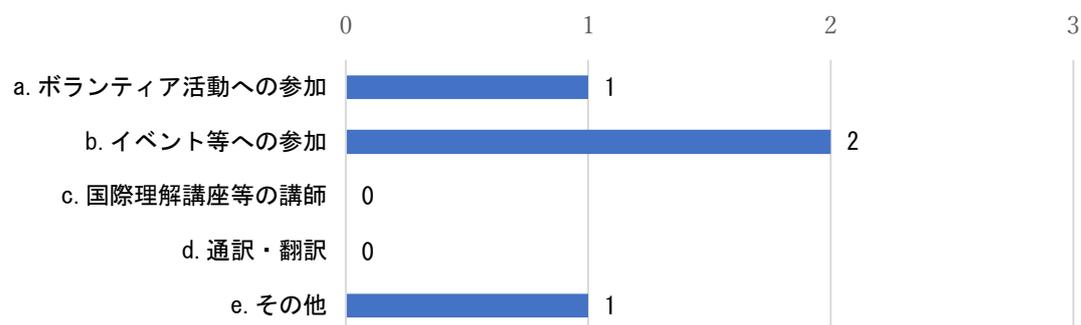
問5 今後、自治体や国際交流協会、地域の日本語教室等との連携・協力の可能性が
ありますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。（N=5）



「①ある」の内訳（日本語教育に関する、学校または教職員の関わり）（n=3）



「①ある」の内訳（地域活動に関する、外国人学生の関わり）（n=3）



問6 その他、日本語教育事業に関して、県に対してご意見・ご要望・ご質問等がありましたらご自由にお書きください。

- ・学習者からボランティア活動の希望があったら是非参加させたいが、問い合わせ先がわからないので、教えて欲しい。特定活動ビザが新設されたが、本来は日本で資格を得るものではないはず。あまり日本語学校に関係ないと思われる。
- ・地域からの要請もあることですが、留学生が外国籍の方に対する通訳やアシストが気軽にできる仕組みとその制度化。
- ・外国人が岐阜県を選んで住めるような魅力や有益情報の発信。
- ・言語が理解できるマニュアル書の作成等。

7 大学調査結果

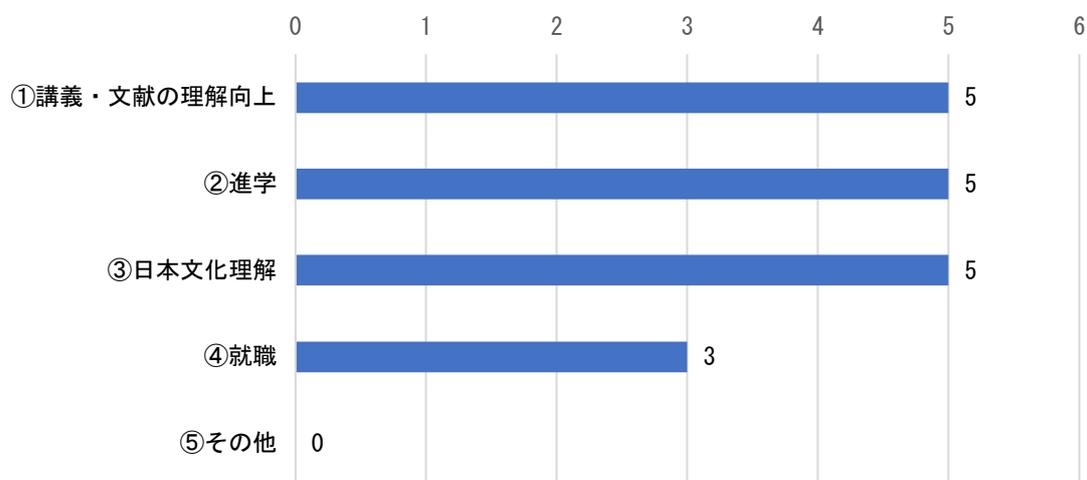
1 貴校の教育サービス等について

問1 現在、貴校に登録されている日本語教師数について教えてください。

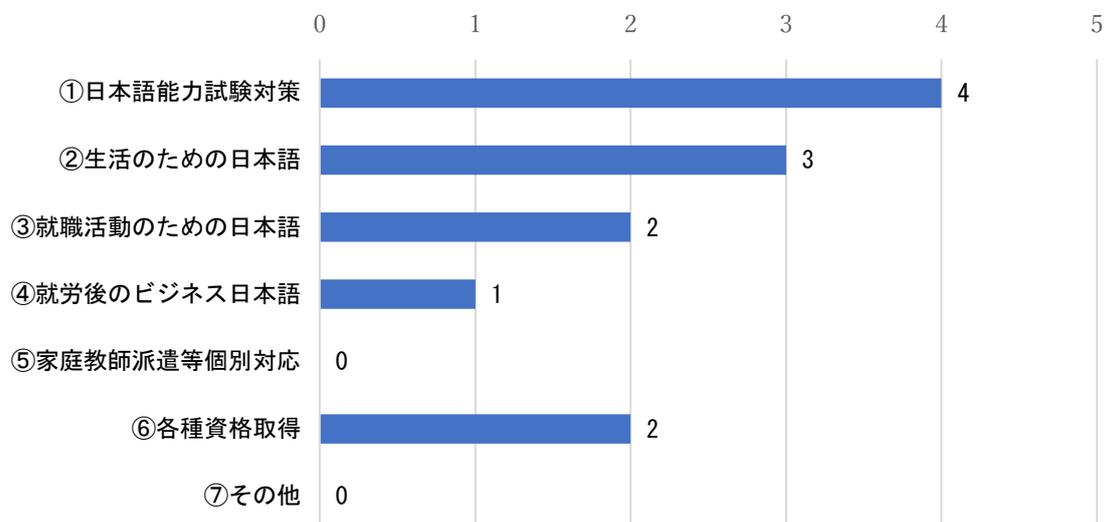
(単位：人)

	学校名	常勤講師	非常勤講師
1	A 大学	1	10
2	B 大学	3	9
3	C 大学	2	3
4	D 大学	5	11
5	E 大学	2	9

問2 貴校で行われている日本語教育の主な目的・目標について教えてください。該当するものすべてにチェックを入れてください。(N=5)



問3 問2でご回答いただいたこと以外に、外国人向けに提供されている教育サービスについて、該当するものすべてにチェックを入れてください。 (N=5)

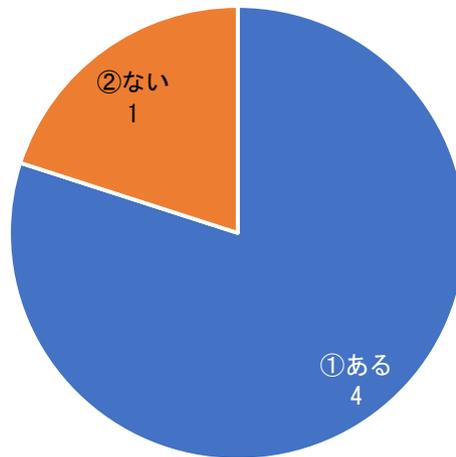


「①日本語能力試験対策」のレベル

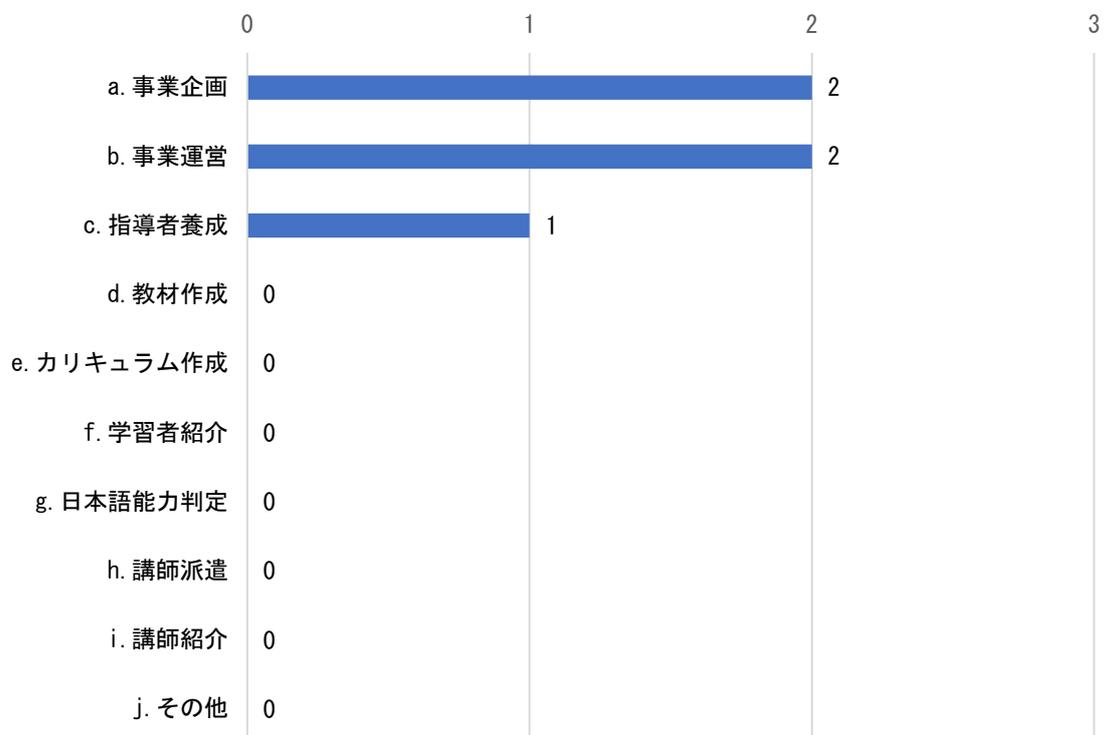
- ・ N5～N1まで (1)
- ・ N5～N2まで (1)
- ・ N3～N1まで (1)
- ・ N2～N1まで (1)

2 地域との関わりについて

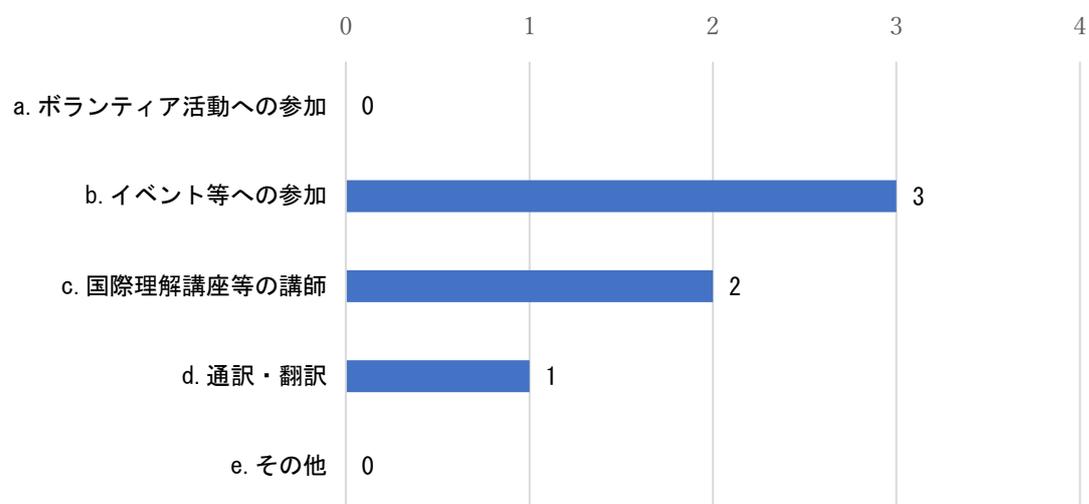
問4 現在または過去に自治体や国際交流協会、地域の日本語教室等との関わりがありますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。（N=5）



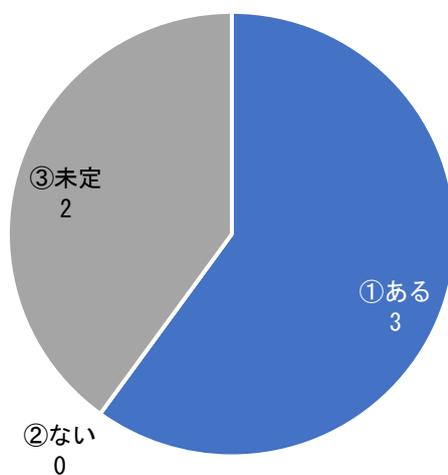
「①ある」の内訳（日本語教育に関する、学校または教職員の関わり）（n=4）



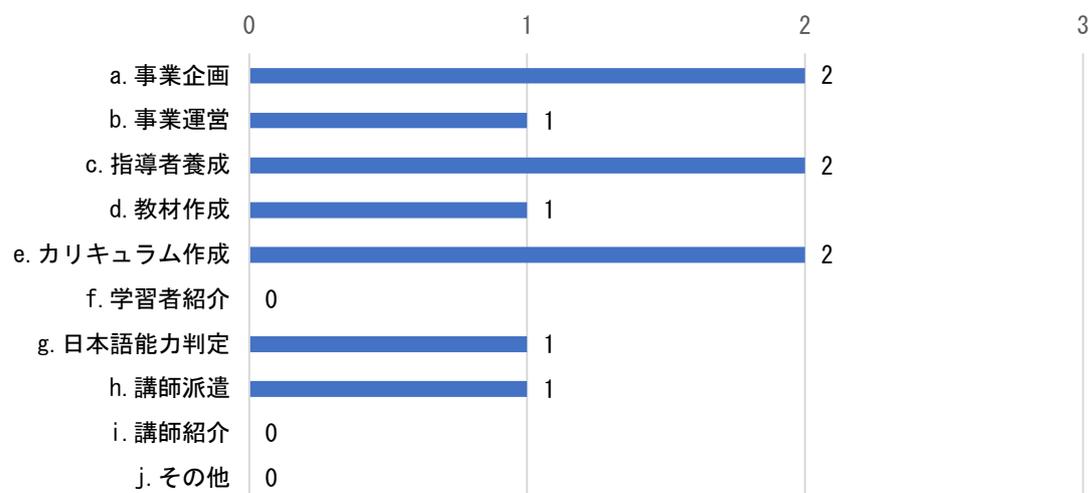
「①ある」の内訳（地域活動に関する、外国人学生の関わり）（n=4）



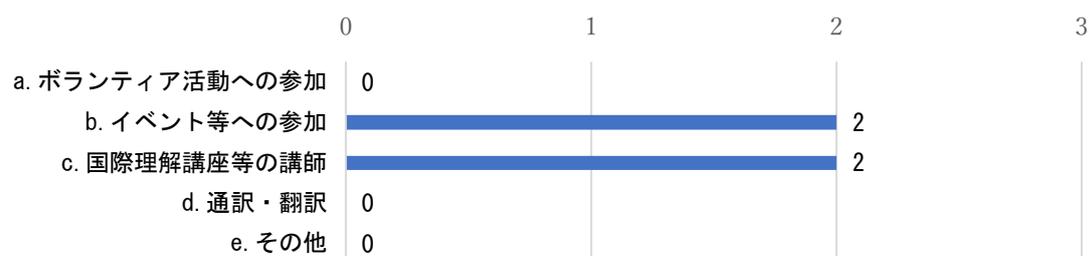
問5 今後、自治体や国際交流協会、地域の日本語教室等との連携・協力の可能性が
ありますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。（N=5）



「①ある」の内訳（日本語教育に関する、学校または教職員の関わり）（n=3）



「①ある」の内訳（地域活動に関する、外国人学生の関わり）（n=3）



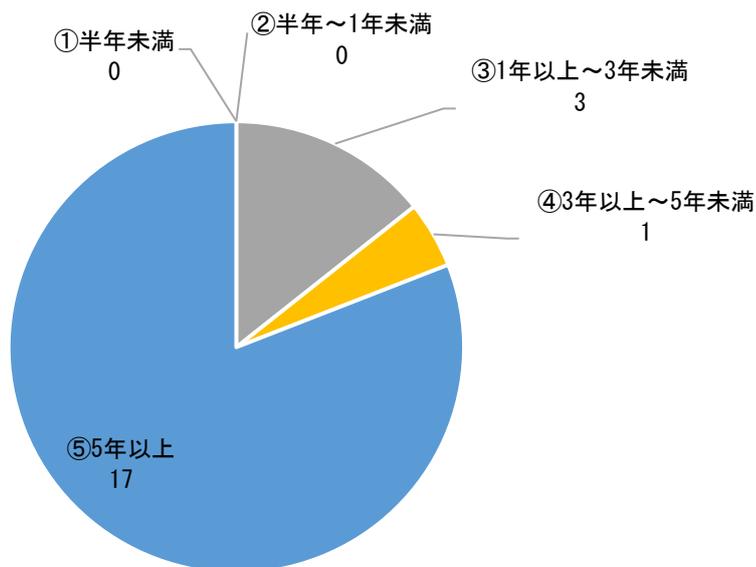
問6 その他、日本語教育事業に関して、県に対してご意見・ご要望・ご質問等がありましたらご自由にお書きください。

- ・外国人に対する日本語支援といっても、その支援対象者（層）、教育（学習）目標、内容・方法・場所、達成目標となる日本語到達度（レベル）などなど様々な観点から解決すべき問題があると思いますが、日本語は日本社会という文化の中で生きていくために必要となる"道具"の一つにすぎないという面もあります。まずは岐阜県民と外国人が岐阜という社会の中でいかにしたら対等な関係（多文化共生）をスムーズに築けるか、その中で日本語支援がどのような位置づけとして捉えられるか（べきか）が課題になると思います。それによって日本語支援の内容も変わってくると思います。岐阜県下の日本語教育に関わる人的・物的資源を将来有効・効率的に活用していただけるような政策・制度をデザインしていただけることを願っています。
- ・大学として協力できることがあれば、可能な限り対応させていただきます。

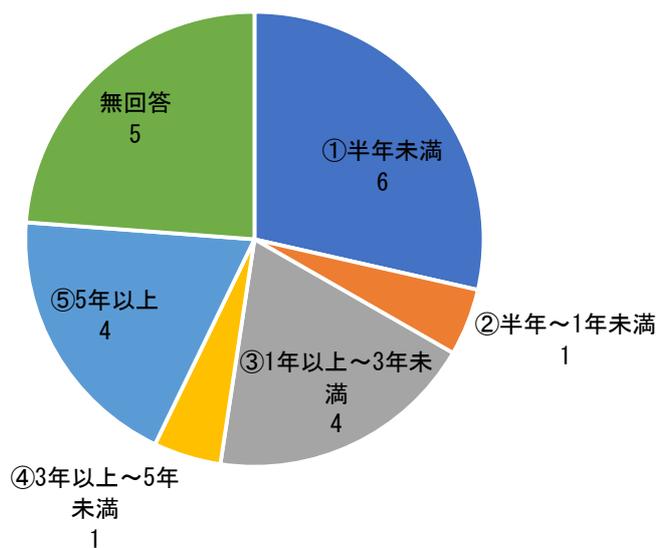
8 大学日本語教師調査結果

問1 あなたの日本語教育経験はどのくらいですか？ (N=21)

①大学や日本語学校等での仕事



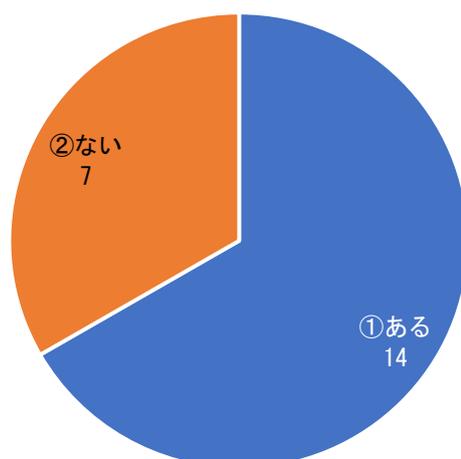
②地域日本語教室のボランティア



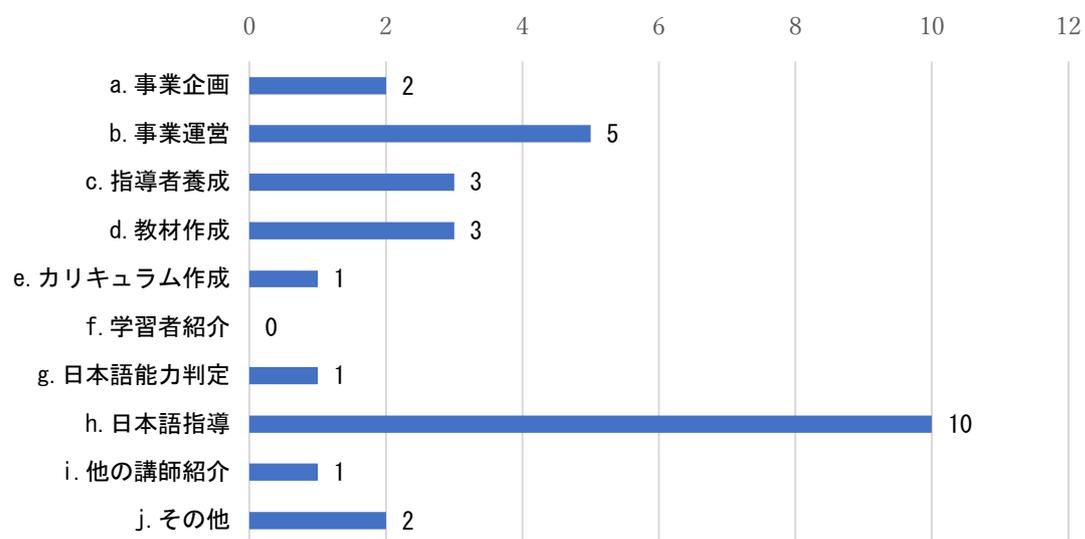
問2 あなたの日本語教育関連資格について、下記のうち該当するものすべてにチェックを入れてください。(N=21)



問3 現在または過去に自治体や国際交流協会、地域の日本語教室等との関わりがありますか? 該当するものすべてにチェックを入れてください。(N=21)

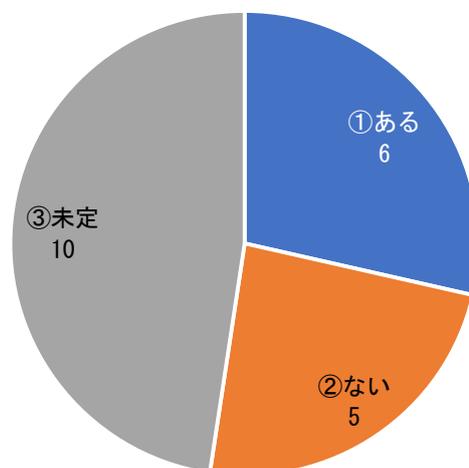


「①ある」の内訳 (n=14)

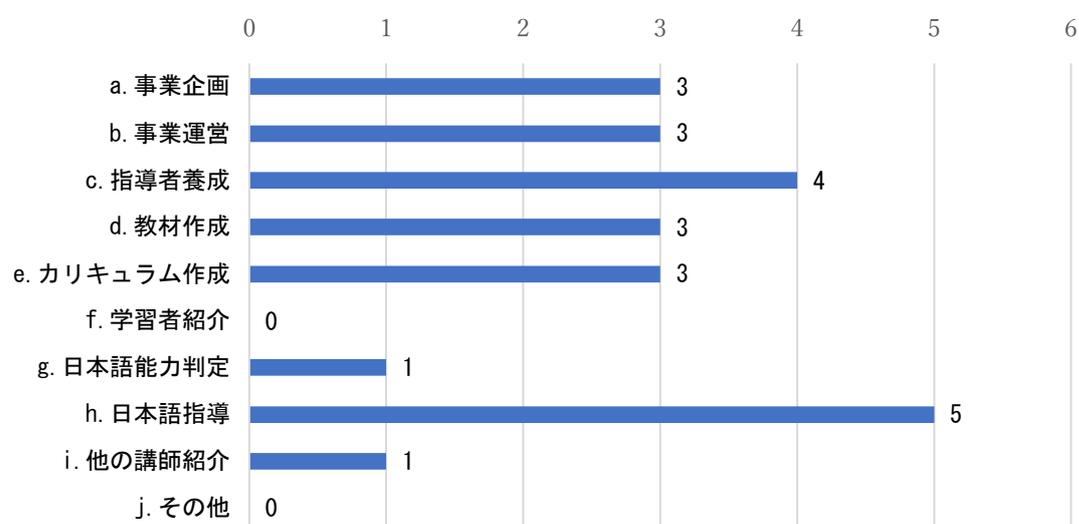


問4 今後、自治体や国際交流協会、地域の日本語教室等が行う日本語教育と連携・協力の可能性がありますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。

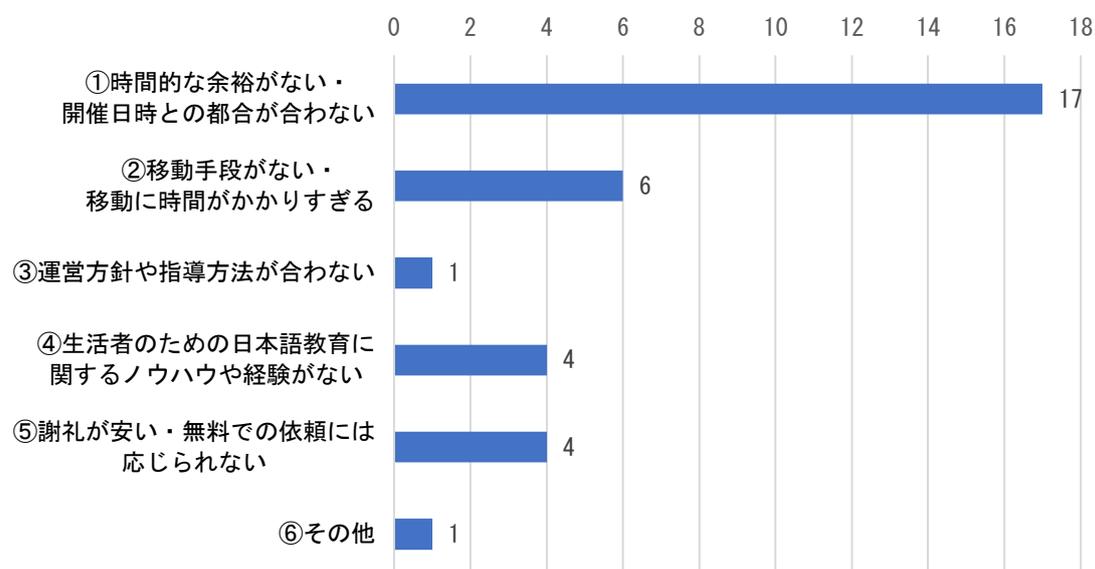
(N=21)



「①ある」の内訳 (n=6)



問5 地域の日本語教室への協力について、課題と思われることは何ですか？該当するものすべてにチェックを入れてください。 (N=21)



問7 その他、日本語教育事業に関して、県に対してご意見・ご要望・ご質問等がありましたらご自由にお書きください。

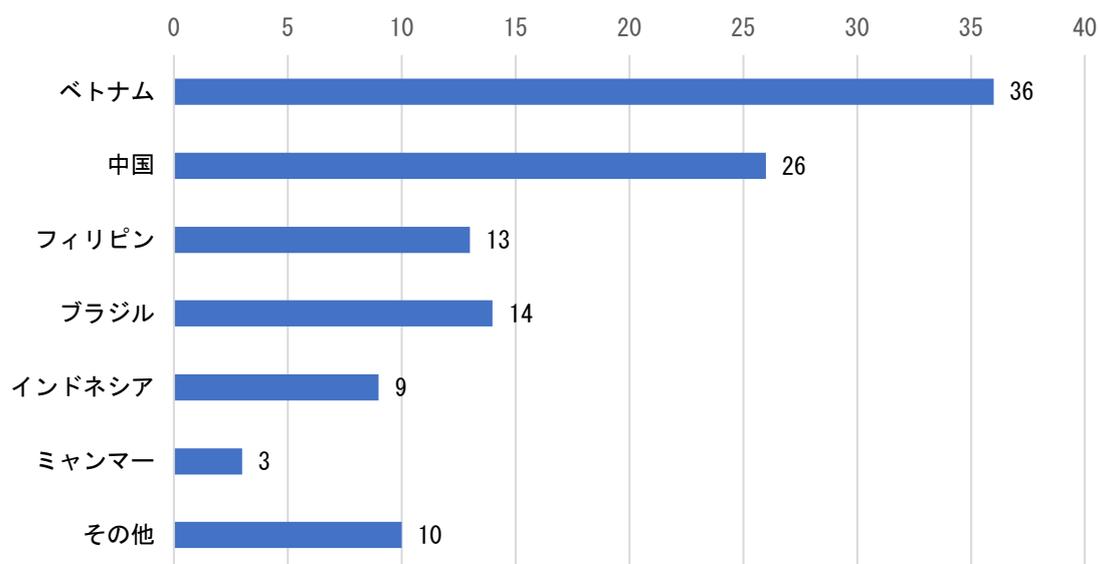
- ・中卒程度（15～16歳）で呼び寄せられて来日した日系外国人（フィリピン、中国など）の若者が学べる場が少ないことが気になります。
- ・外国人の大人、子どもの日本語教育支援に携わってくれるボランティアの人の養成が必要だと思います。特に〇〇市において。
- ・大学という教育機関として、外国人日本語支援の問題において、地域社会との連携でこれまでどのような事例があるのか、また今後どのような可能性があるのか、さらにはどのようなことが地域から求められているのか。他大学、他団体等の事例や意見なども教えて頂けると参考になります。

9 外国人雇用企業調査結果

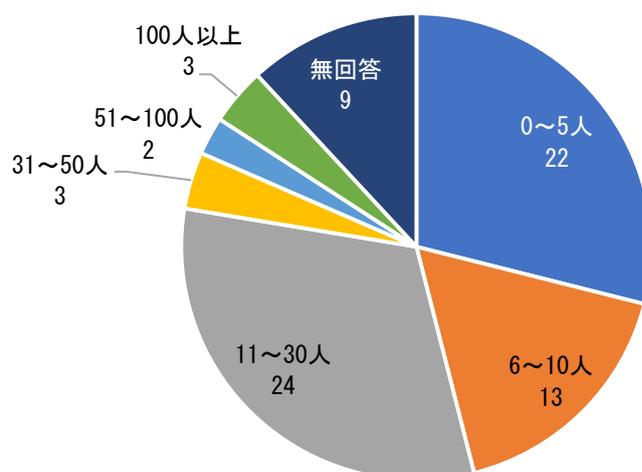
1 御社の外国人従業員について

問1 御社の外国人従業員（雇用形態を問わず）について教えてください。（N=76）

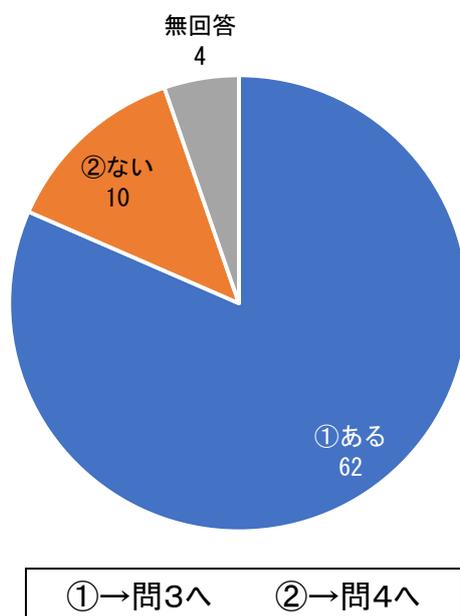
<国・地域別>



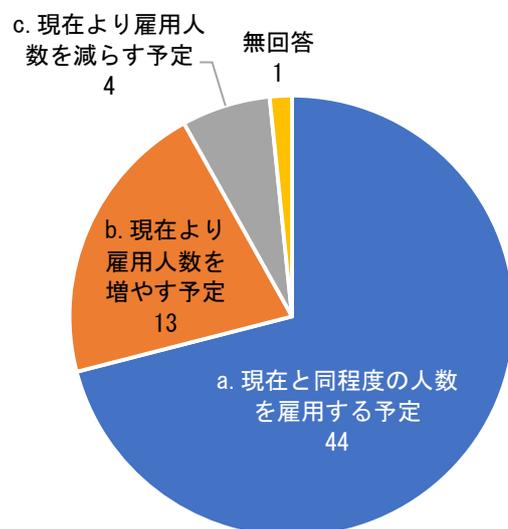
<雇用人数>



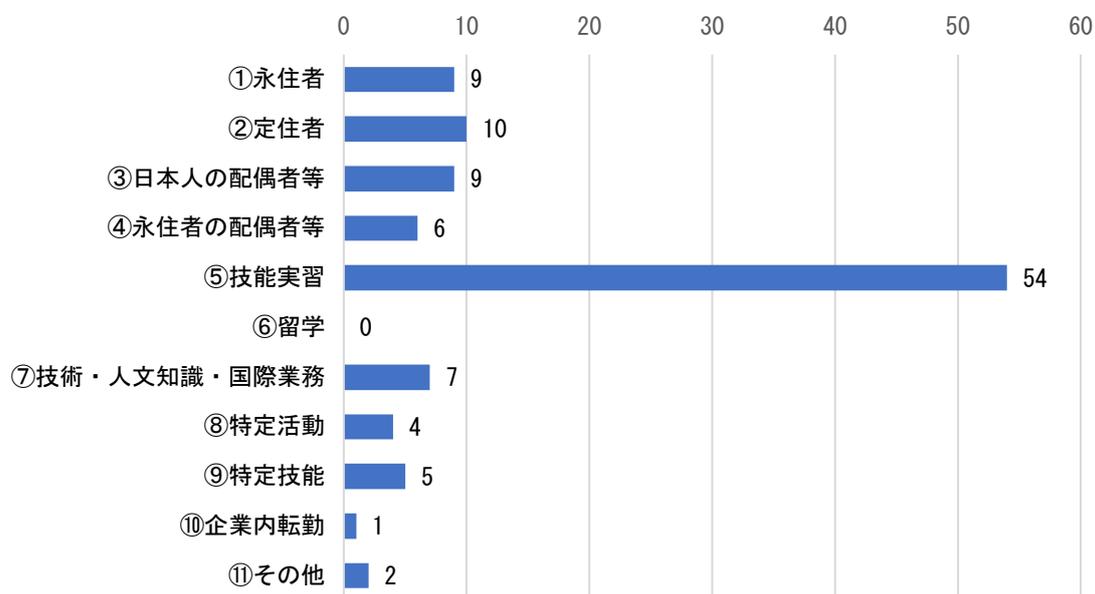
問2 今後1年以内に外国人従業員を新たに雇用される予定がありますか。(N=76)



「①ある」の内訳 (n=62)



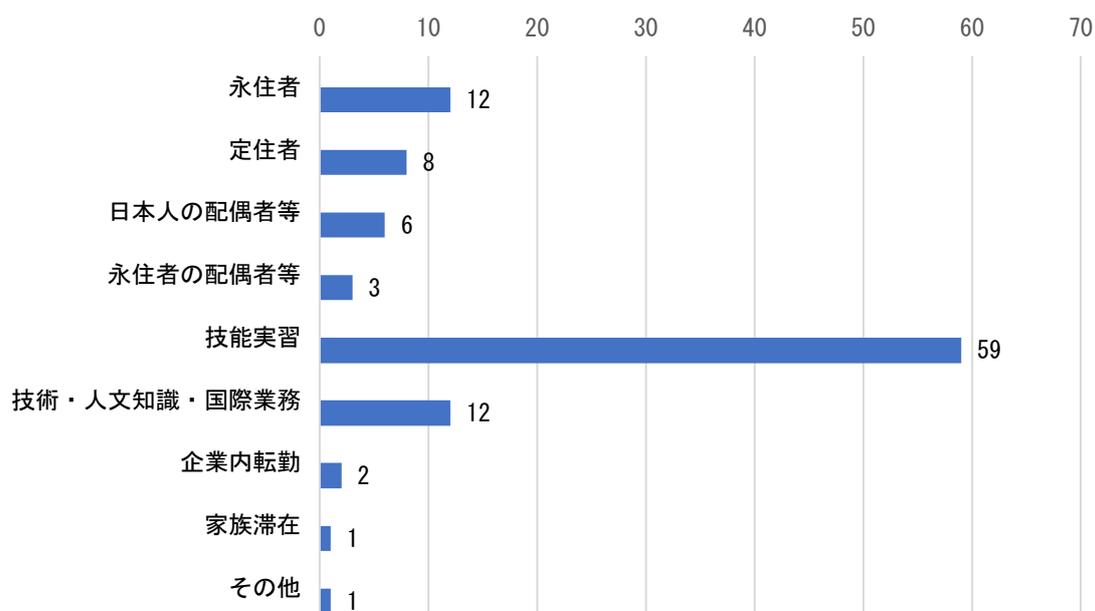
問3 新たに雇用を予定している外国人の在留資格を教えてください。該当するものすべてにチェックを入れてください。 (n=62)



「⑪その他」の内訳 (n=2)

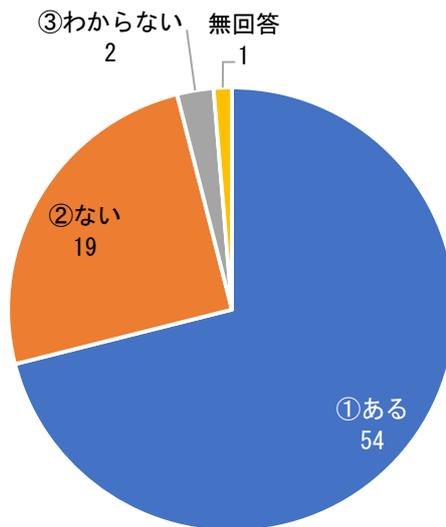
・家族滞在 (2)

(参考) 現在雇用している外国人の在留資格 (N=76)

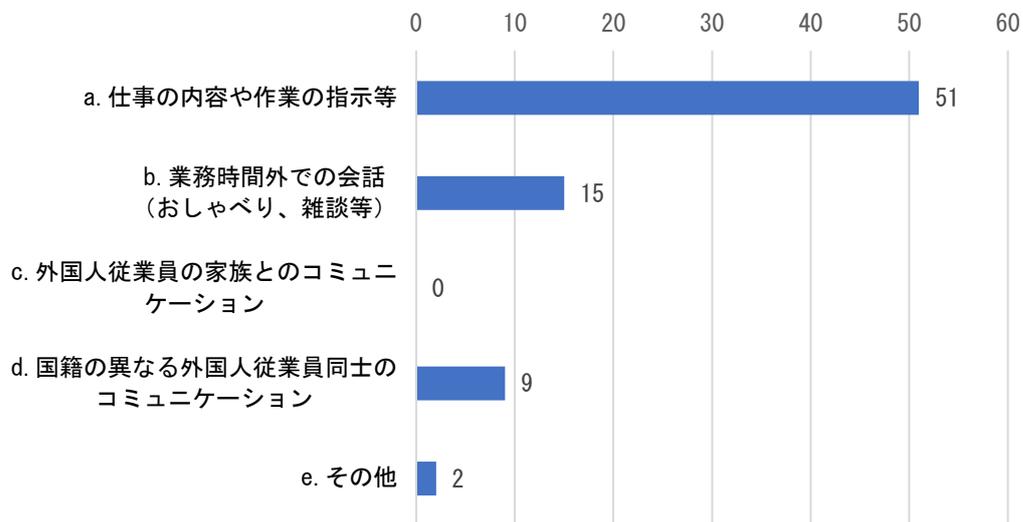


2 日本語教育について

問4 日本人従業員等から、外国人従業員等とのコミュニケーションにおいて、日本語が伝わらず意思疎通に困っているという声を聞かれたことがありますか。該当するものすべてにチェックを入れてください。 (N=76)



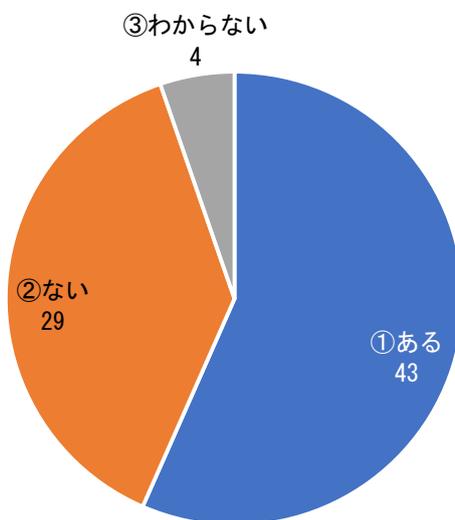
「①ある」の内訳 (n=54)



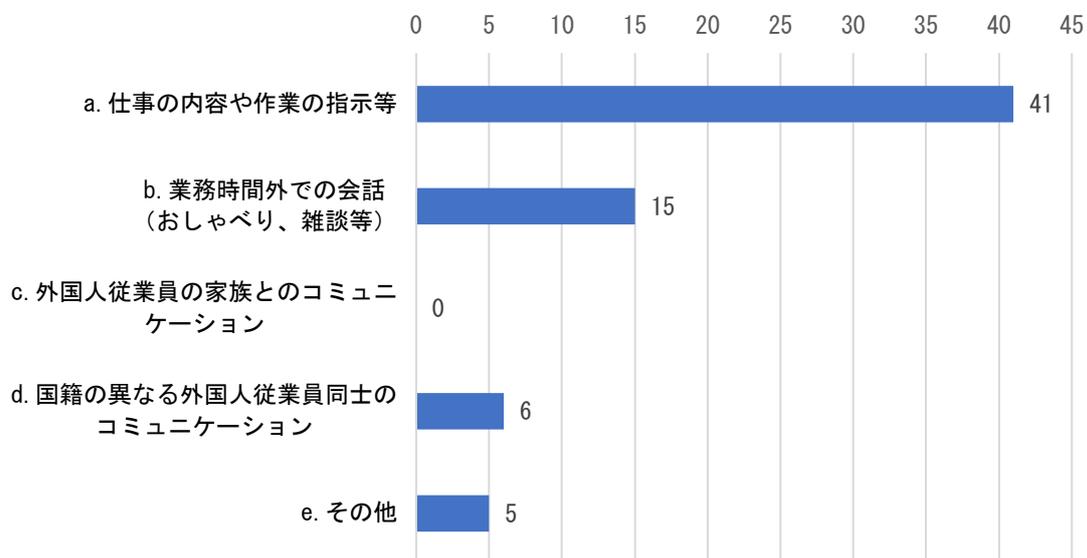
「e.その他」

- ・緊急時（病気、災害時）（1）
- ・病気の内容・詳細・生活面での会話（1）

問4 外国人従業員から、日本人従業員等とのコミュニケーションにおいて、日本語がわからず意思疎通に困っているという声を聞かれたことがありますか。該当するものすべてにチェックを入れてください。 (N=76)



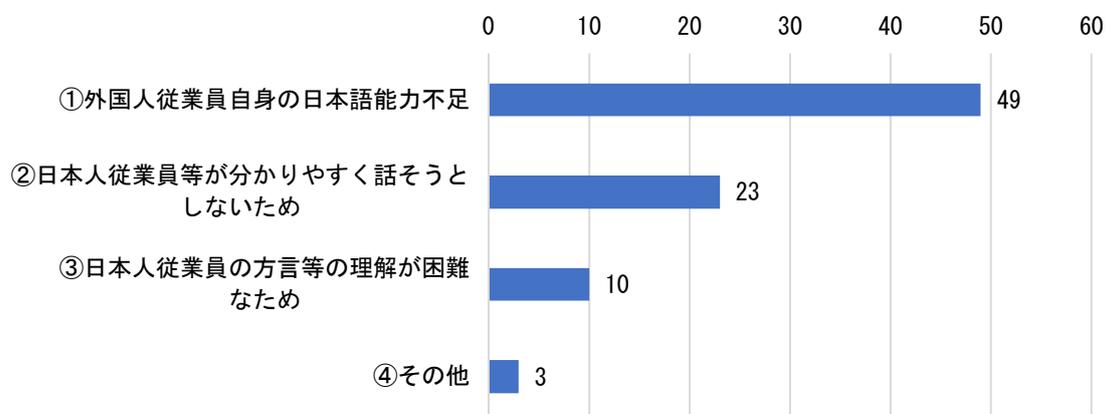
「①ある」の内訳 (n=43)



「e.その他」

・通院等・業務外、病気・災害のとき、寮での生活について、税金の事など、会社の連絡事項等 (各1)

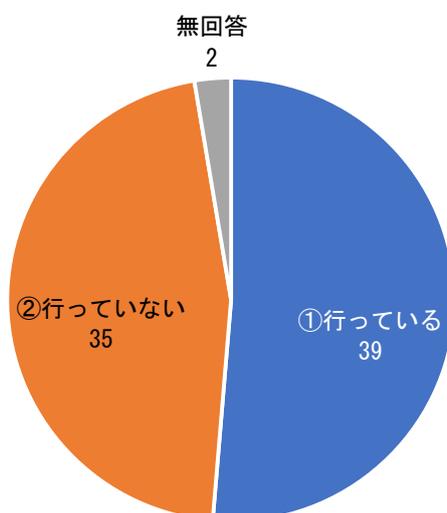
問5 問4の理由は何だと思えますか。該当するものすべてにチェックを入れてください。(N=76)



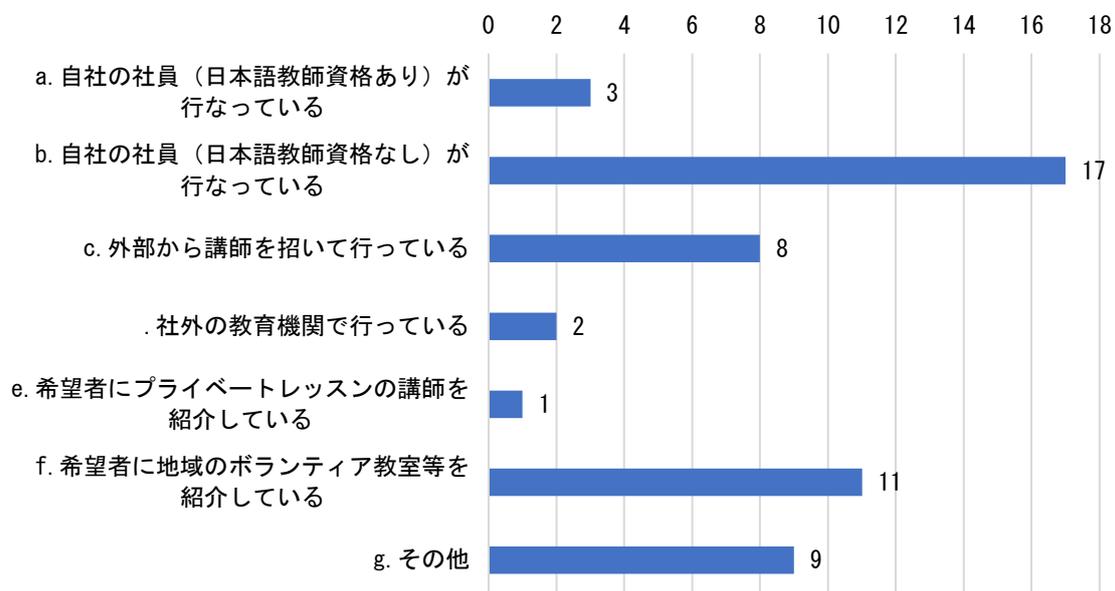
「④その他」の理由

- ・外国人従業員からコミュニケーションで困っているという話を聞いたことがない。
- ・自国（母国）での事前学習が不足しているため。
- ・書き物等で日本語をわかりやすく書いていない。

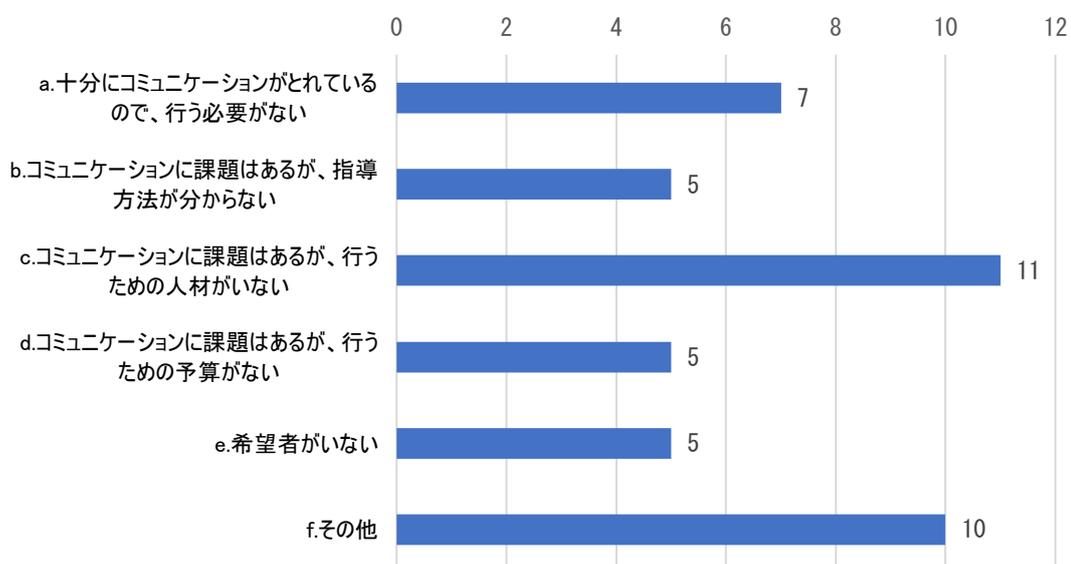
問6 現在、外国人従業員に対して日本語教育を行われていますか。行っている場合はその形態を、行っていない場合はその理由を教えてください。該当するものすべてにチェックを入れてください。(N=76)



「①行っている」の形態 (n=39)



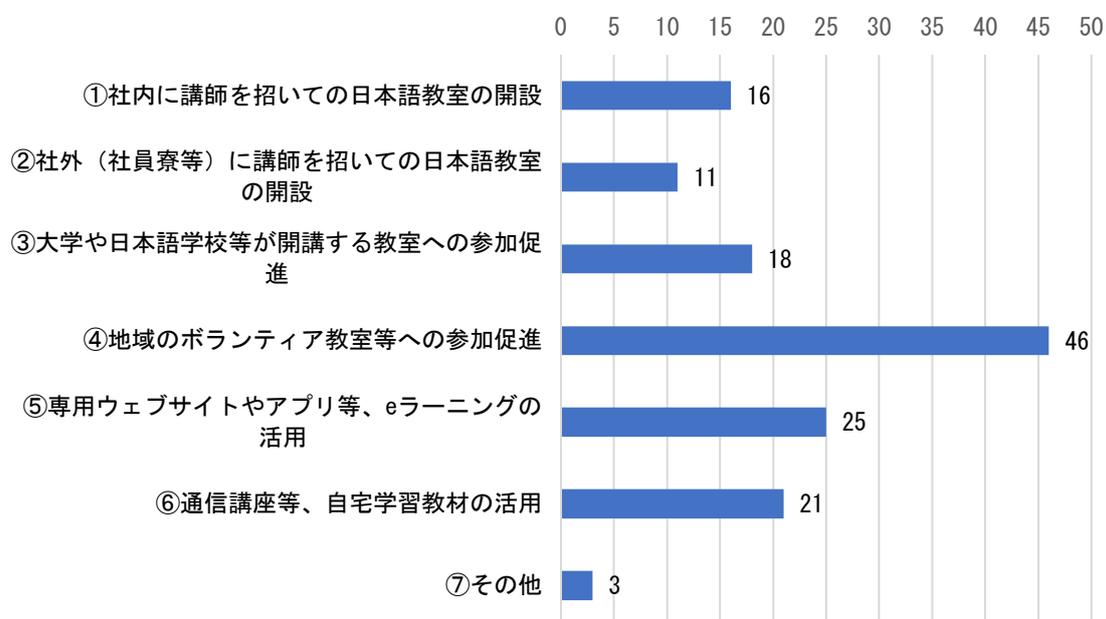
「②行っていない」の理由 (n=35)



f.その他

- ・実習団体、組合に通訳がいる。ほぼ日本語を理解している。
- ・通訳が在籍している。
- ・必要時に通訳を利用している。
- ・月1回の監理団体の巡回の際や緊急の場合には監理団体に通訳の派遣を手配している。
- ・日本語修得は普段の会話でも学べるから。
- ・実習時間外での指導はむずかしい。
- ・日本語ボランティアをやっているところを本人達に紹介しても自分達で勉強するという答えがかえってきた。
- ・今後、予定あり。
- ・時間が取れない。
- ・勤務時間が一定ではなく一律で指導できない。

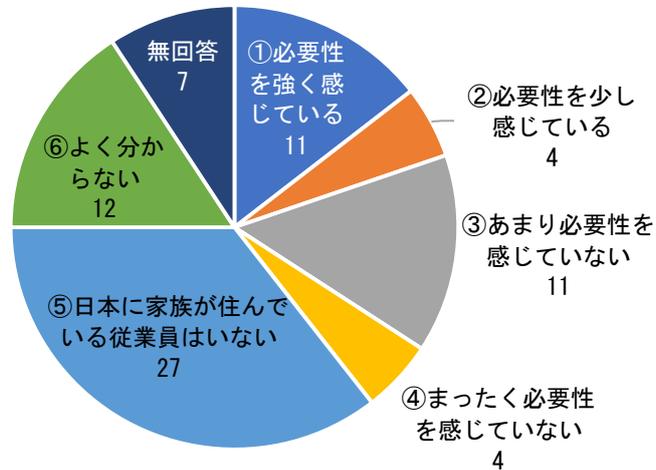
問7 今後、外国人従業員向けの日本語教育を充実させていくとした場合、どのような形態での学習機会があればよいと思いますか。該当するものすべてにチェックを入れてください。 (N=76)



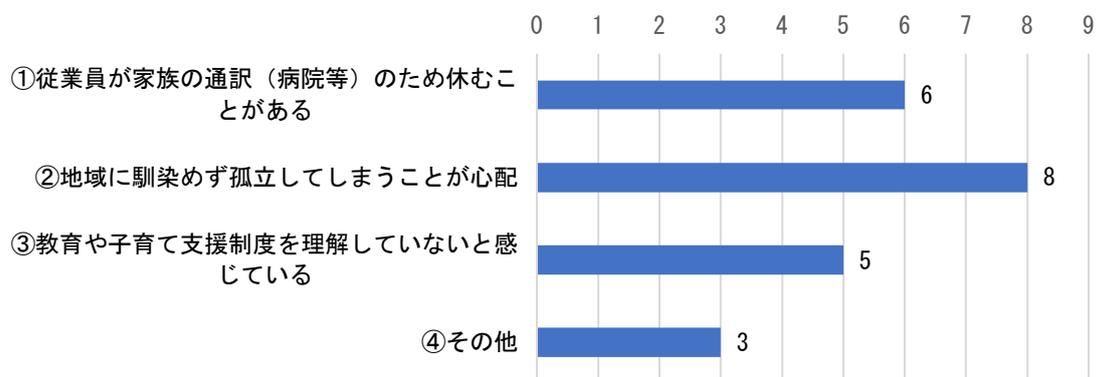
「⑦その他」

- ・基本的に本人の努力が必要。
- ・外国人実習生は現状のままで良いと考えます。
- ・社員による教育・教室。

問8 日本語でのコミュニケーションが困難な外国人従業員の家族（外国人配偶者や子）を対象とした日本語教育の必要性について教えてください。（N=76）



問9 上記①②の場合、その理由をご記入ください。（n=15）



「④その他」の理由

- ・従業員が家族の通訳のために休まなくていいように会社の通訳が対応している（病院まで付き添って通訳）。
- ・スタッフが従業員及びその家族のために通訳として同行するが多い。
- ・仕事上、指示したことがスムーズに行えるようになるため。

問 10 その他、日本語教育事業に関して、県に対してご意見・ご要望・ご質問等がありましたらご自由にお書きください。

- ・地域のボランティア教室等を増やしていただけたらと思います。
- ・講師の紹介制度を設けてほしい。すでに有る場合は広く周知してほしい。ボランティア教室へ助成するなど、教室の開講回数が増える様補助を望みたい。
- ・〇〇市の国際交流協会のクラスは大変ありがたく受講させていただいておりますが、ボランティアのチューターさんの数がいつも不足しているので、広く募っていただけたらと思います。よろしく申し上げます。
- ・日本人従業員とよく接しているので問題ない。入国後一ヶ月の日本語勉強が充実しているミャンマー人はOK。企業の負担になることはあまりできない。
- ・日本語教育について情報発信をお願いしたい。
- ・せめて市町村の病院に（一ヶ所）外国語通訳がほしい。又、災害の避難マニュアル（主要外国語）が必要。
- ・地域のボランティア教室は日本の文化を学びつつ日本語で会話をしてくださるので、そのような場所が増えると助かります。
- ・子ども達が小さいうちから日本語を習得できる体制があれば、親はかなり不安が解消されると思います（子どもが孤立しないように）。
- ・外国人の方の就業率UP、キャリアUPには日本語レベルの上達が必要で、且つ企業はそのやり方に苦心しているので活用できるモノを明確に告知してほしい。
- ・日本語の修得はその本人次第と考えます。学ぶ気があれば社内の日本人作業員から学べると思います。しかし学べる場所、機会はあった方が良く考えます。
- ・ゴミ出しカレンダーに母国語がない場合が多い・税金などわかりやすい説明マニュアルがほしい
- ・外国人向け災害対策マニュアルがあるとよい
- ・女性の外国人は痴漢など狙われやすいので注意マニュアルがあるとよい。
- ・日本語教育について情報発信をお願いしたい。
- ・一次受入機関として過去15年間受入事業を実施してきました。商工会としては地元企業へ人材不足を解消する為に継続して今後も外国人受入事業を行なう予定です。日本語教育については現地（中国、カンボジア）にて勉強をして日本に来ますが、ほとんど日常会話ができるまで勉強していないと思います。日本に来てから1ヶ月座学をされていてすごく感じています。法務省（国）が相手国に日本語授業を義務づけていますが現実には全然出来てないのが実状です。向学心がある実習

生は地元の国際交流協会の日本語講座にて土日に勉強していますが、ごく一部に限られています。実習生については受入機関（一次）がしっかりしている所だけ受入可能にすることが必要だと考えます（特に協会組合等、利益だけを求める団体にはきびしい管理をすることだと思います）。一次受入機関（協同組合、会社、商工会、JA等）と行政（町、市）が連携して事業を進めることが重要と考えます。私は外国人に世界中で日本が一番良い国だといつも時間がある時に座学で話をしています。県に対しても感謝していますが、現状は非常にきびしい状況にあると思います。私も昨年まで〇〇国際交流の副会長を20年近くやっていました。協力出来ることがあれば相談下さい。

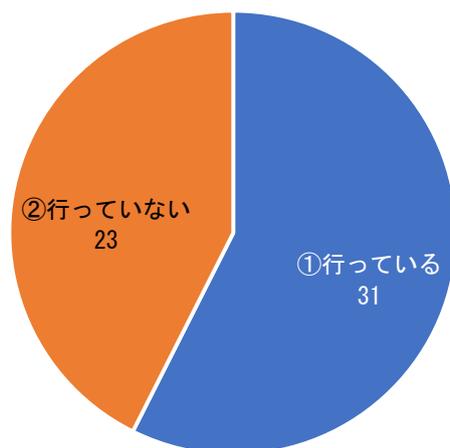
- ・教えてくれる場所が遠い、お金が必要。
- ・県や市の方で、土曜日とか日曜日に日本語教室をやったらどうですか。中・小企業では、なかなか教育できないため。
- ・日本語教材の充実化←日本語能力試験対策の教材はあるが、日常生活、生活に使う言葉を取り上げた内容（危険予防、防災等）。
- ・地域生活のマナー（ごみ出し）に関すること。
- ・近くで土日に教室があるといい。
- ・ホームページその他で教育事業を積極的にアピールしてほしい。
- ・教育にかかる費用の負担。
- ・安価で学べる日本語教室の場所を増やしてほしい。
- ・日本語講師の派遣を無償化するとよい。
- ・近くでの日本語教育を受講する機会がありません。
- ・日本語能力試験のレベル（N3,N2）に応じた日本語教室を実施してほしい。もしくは、そういう講師の方を紹介してほしい。
- ・小学校低学年程度の日本語力が望ましい。近くの小学校など地域で日本語が学べる場があると活用しやすい。文化交流もできるので、一時間程度、学校の授業に組み込んではどうか。

クロス集計

1 従業員からコミュニケーション上の問題があるとした企業について

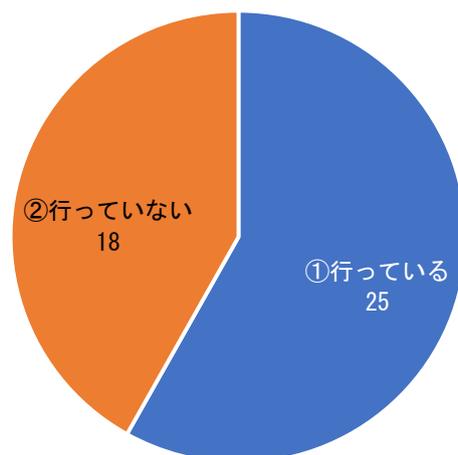
問4(日本人従業員)①×問6

日本語教育の実施(n=54)



問4(外国人従業員)①×問6

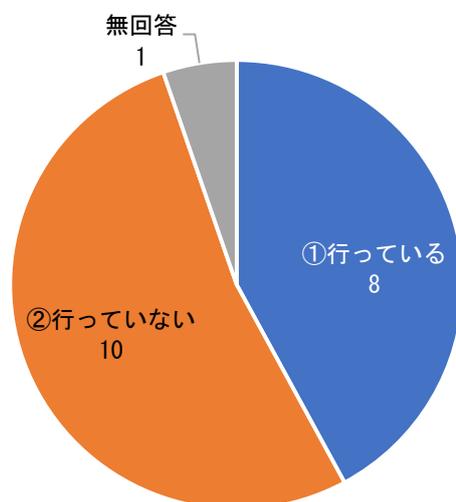
日本語教育の実施(n=43)



2 従業員からコミュニケーション上の問題がないとした企業について

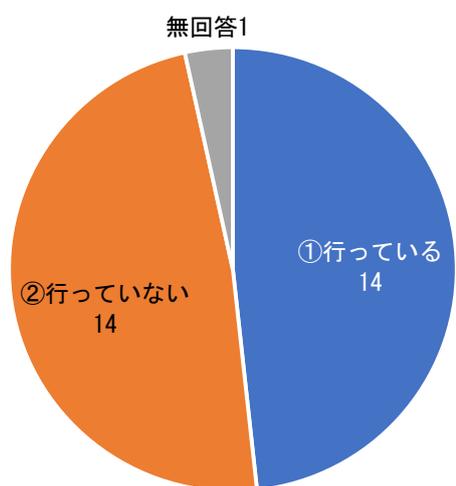
問4(日本人従業員)②×問6

日本語教育の実施(n=19)



問4(外国人従業員)②×問6

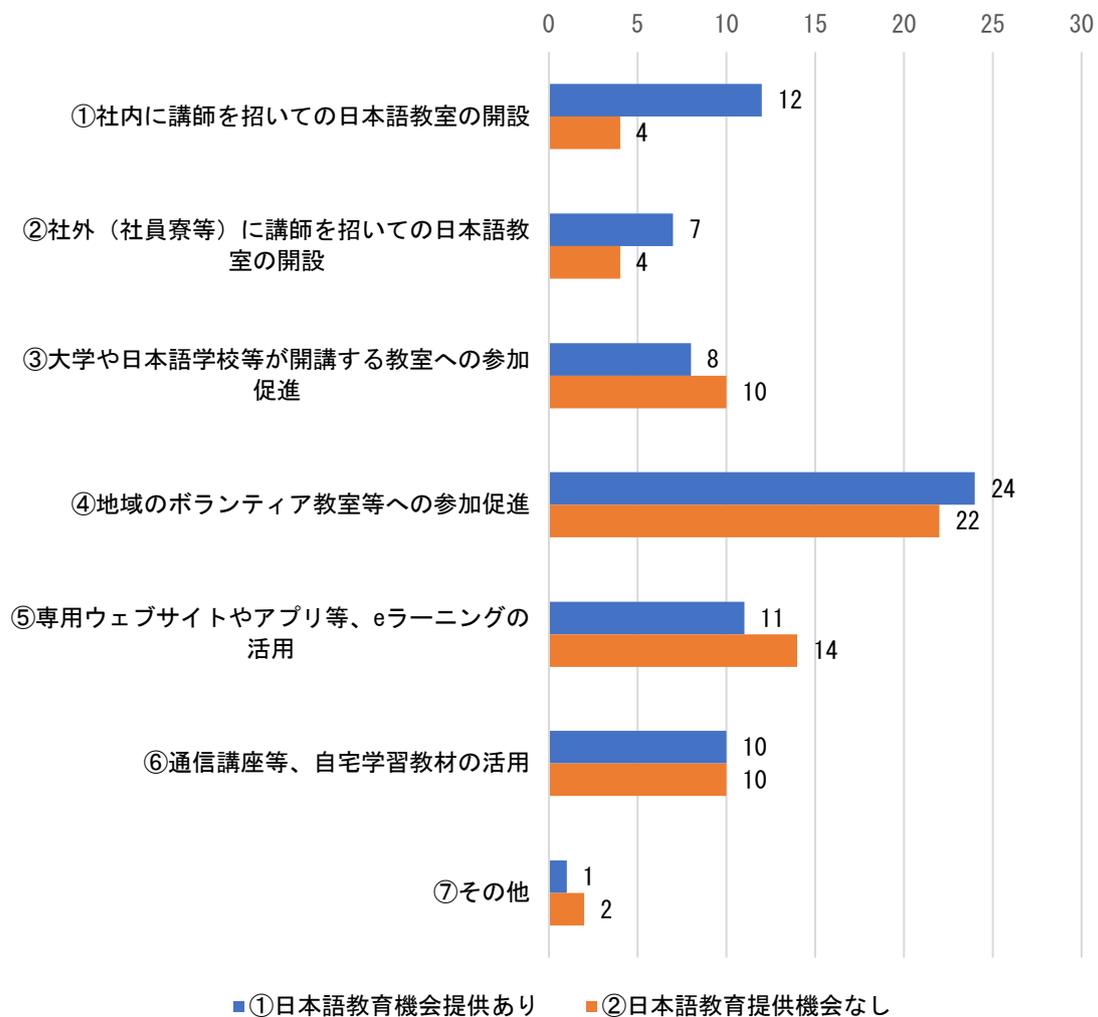
日本語教育の実施(n=29)



3 日本語教育の有無による機会提供の違い

問6①②×問7

日本語教育の充実に向けた学習機会の提供 (n=74)

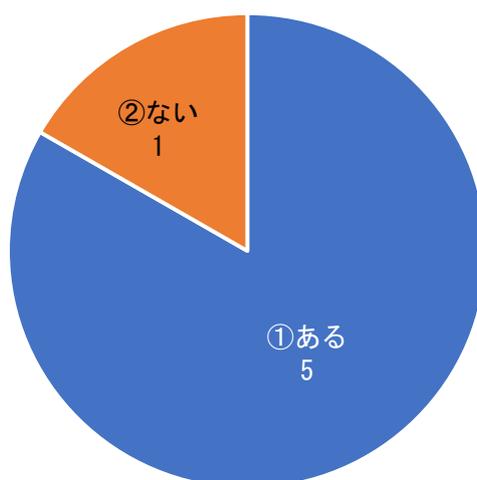


10 外国人学校・コミュニティ調査結果

問1 こちらの学校・コミュニティは、どのような方が何名ぐらい利用されていますか？

	団体	利用者
1	A	令和元年8月31日現在、生徒215名(幼児～高校3年生まで)
2	B	パキスタン人40名程度、インドネシア人40名程度、その他40名程度。同じ信仰を持つ人200名程度。
3	C	子供 40人(ブラジル人20、ペルー人10、フィリピン人10) 大人 40人(ブラジル人20、ペルー人10、フィリピン人10)
4	D	3人
5	E	50人
6	F	〇〇市及び周辺市町村の公立小中学校に通う外国ルーツの児童生徒、義務教育年齢を過ぎ成人までの日本語等のサポートが必要な子弟40名とその保護者

問2 こちらの学校・コミュニティの利用者から、仕事や日常生活で日本語がわからなくて困っているという声を聞かれたことがありますか。(N=6)



「①ある」の記述

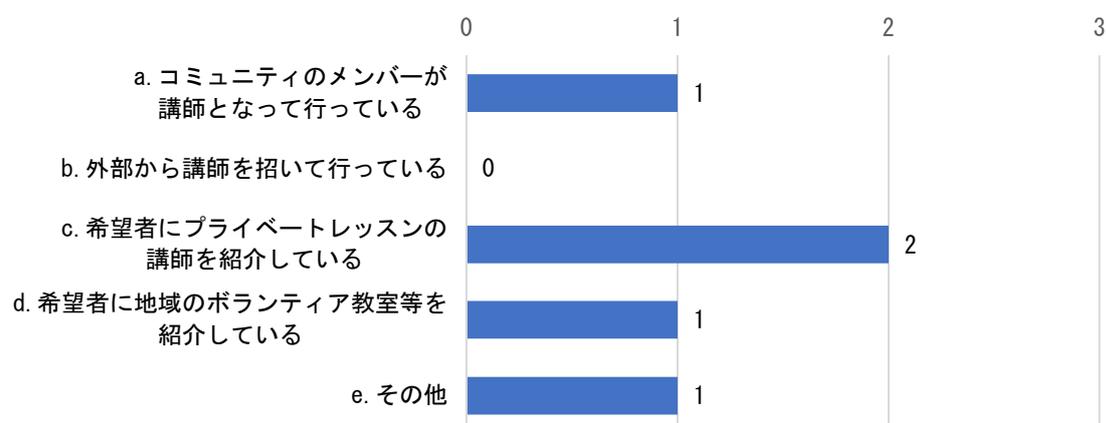
- ・ほとんど学生さんたちです。
- ・外国人の多くはあまり日本語を理解できていません。日本で長く住み生活をしていくつもりなので、ほとんどの人は日本語を学びたいと思っています。
- ・大人：日本語がわからないため、仕事が見つからない。子ども：日本語がわからないため、進学が不安です。

問3 現在、学校・コミュニティの利用者に対して日本語教育を行われていますか？
行っている場合はその形態を、行っていない場合はその理由を教えてください。

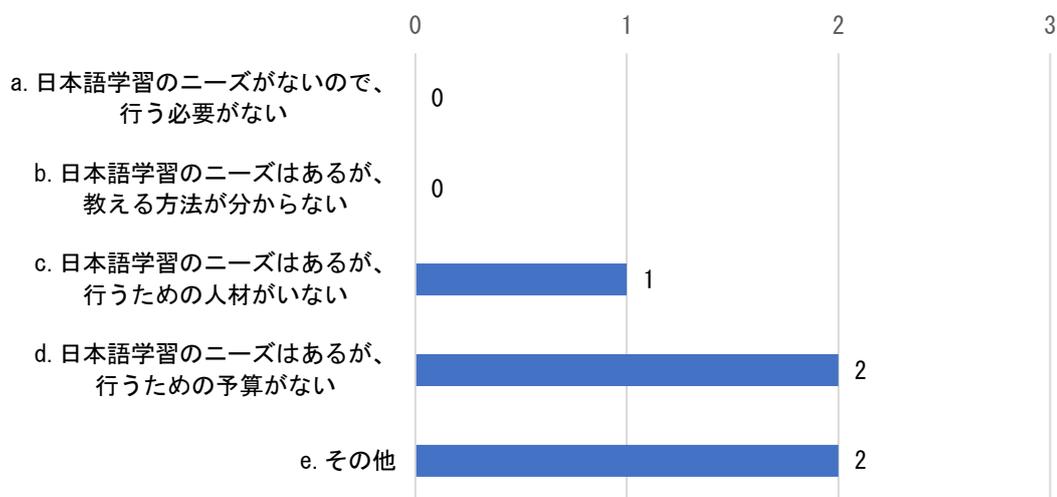
(N=6)



「①行っている」の形態 (n=2)



「②行っていない」の理由 (n=4)



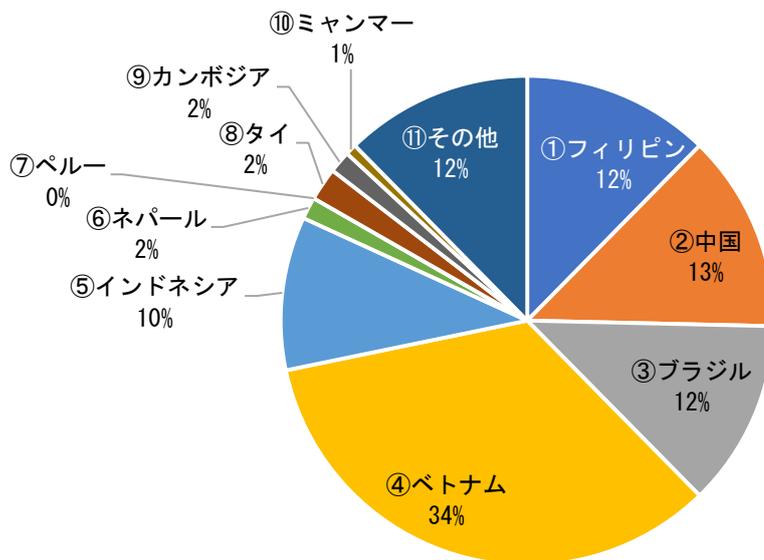
問4 その他、日本語教育事業に関して、県に対してご意見・ご要望・ご質問等がありましたらご自由にお書きください。

- ・日本語指導資格者をご紹介下さい。
- ・県からうちのモスクで日本語を教えてくれるボランティアの講師を派遣することは可能でしょうか。
- ・日本に住んでいる外国人がバイリンガル（日本語と自国語）になるためには、公的機関による学習機会を提供する必要があります。現在、実在する公共施設をもっと社会に開かれた空間として活用し、地域のコミュニティ全体に役立てることを希望します。一例として現在、使われていない学校などを活用してはどうでしょうか。
- ・地域内で無料の日本語教室があるようにしてほしい。
- ・在住外国人のために、県内の日本語学校（留学生受け入れ）で勉強できるような連携がありますか。
- ・弊団体での日本語教育の提供は週1～2回程度となるので、場合によっては、毎日の通学による日本語教育が必要なケースもあり、県内のボランティア教室～日々通学できるような学校（有償）まで、一覧になった教育提供団体等の一覧情報があるといいです。

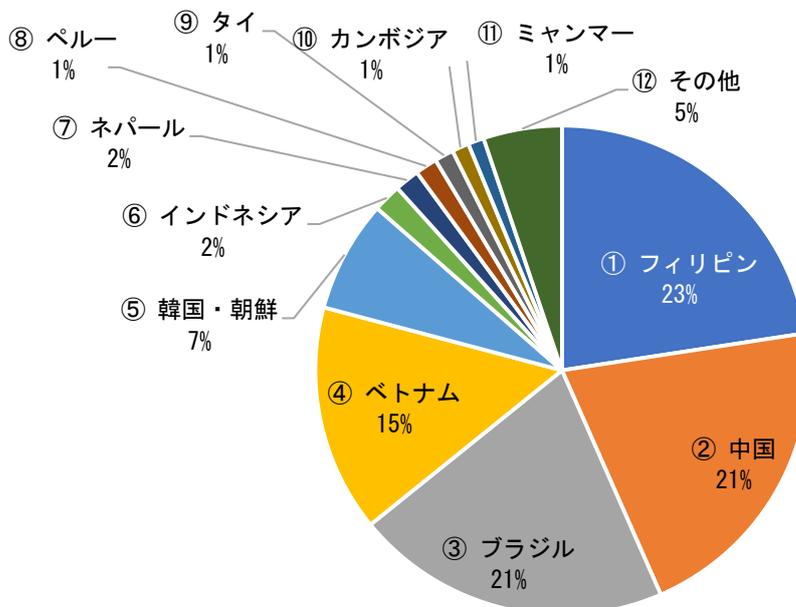
11 日本語教室学習者調査結果

1 あなたのことについて

問1 あなたの国籍を教えてください。(N=138)

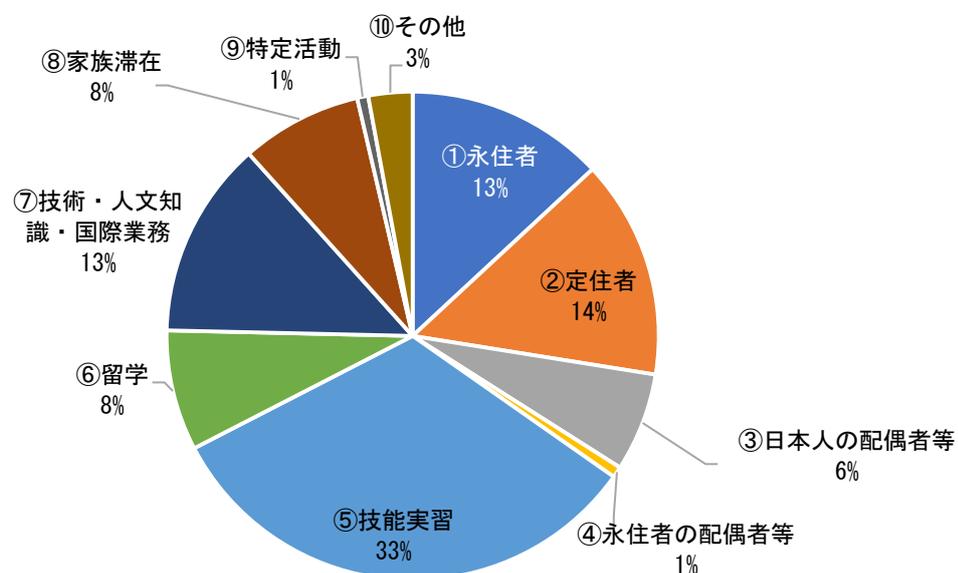


(参考) 国・地域別県内在住外国人(N=55,994)

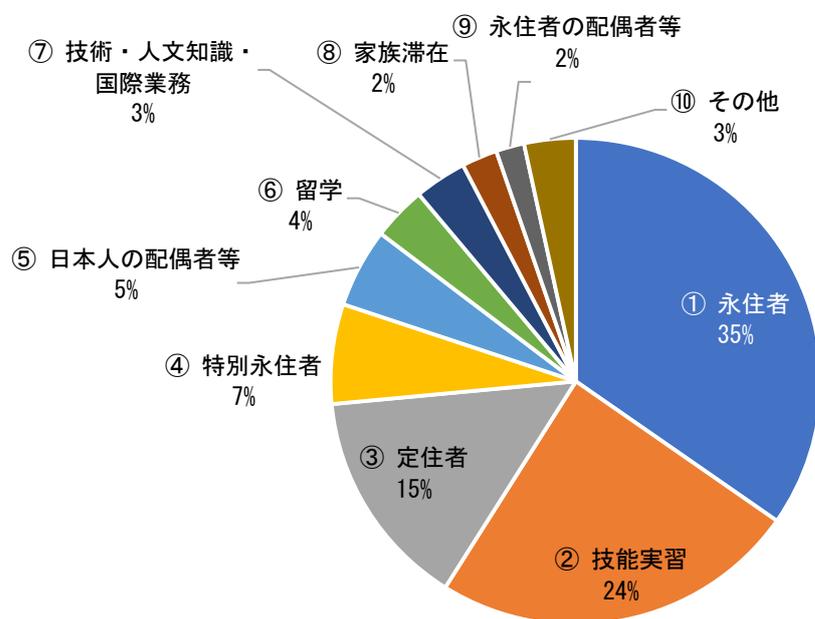


(2019年6月末現在、岐阜県調べ)

問2 あなたの在留資格を教えてください。(N=138)

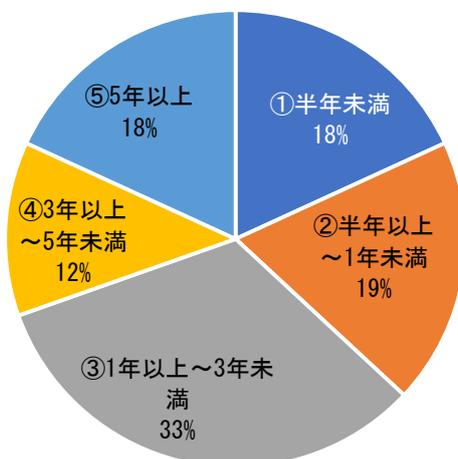


(参考) 在留資格別県内在住外国人(N=55,205)

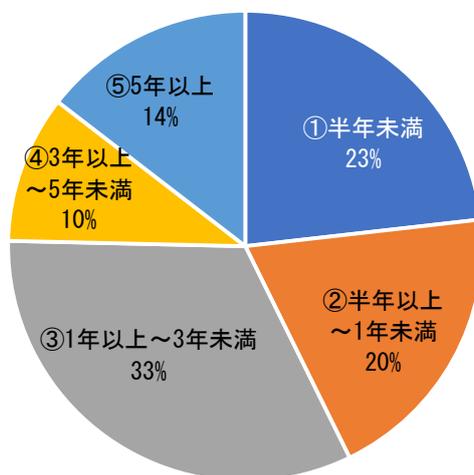


(2018年12月末現在、法務省「在留外国人統計」)

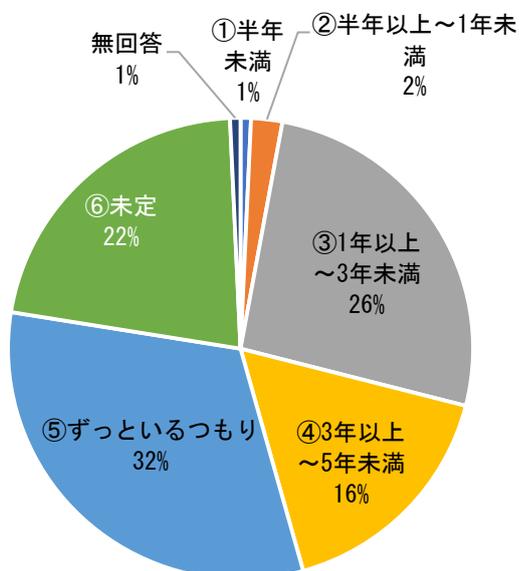
問3 今までに合計でどれくらい日本に住んでいますか？ (N=138)



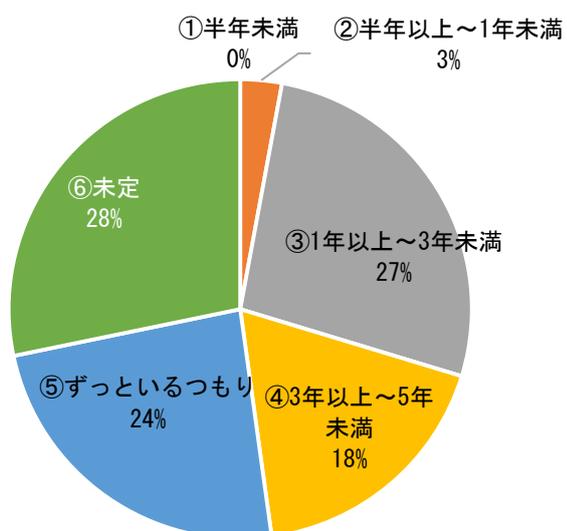
問4 現在お住いの街に合計でどれくらい住んでいますか？ (N=138)



問5 あなたは、いつごろまで日本にいる予定ですか？ (N=138)

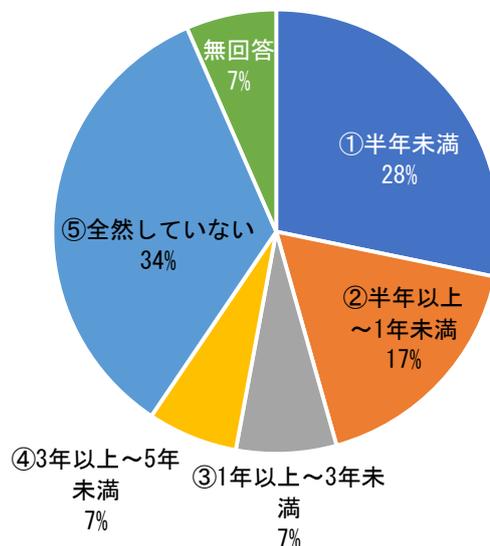


問6 あなたは、いつごろまで現在お住いの街にいる予定ですか？ (N=138)

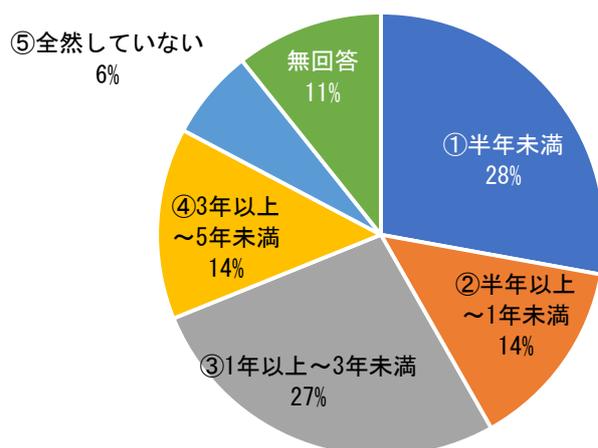


2 日本語学習について

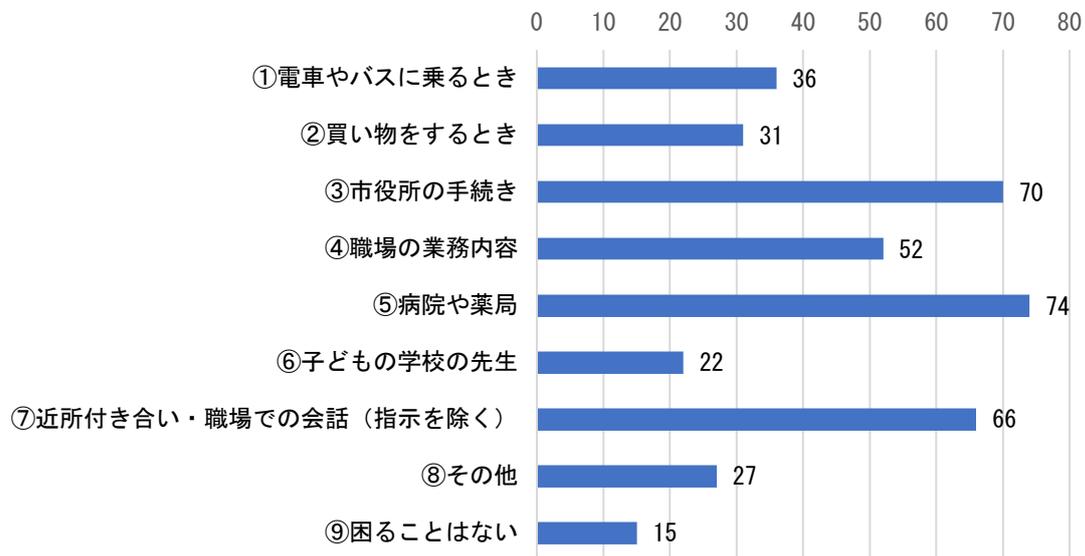
問7 来日前に、どのくらい日本語を学習しましたか？ (N=138)



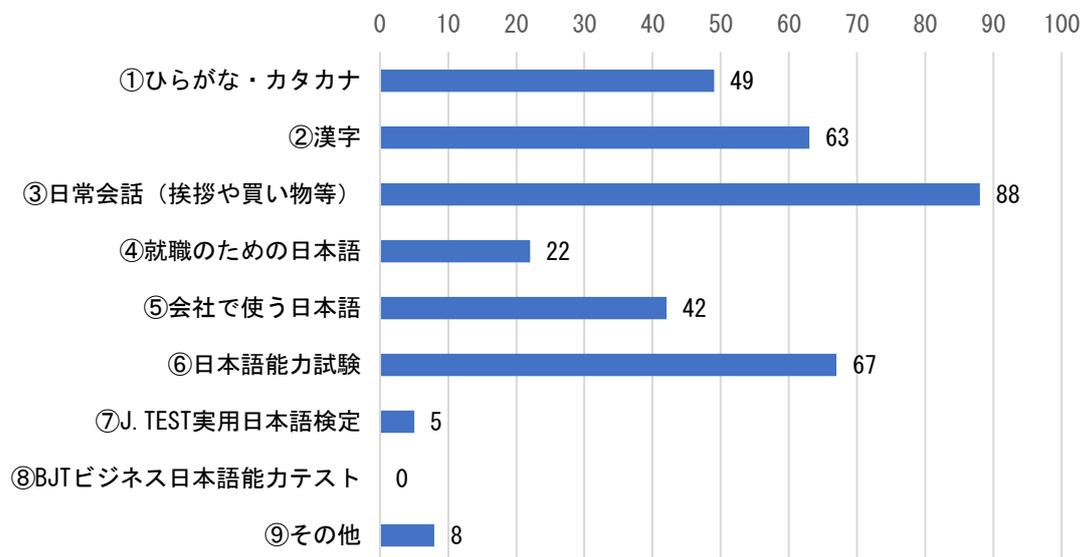
問8 来日後に、どのくらい日本語を学習しましたか？ (N=138)



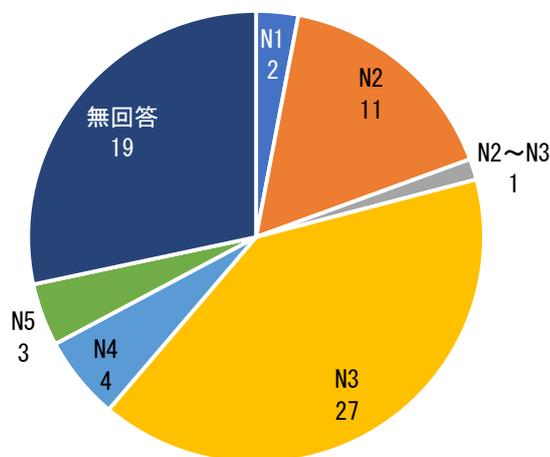
問9 現在、日常生活や職場などで、日本語でのコミュニケーションに困ることがありますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。（N=138）



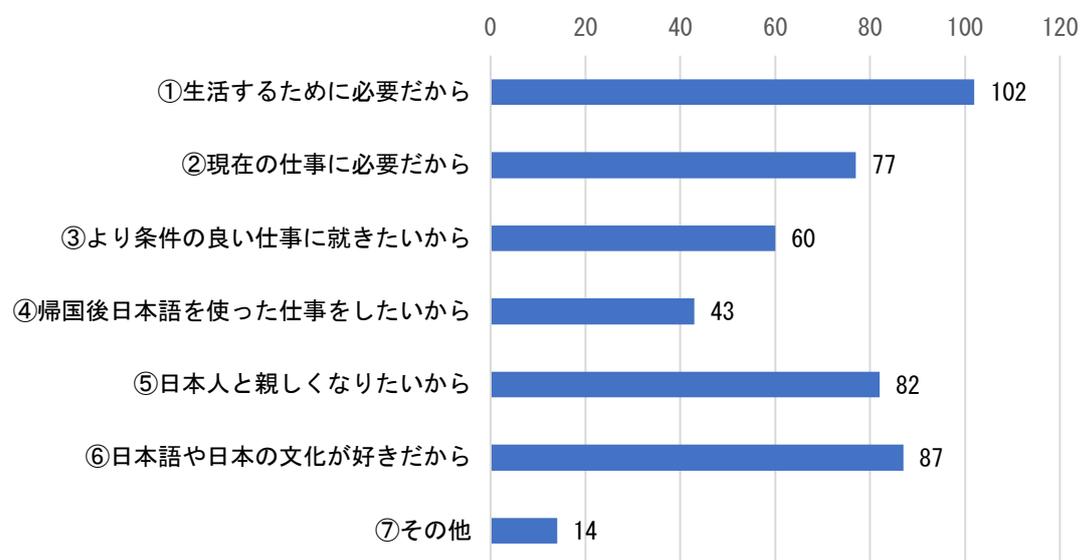
問10 今、どんな日本語を学習していますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。（N=138）



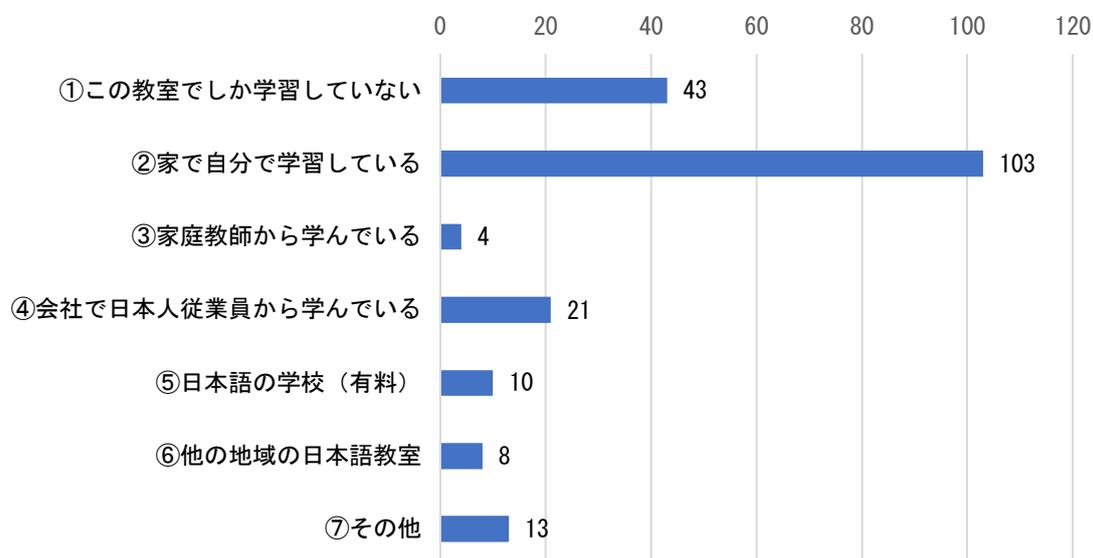
「⑥日本語能力試験」のレベル (n=67)



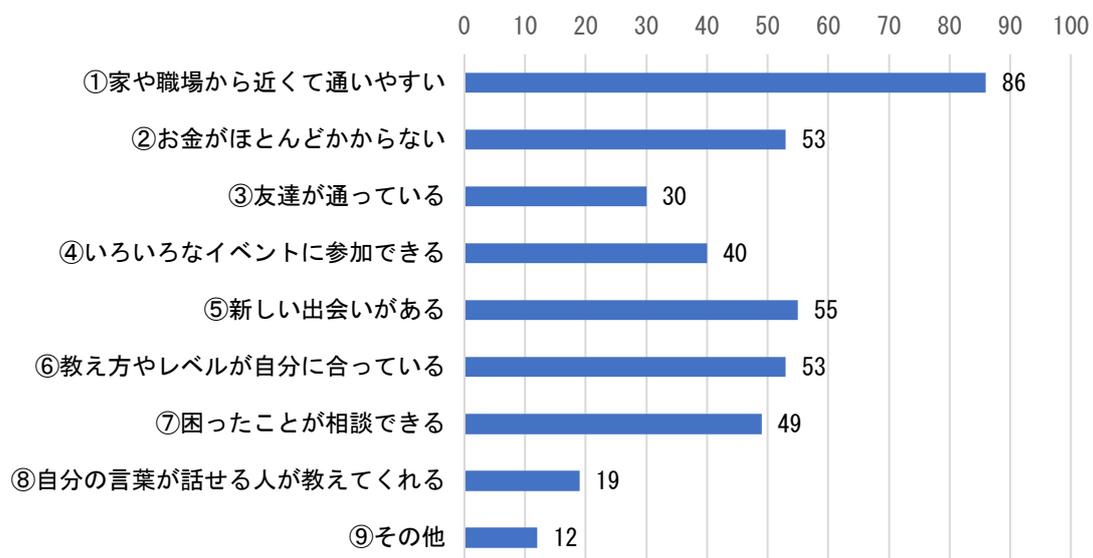
問 11 日本語を学習する目的は何ですか？該当するものすべてにチェックを入れてください。 (N=138)



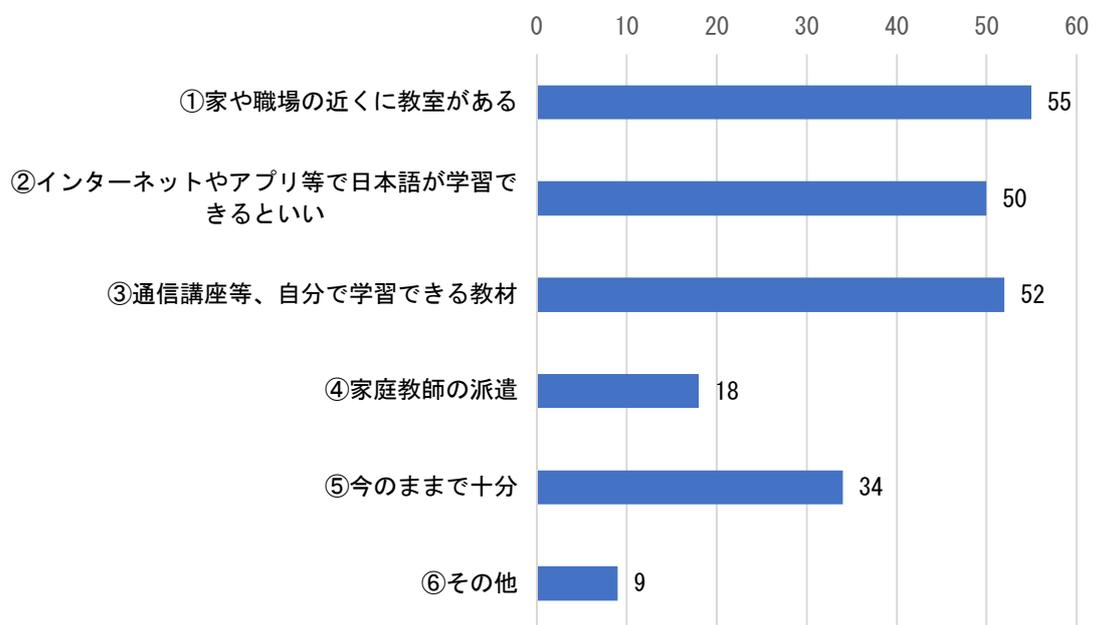
問 12 この教室以外に、どうやって日本語を学んでいますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。(N=138)



問 13 現在の日本語教室で学習しているのはなぜですか？該当するものすべてにチェックを入れてください。(N=138)



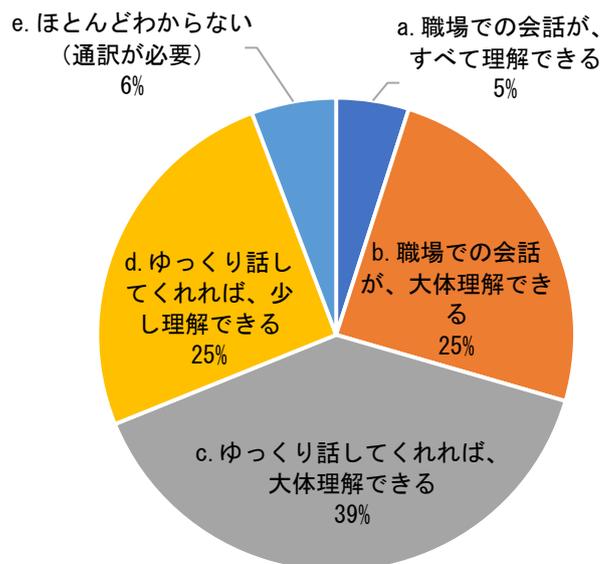
問 14 他にどのような日本語学習の機会があればいいと思いますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。（N=138）



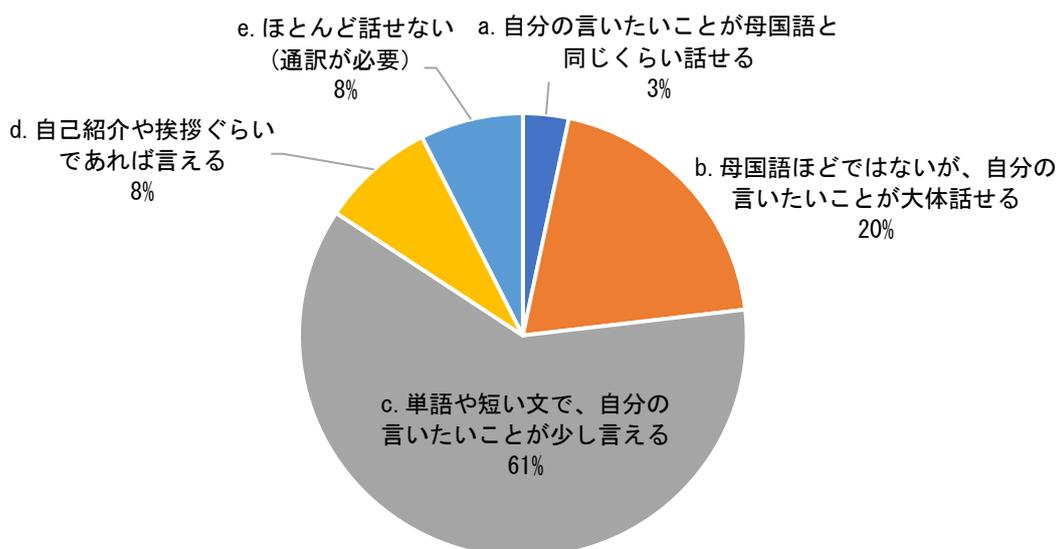
3 日本語力について

問 15 あなたは、日本語をどのくらい理解できますか？下の[聞く][話す][読む][書く]から、それぞれ1つずつ選んでチェックを入れてください。(N=138)

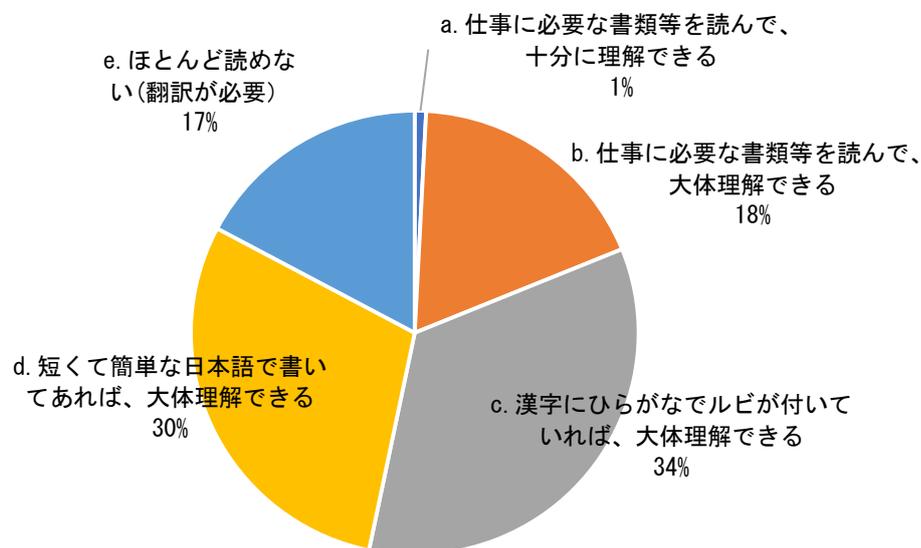
[①聞く]



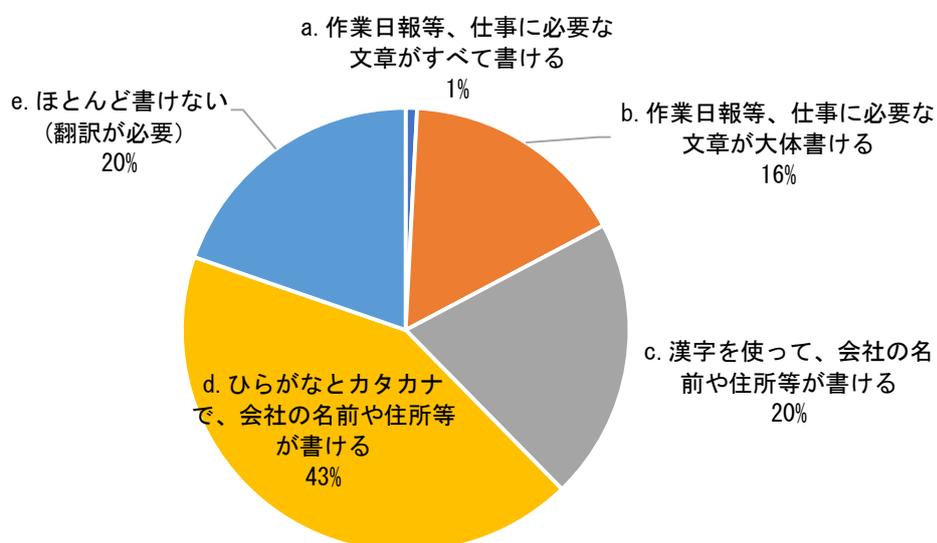
[②話す]



【③読む】



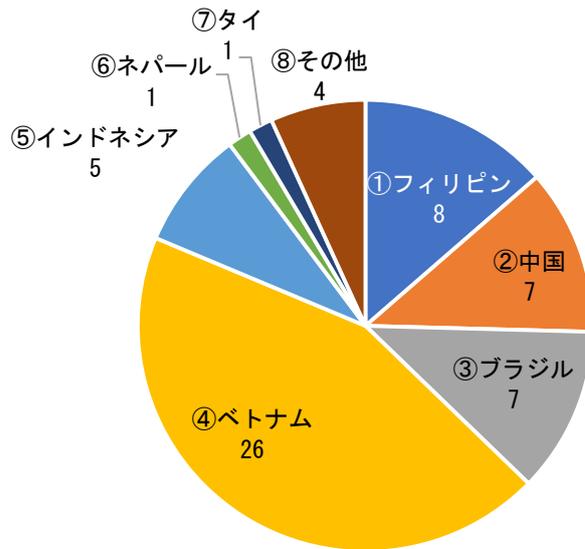
【④書く】



クロス集計

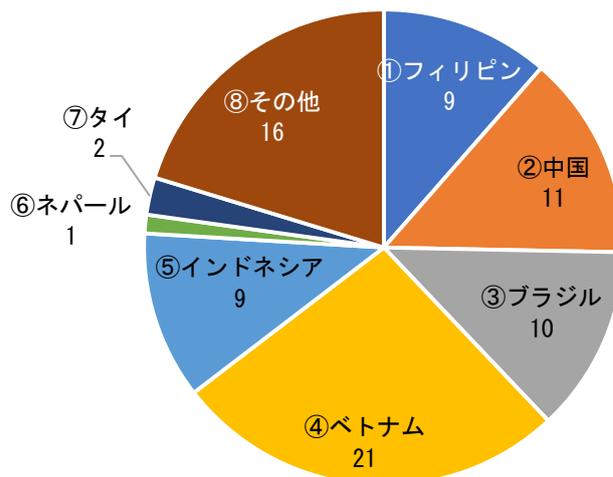
問1 × 問4①②

在住1年未満(n=59)



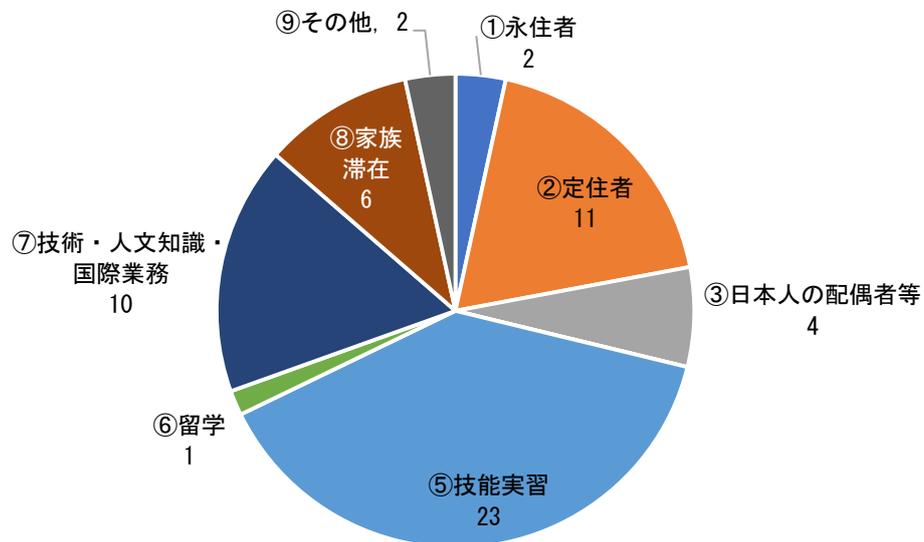
問1 × 問4③④⑤

在住1年以上(n=79)



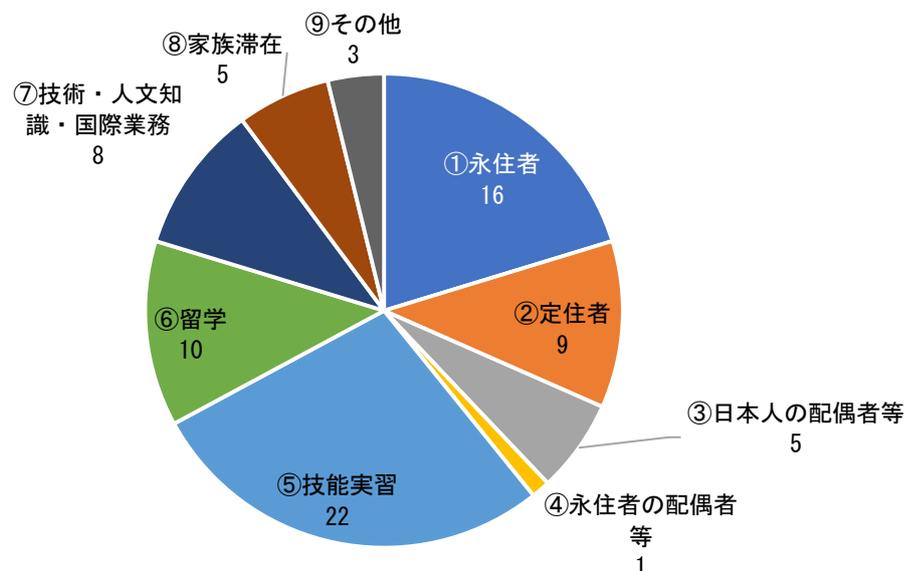
問2×問4①②

在住1年未満(n=59)



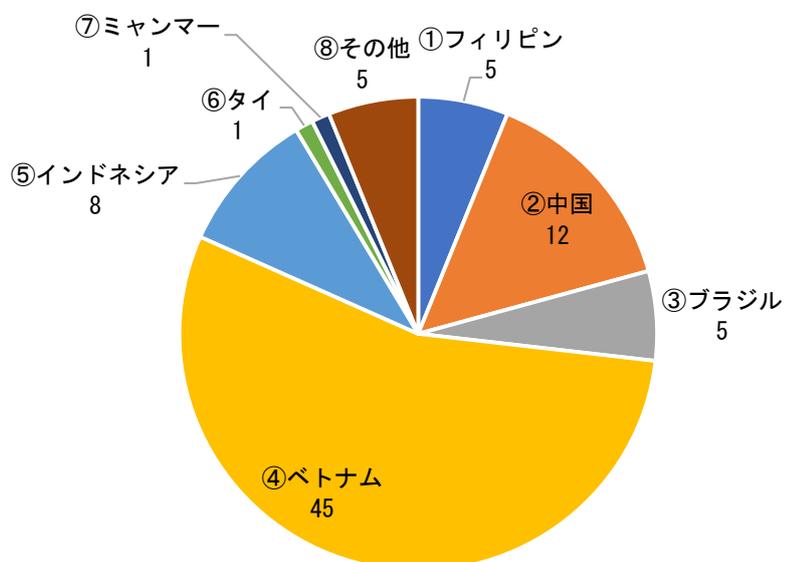
問2×問4③④⑤

在住1年以上(n=79)



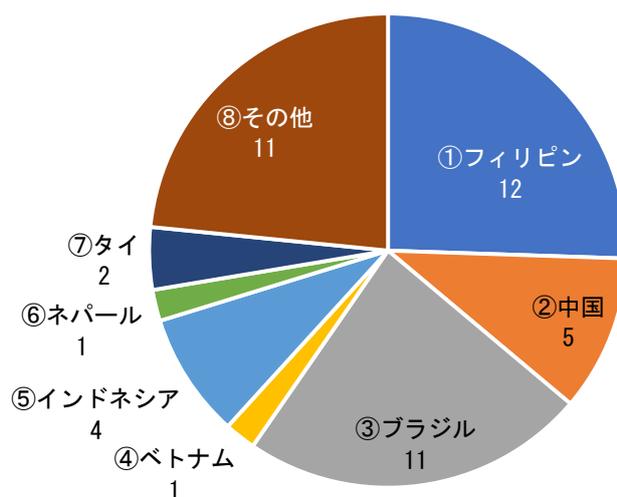
問1×問7①②③④

来日前、日本語学習経験あり(n=82)



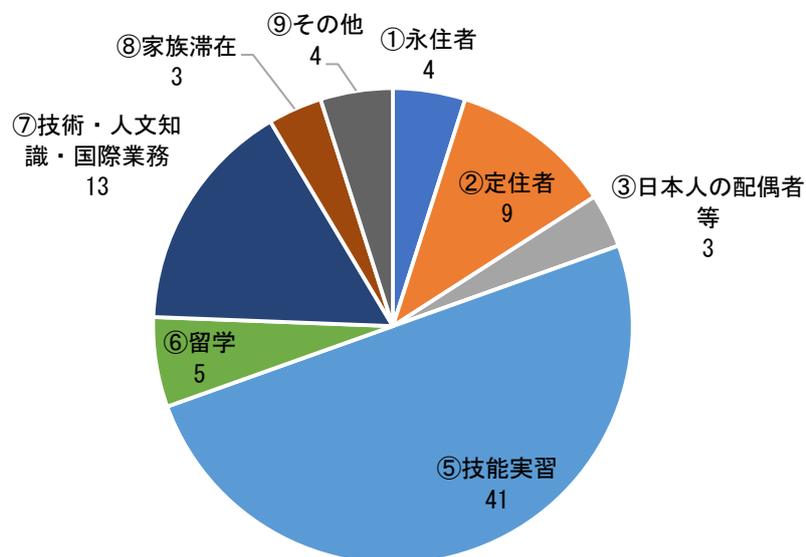
問1×問7⑤

来日前、日本語学習経験なし(n=47)



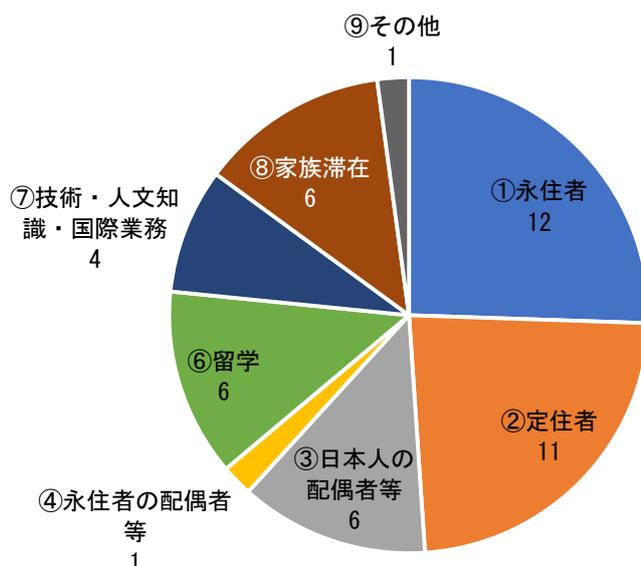
問2×問7①②③④

来日前、日本語学習経験あり(n=82)



問2×問7⑤

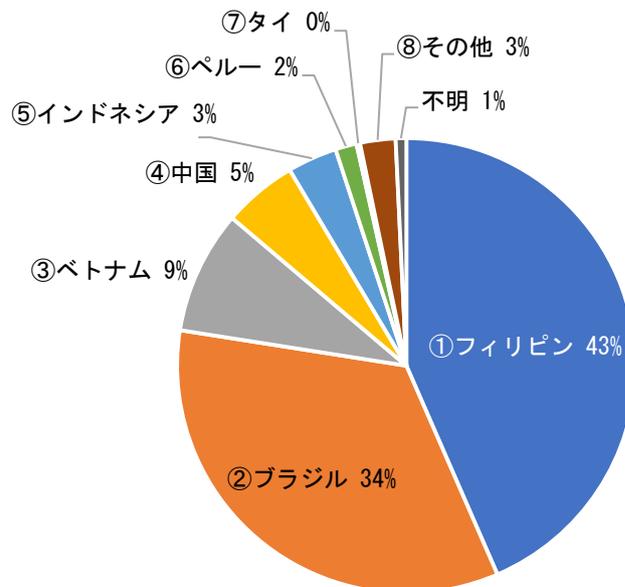
来日前、日本語学習経験なし(n=47)



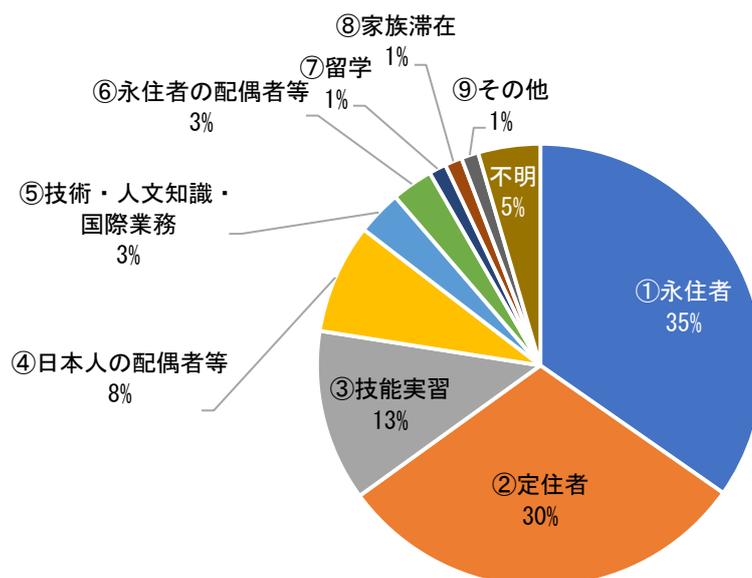
12 在住外国人調査結果

1 あなたのことについて

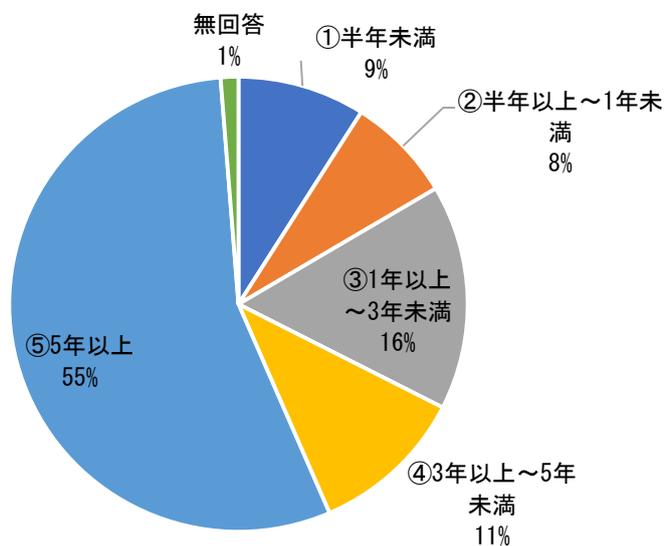
問1 あなたの国籍を教えてください。(N=400)



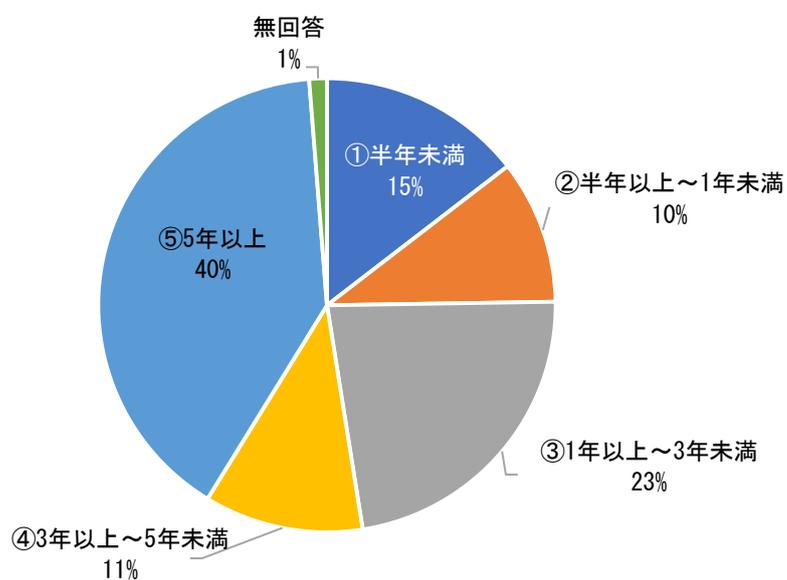
問2 あなたの在留資格を教えてください。(N=400)



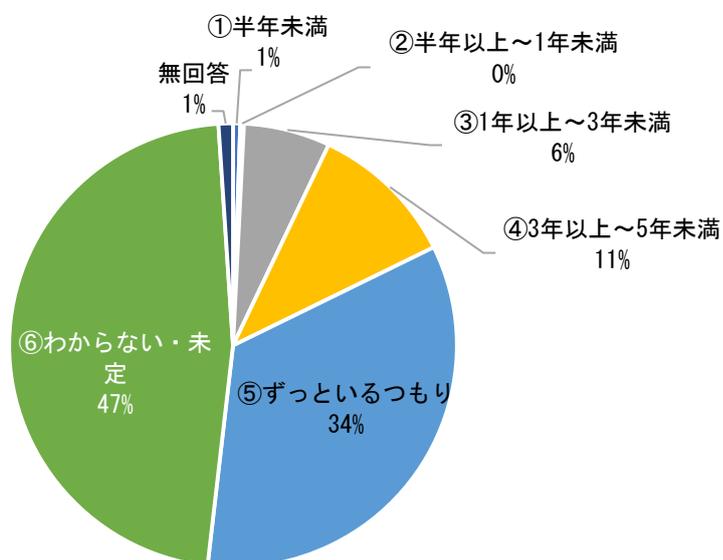
問3 今までに合計でどれくらい日本に住んでいますか？ (N=400)



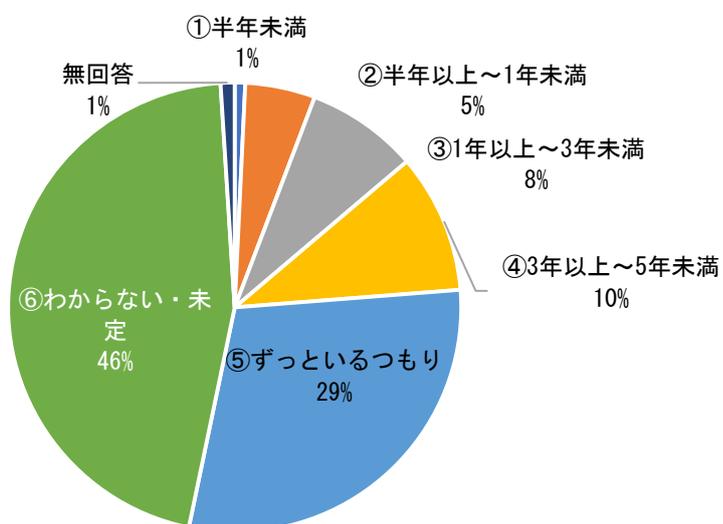
問4 現在お住いの街に合計でどれくらい住んでいますか？ (N=400)



問5 あなたは、いつごろまで日本にいる予定ですか？ (N=400)

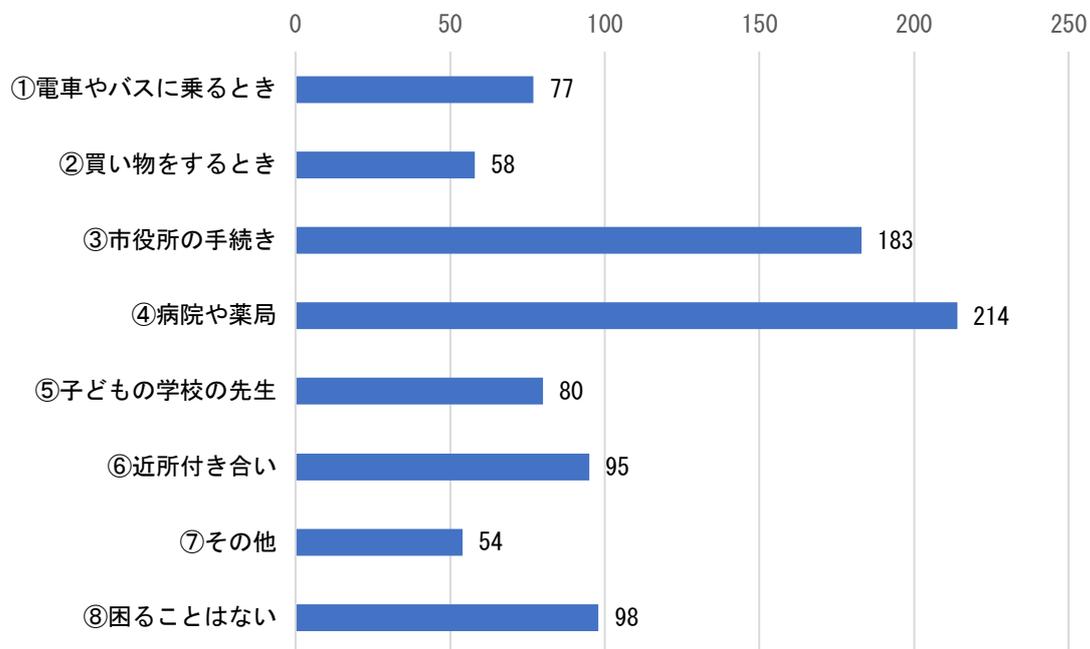


問6 あなたは、いつごろまで現在お住いの街にいる予定ですか？ (N=400)

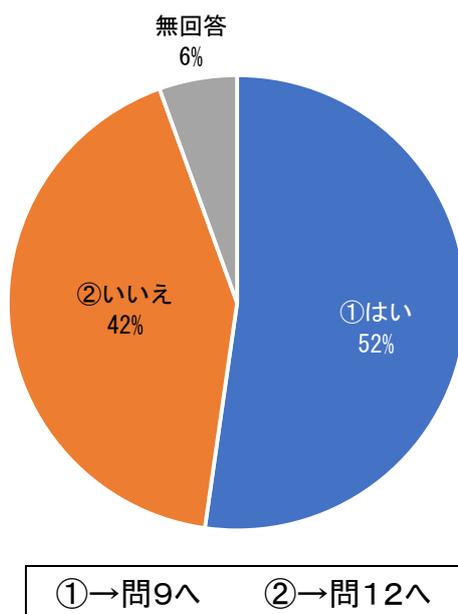


2 日本語学習について

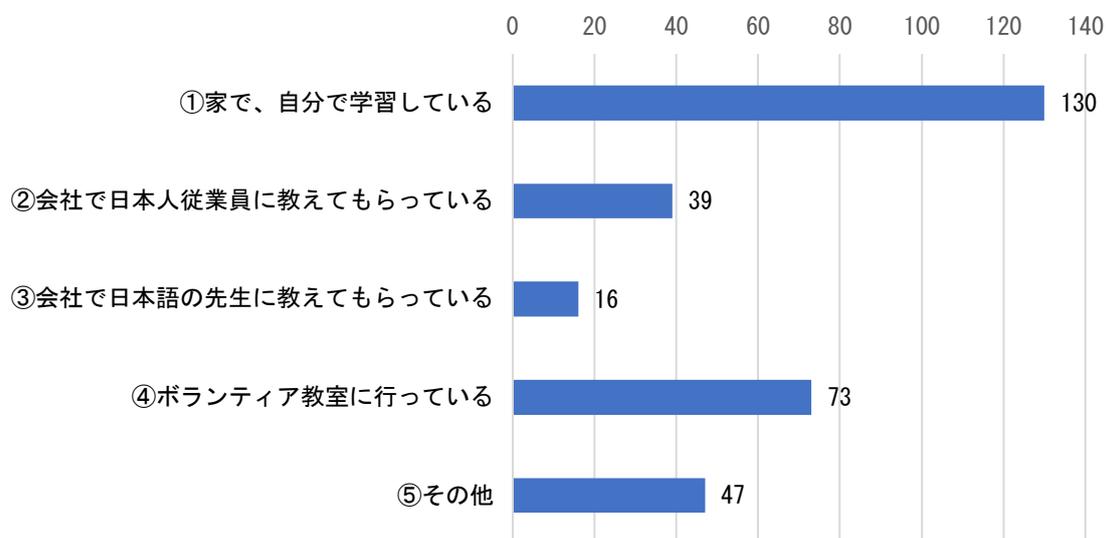
問7 日常生活において、日本語でのコミュニケーションに困ることがありますか？
該当するものすべてにチェックを入れてください。 (N=400)



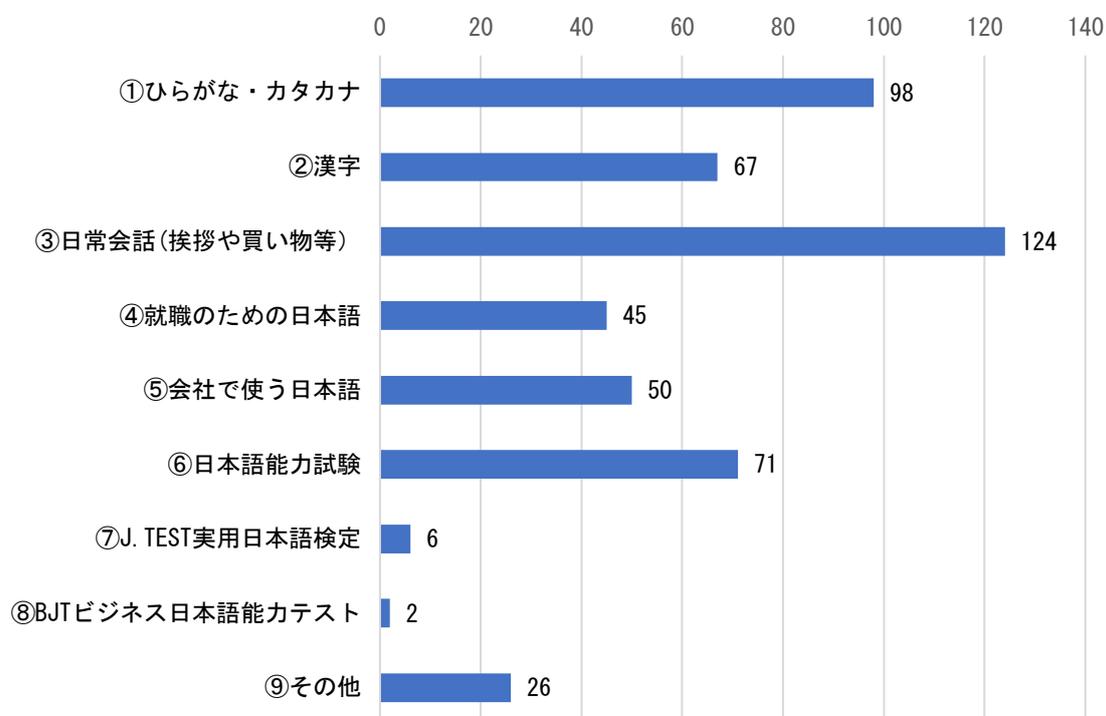
問8 あなたは今、日本語を学んでいますか？ (N=400)



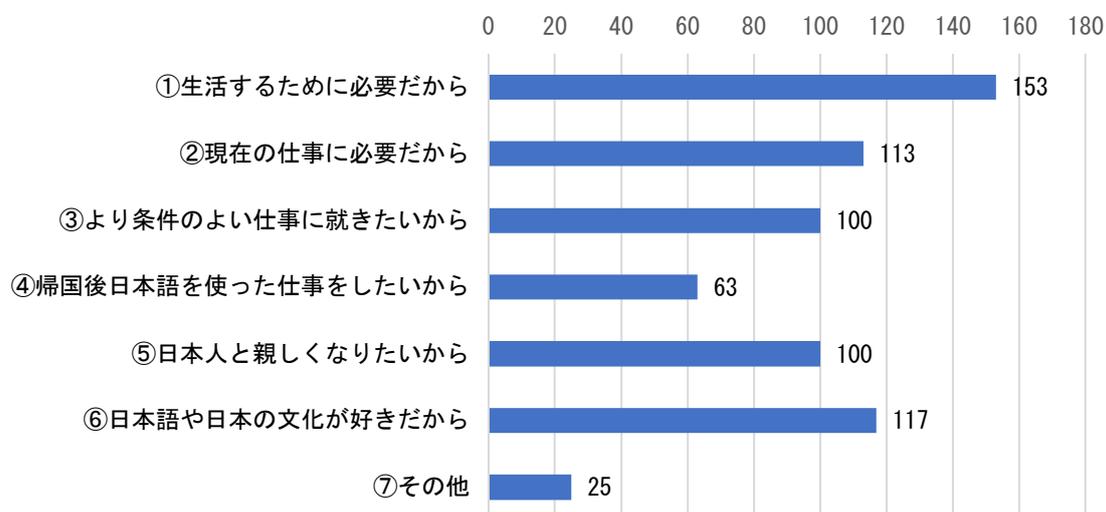
問9 どうやって日本語を学習していますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。(n=209)



問10 今、どんな日本語を学習していますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。(n=209)

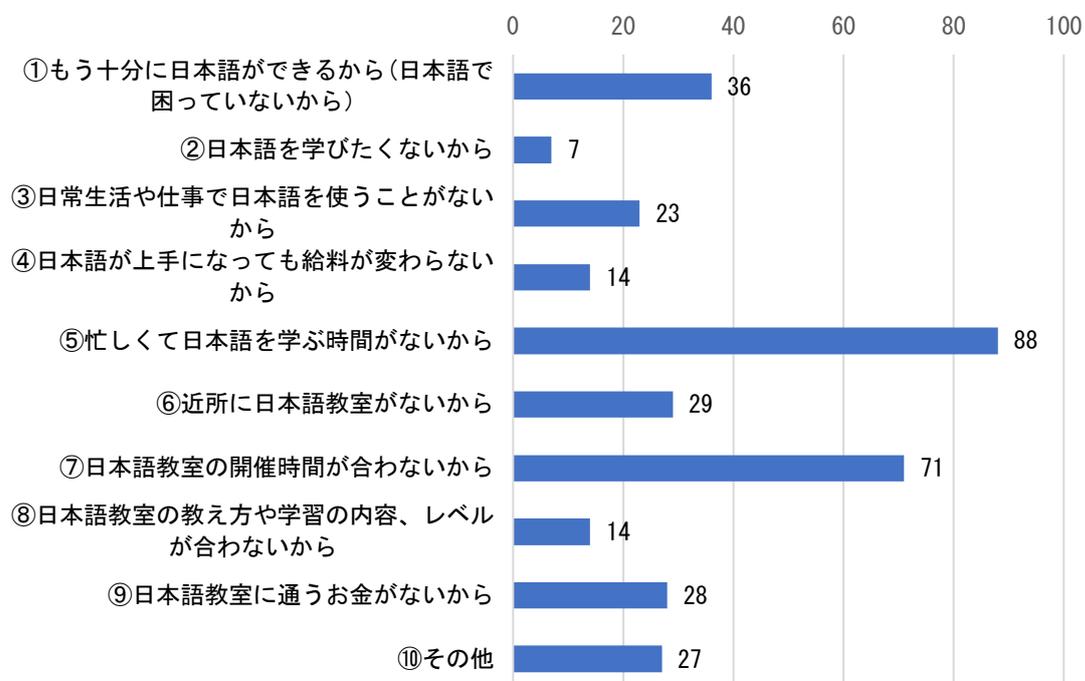


問 11 日本語を学ぶ目的は何ですか？該当するものすべてにチェックを入れてください。 (n=209)



問 13 へ

問 12 今、日本語を学んでいない理由を教えてください。該当するものすべてにチェックを入れてください。 (n=169)

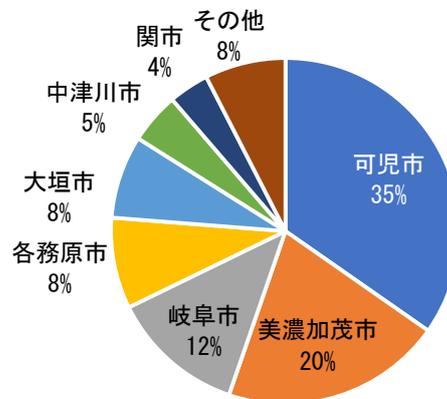
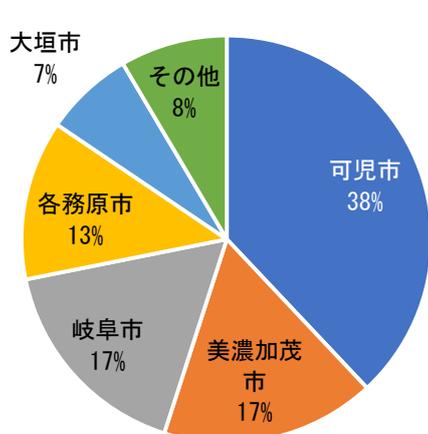


「⑦日本語教室の開催時間が合わないから」

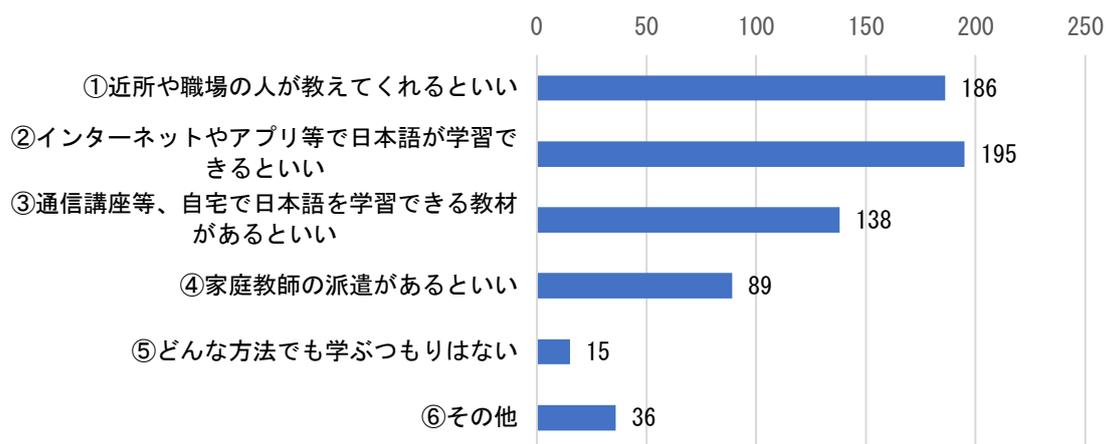
(参考) 回答者全体の住所地

回答者の住所地 (n=71)

(n=400)



問13 日本語教室以外に、どのような日本語学習機会があればいいと思いますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。(N=400)



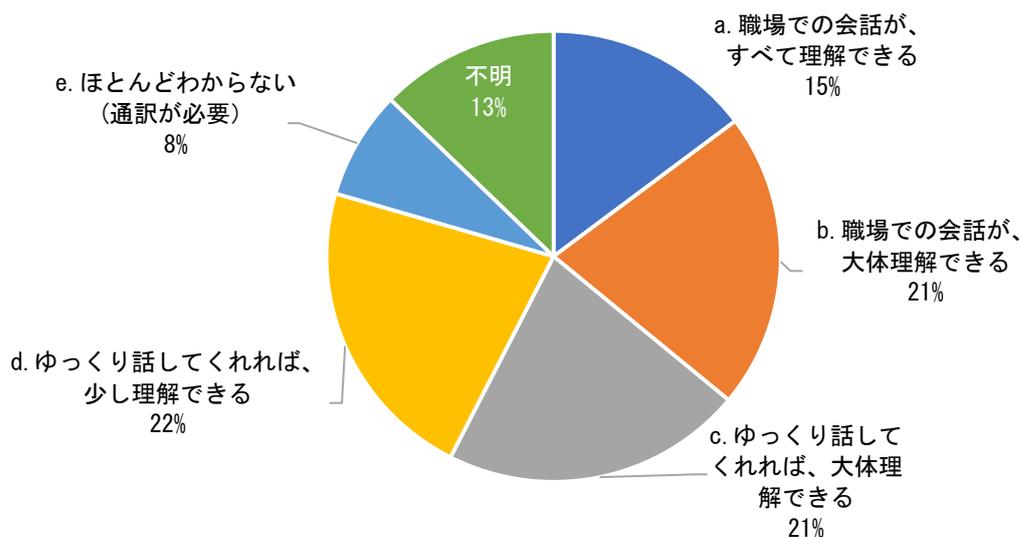
「⑥その他」の意見

- ・公民館などで無料の日本語教室があるといい。
- ・子どもに教えるチャンスを設けていただけると助かる。
- ・やる気が出れば何でも。
- ・ニュースやテレビ番組がいい。
- ・家の近くで無料の教室があると良い。
- ・各地域に日本語教室があると良い。
- ・日本人とチャットする。
- ・コミュニケーションの機会を増やす。

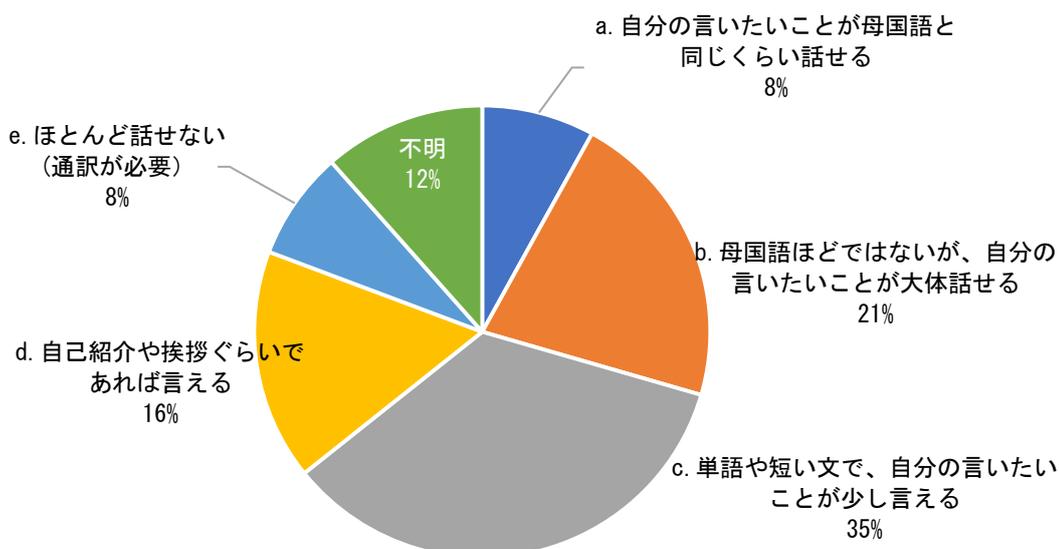
3 日本語力について

問 14 あなたは、日本語をどのくらい理解できますか？下の[聞く][話す][読む][書く]から、それぞれ1つずつ選んでチェックを入れてください。(N=400)

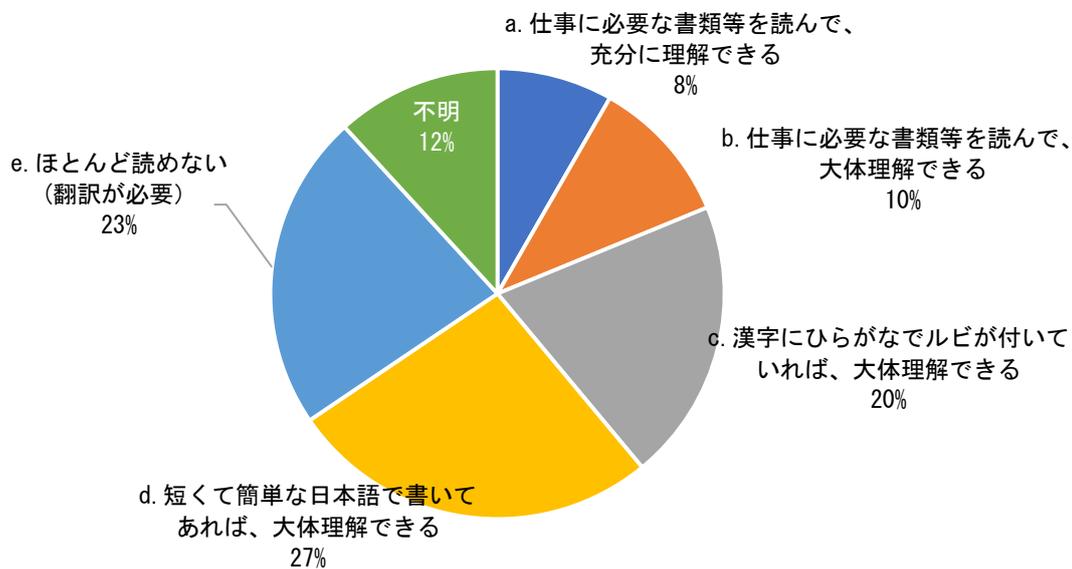
[①聞く]



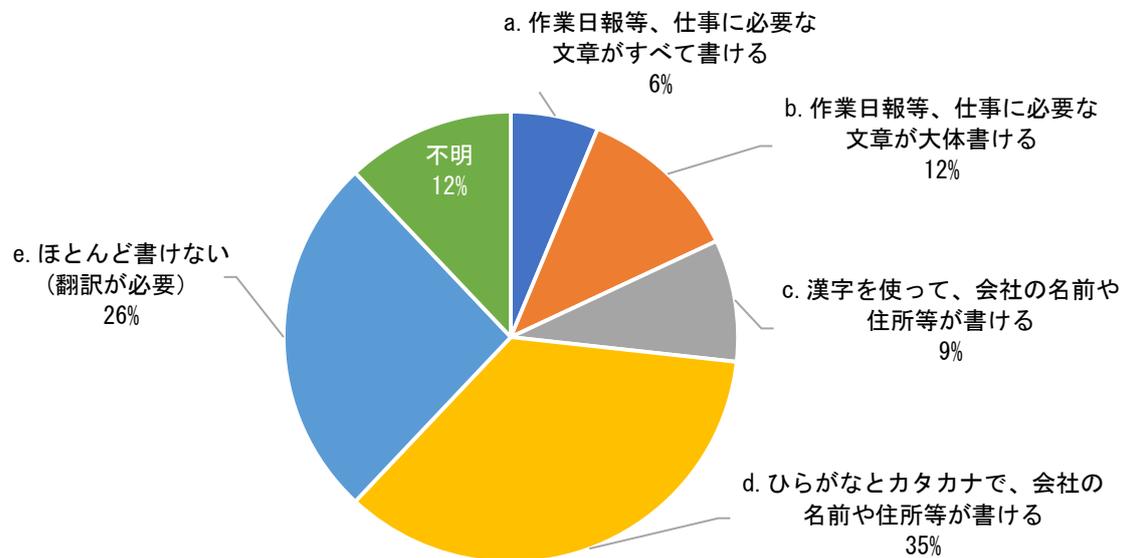
[②話す]



[③読む]



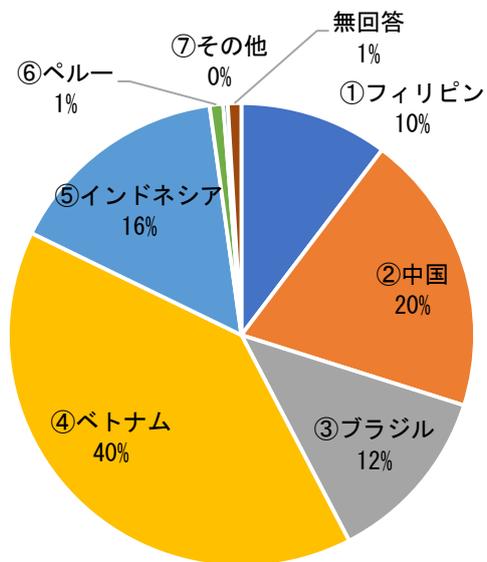
[④書く]



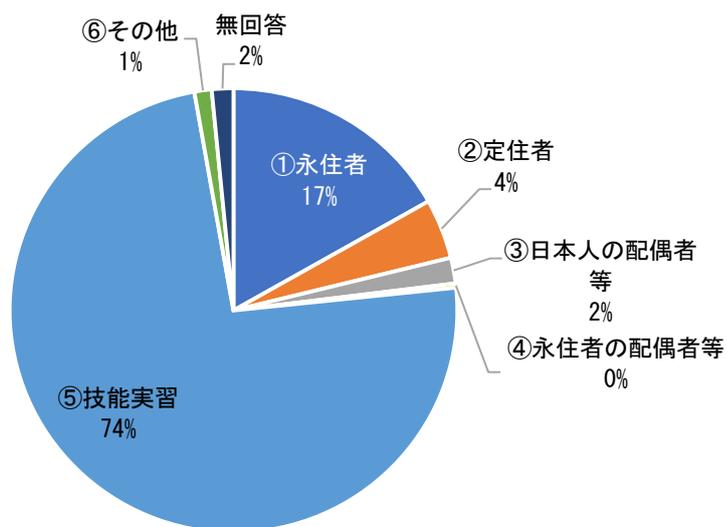
13 外国人労働者調査結果

1 あなたのことについて

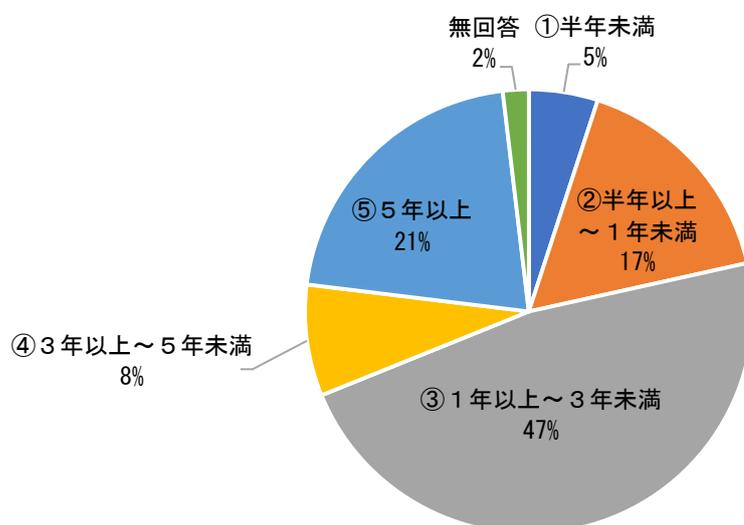
問1 あなたの国籍を教えてください。(N=321)



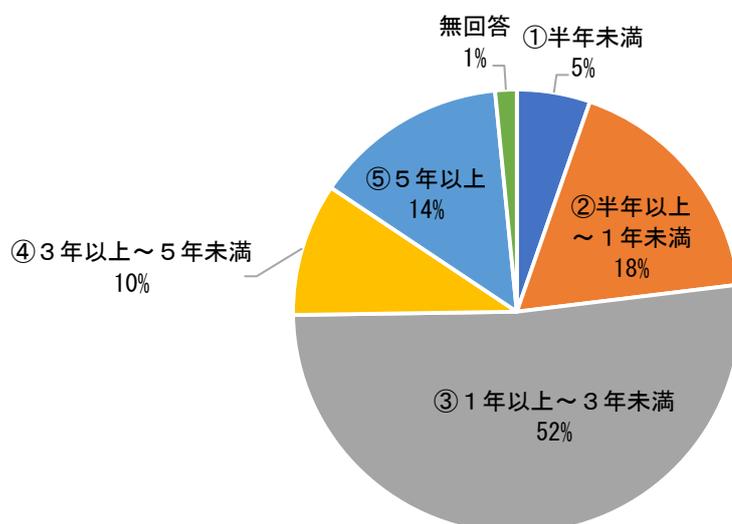
問2 あなたの在留資格を教えてください。(N=321)



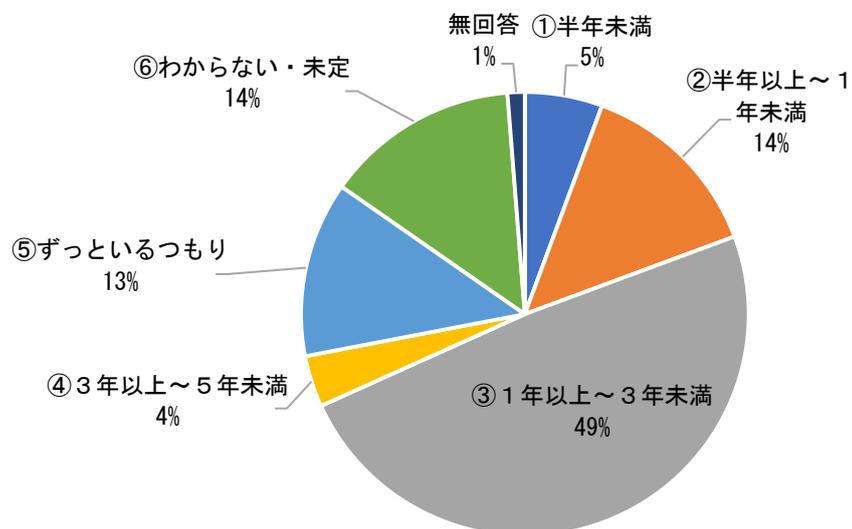
問3 今までに合計でどれくらい日本に住んでいますか？ (N=321)



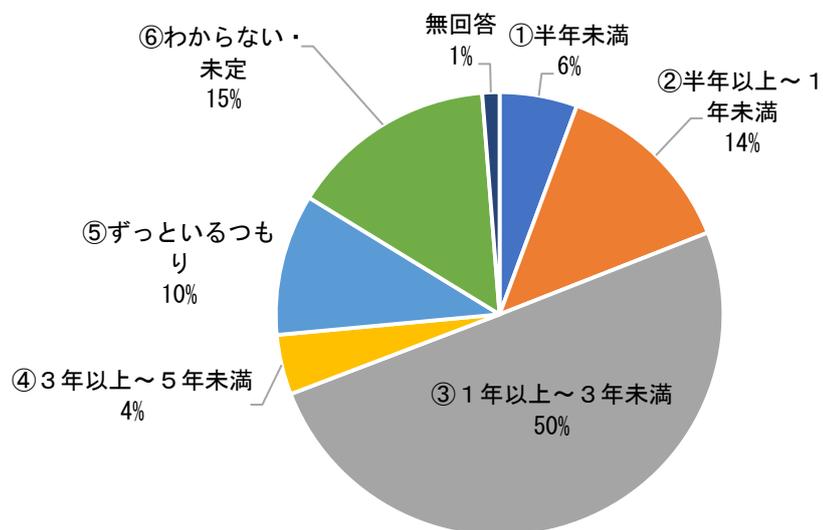
問4 現在お住いの街に合計でどれくらい住んでいますか？ (N=321)



問5 あなたは、いつごろまで日本にいる予定ですか？ (N=321)

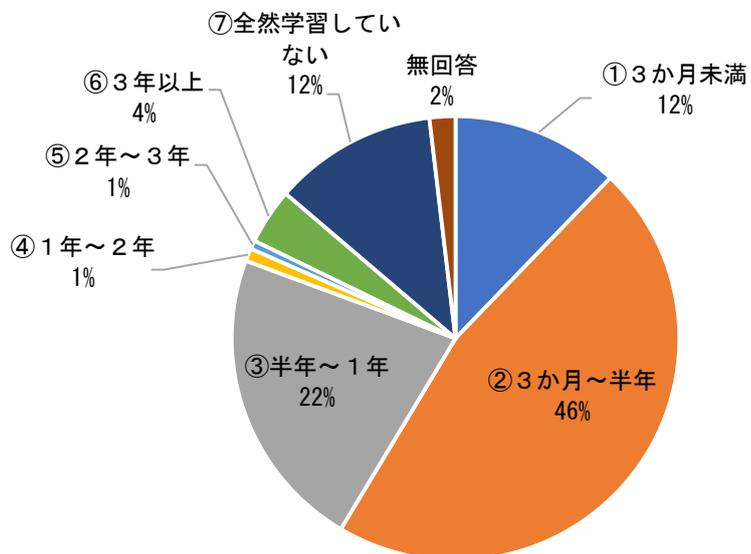


問6 あなたは、いつごろまで現在お住いの街にいる予定ですか？ (N=321)

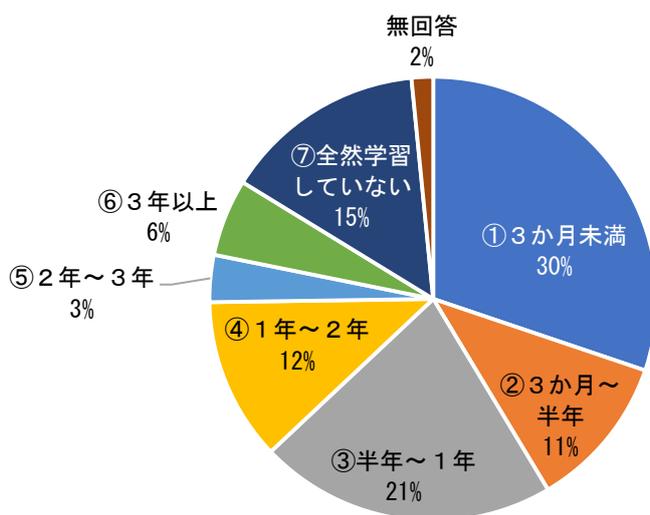


2 日本語学習について

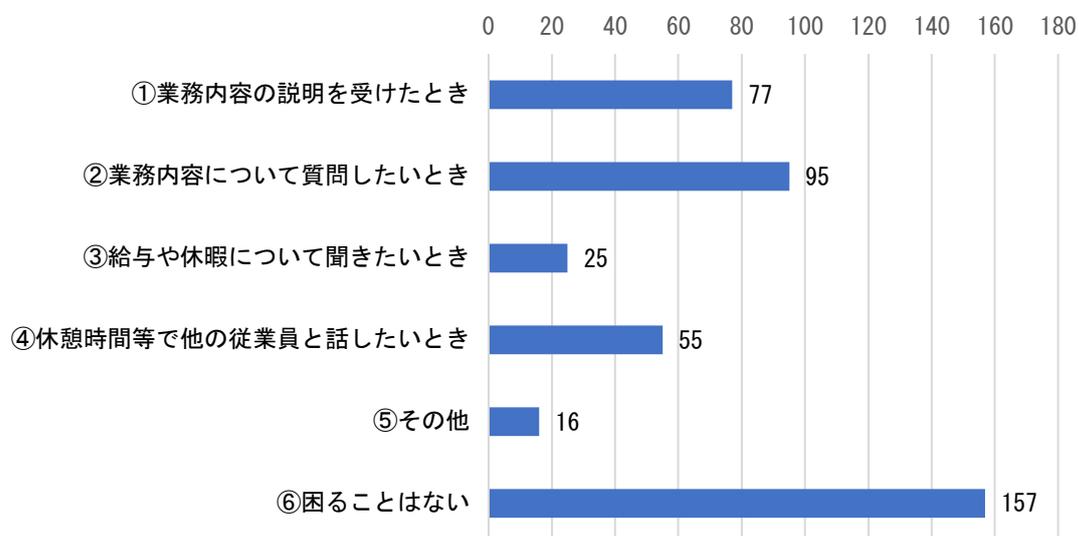
問7 来日前に、どのくらい日本語を学習しましたか？ (N=321)



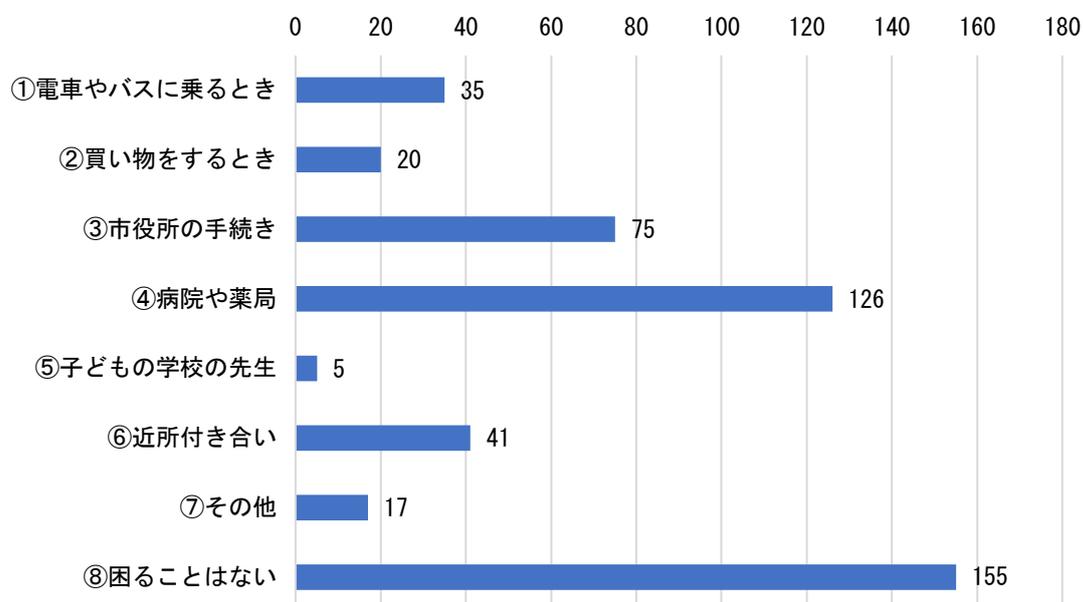
問8 来日後に、どのくらい日本語を学習しましたか？ (N=321)



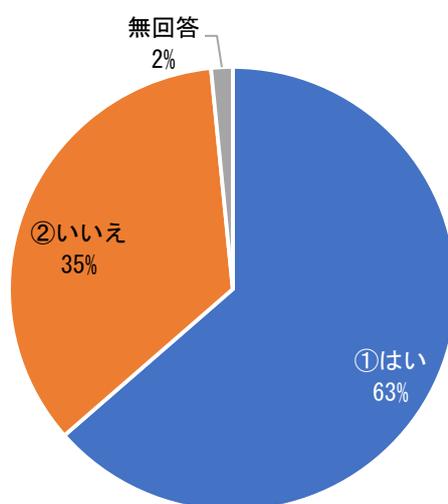
問9 職場において、日本語でのコミュニケーションに困ることはありますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。 (N=321)



問10 日常生活において、日本語でのコミュニケーションに困ることがありますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。 (N=321)

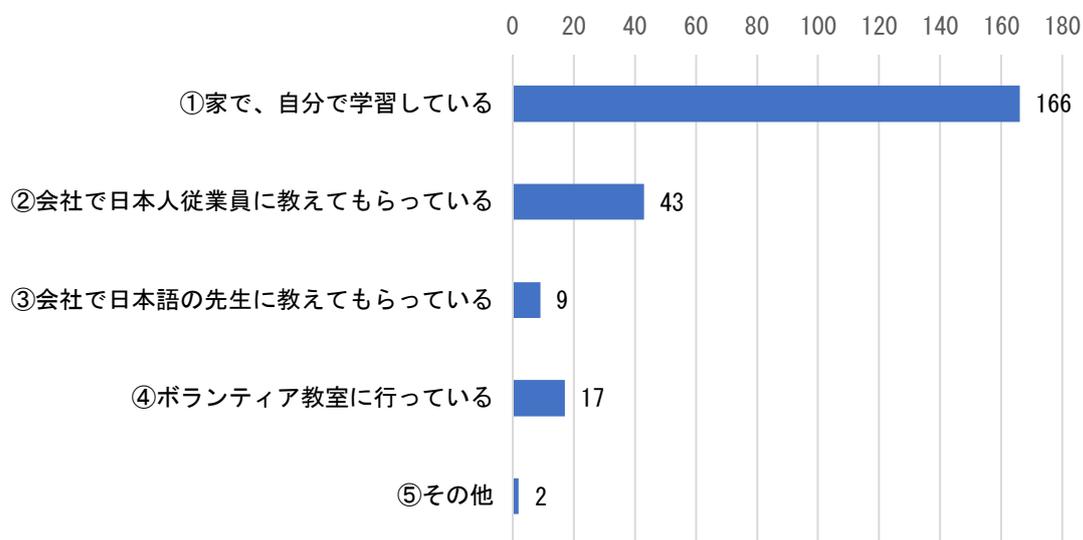


問 11 あなたは今、日本語を学んでいますか？ (N=321)

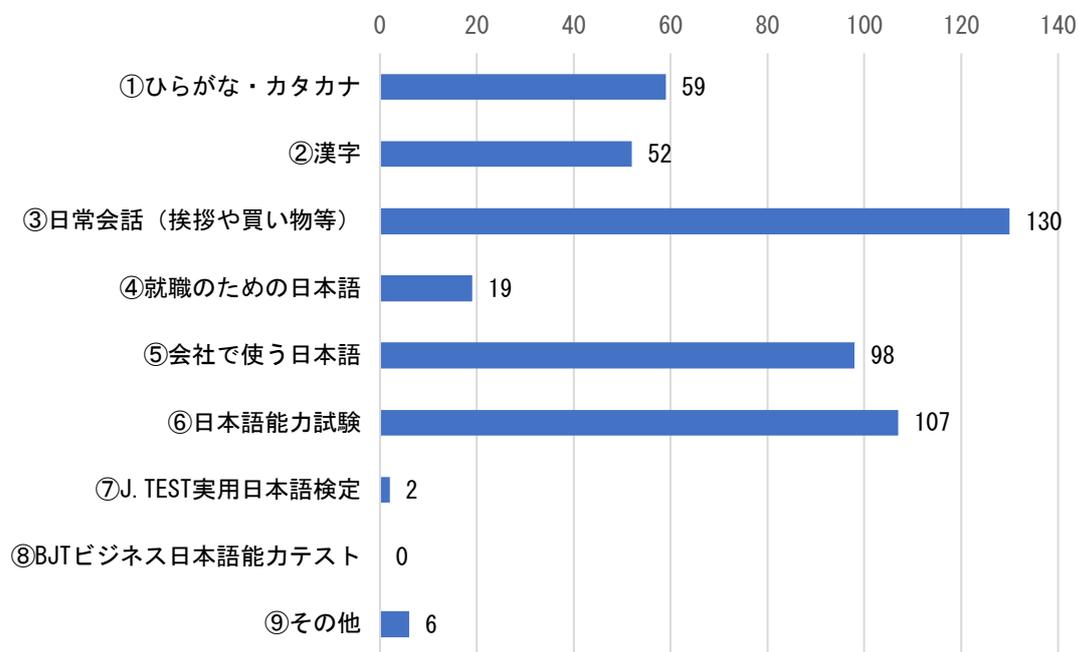


①→問12へ ②→問15へ

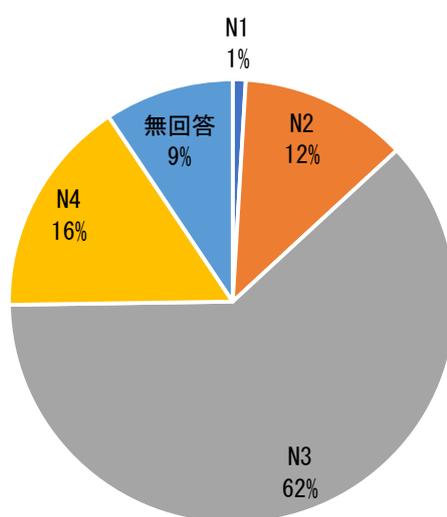
問 12 どうやって日本語を学んでいますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。(n=204)



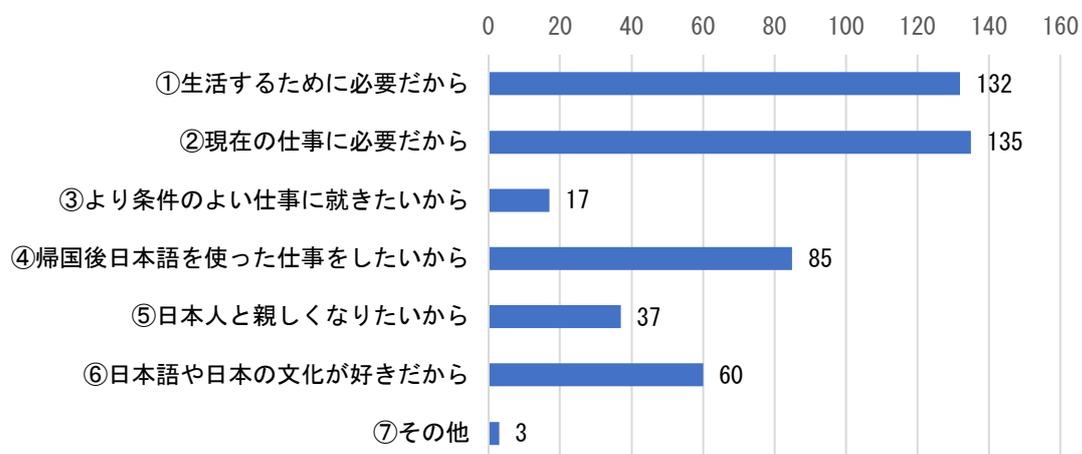
問13 今、どんな日本語を学習していますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。(n=204)



「⑥日本語能力試験」のレベル

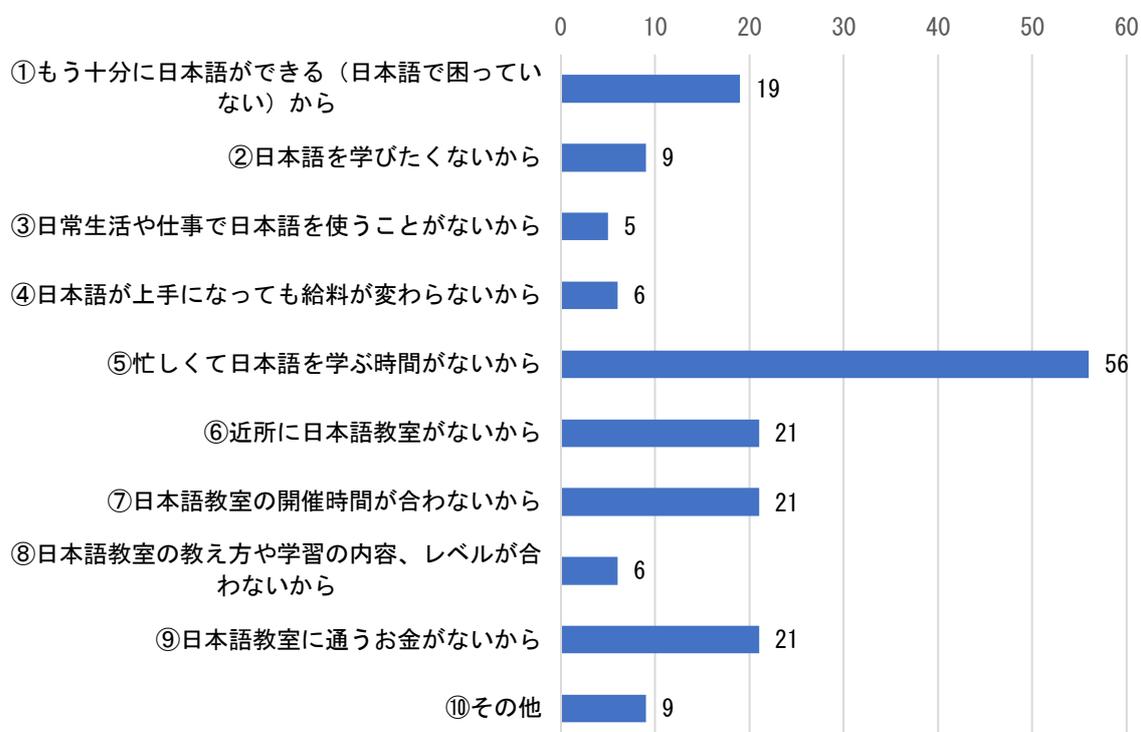


問 14 日本語を学習する目的は何ですか？該当するものすべてにチェックを入れてください。（n=204）

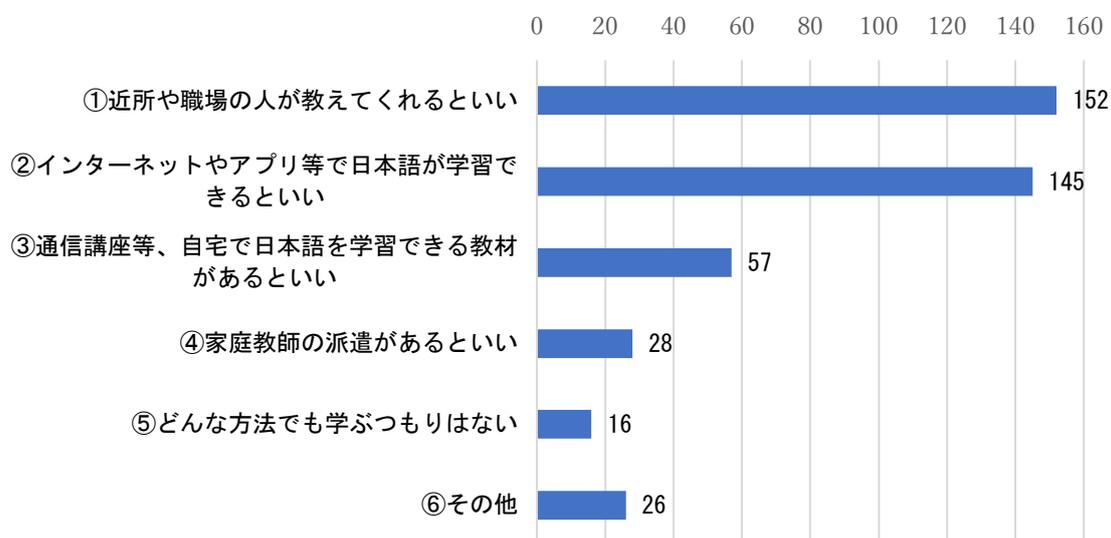


問 17 へ

問 15 今、日本語を学習していない理由を教えてください。該当するものすべてにチェックを入れてください。（n=112）



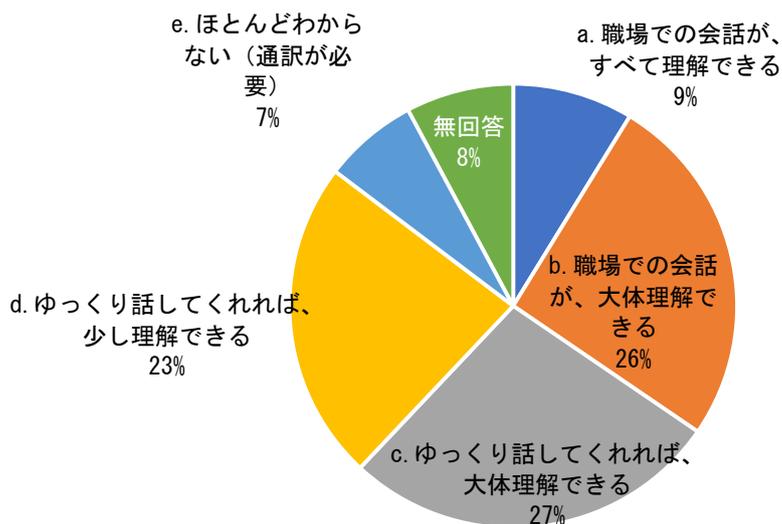
問 16 日本語教室以外に、どのような日本語学習機会があればいいと思いますか？該当するものすべてにチェックを入れてください。 (n=112)



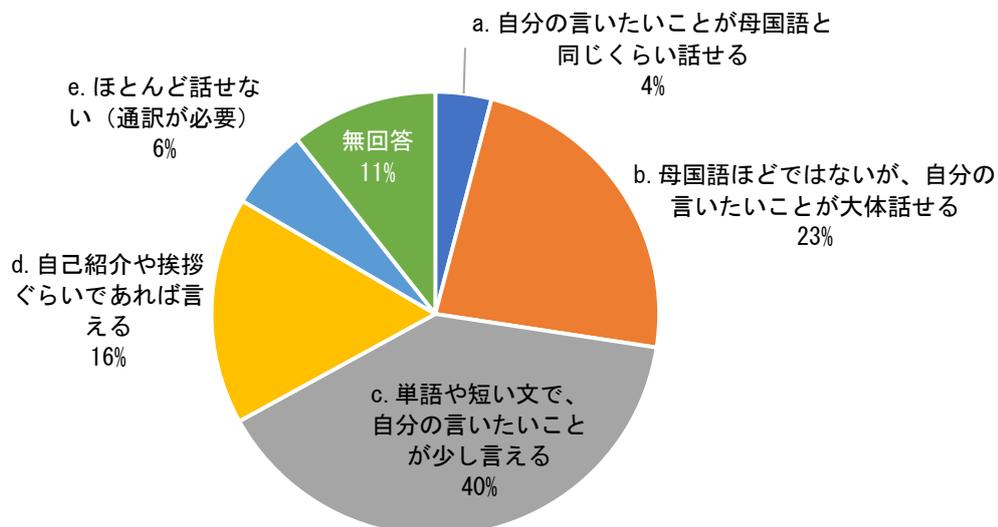
3 日本語力について

問 17 あなたは、日本語をどのくらい理解できますか？下の[聞く][話す][読む][書く]から、それぞれ1つずつ選んでチェックを入れてください。(N=321)

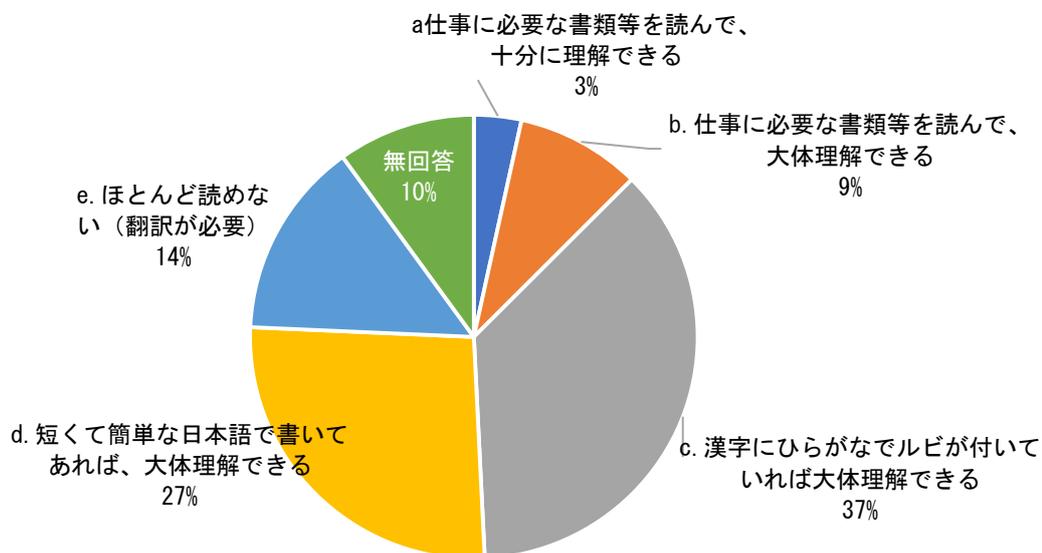
[①聞く]



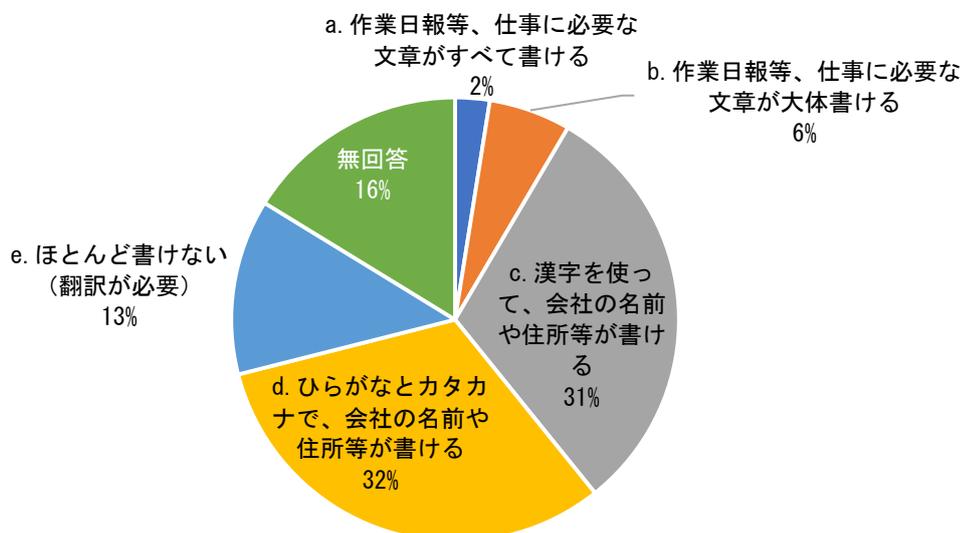
[②話す]



【③読む】



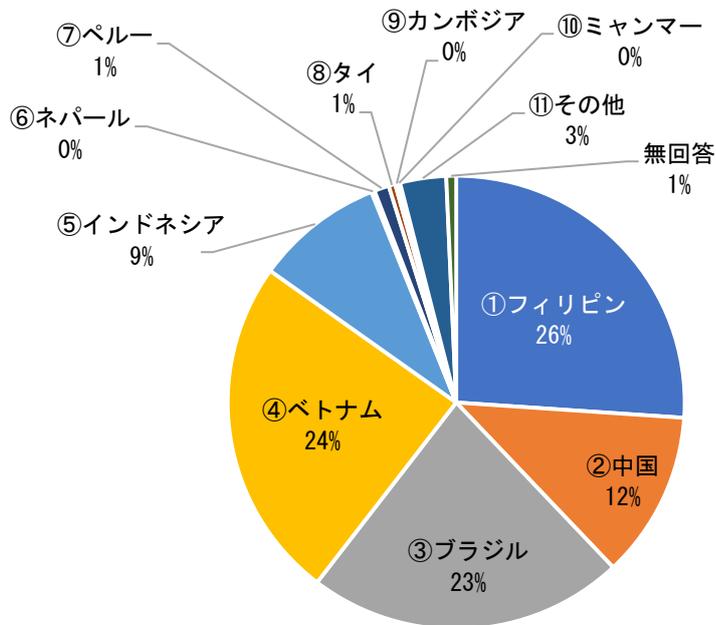
【④書く】



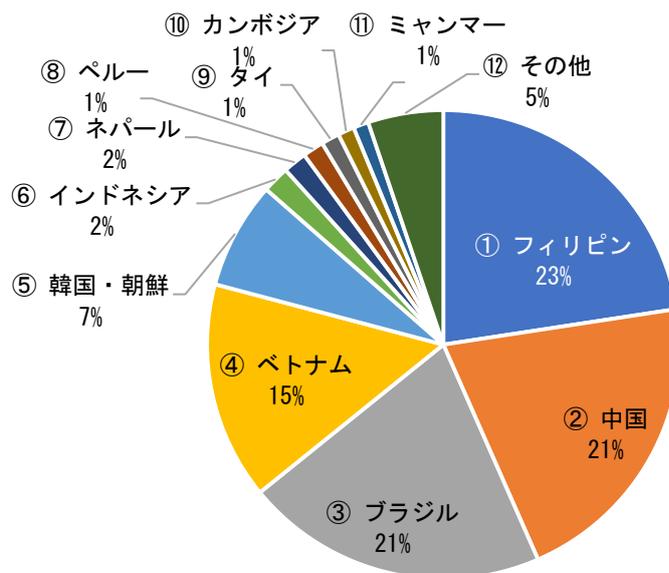
14 外国人全般調査結果

※11、12、13の調査結果のうち、同じ質問内容のデータを統合している。

問1 あなたの国籍を教えてください。(N=859)

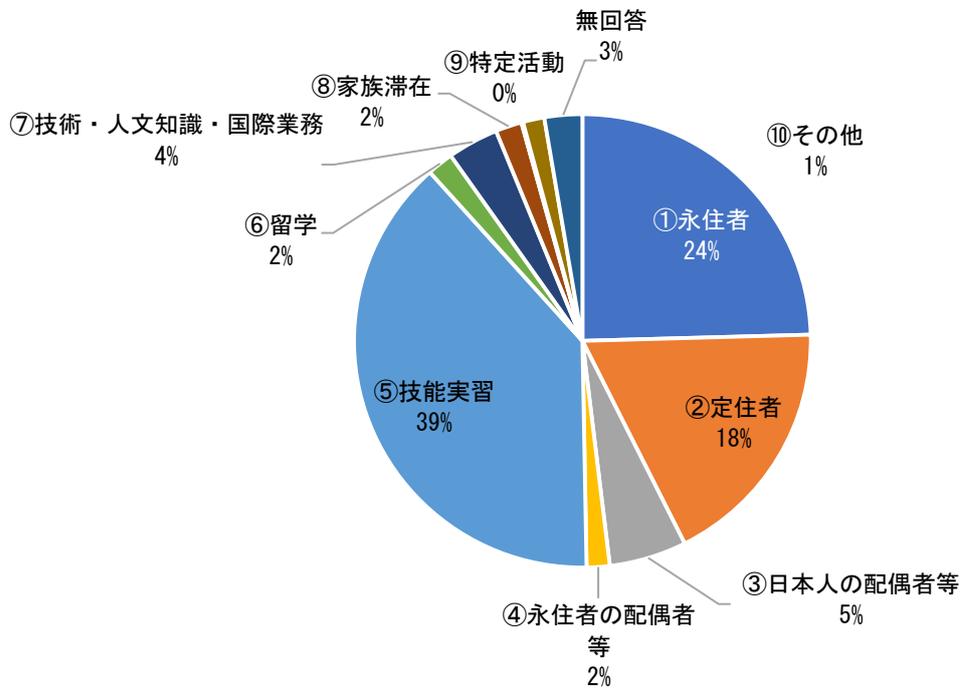


(参考) 国・地域別県内在住外国人(N=55,994)

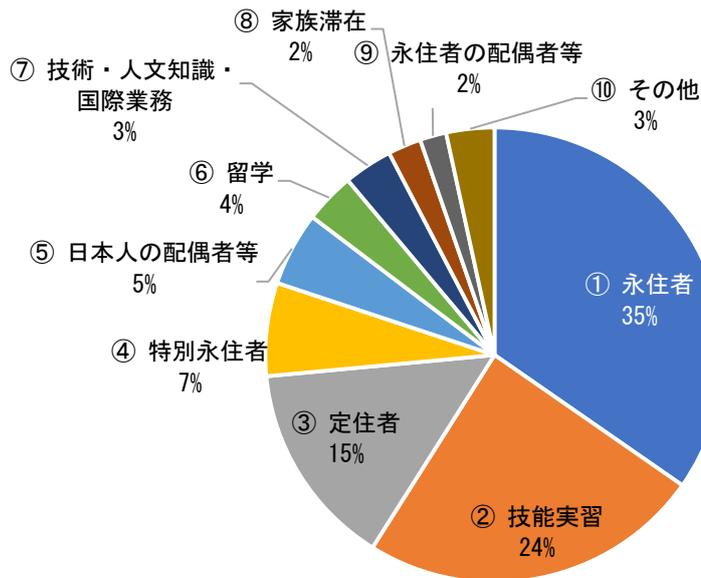


(2019年6月末現在、岐阜県調べ)

問2 あなたの在留資格を教えてください。(N=859)

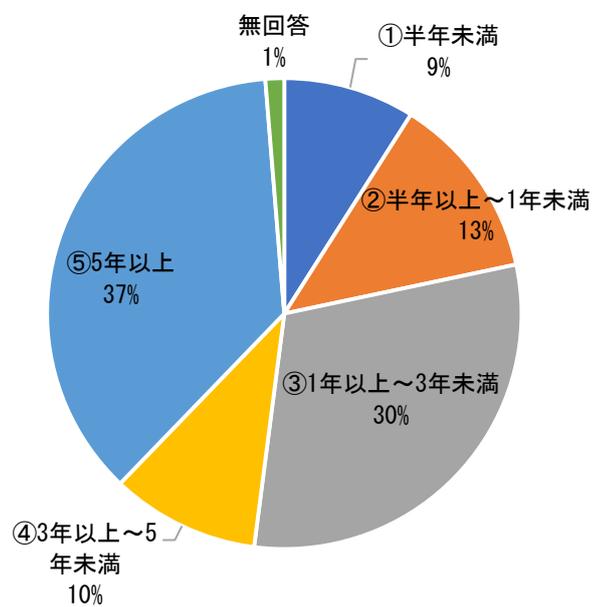


(参考)在留資格別県内在住外国人(N=55,205)

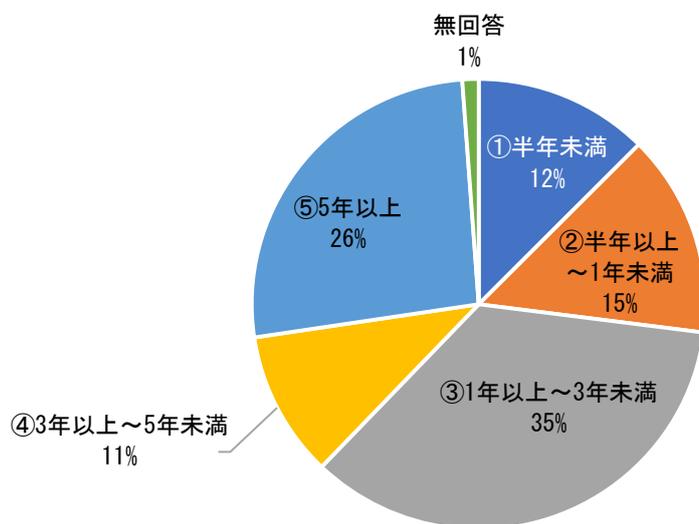


(2018年12月末現在、法務省統「在留外国人統計」)

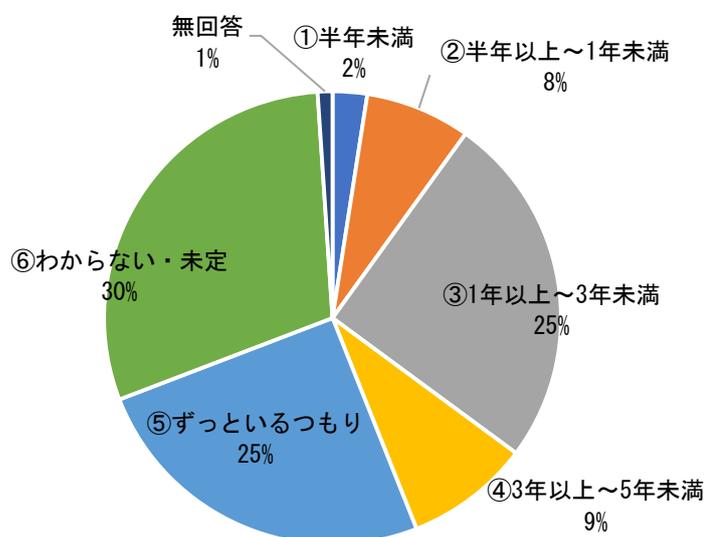
問3 今までに合計でどれくらい日本に住んでいますか？ (N=859)



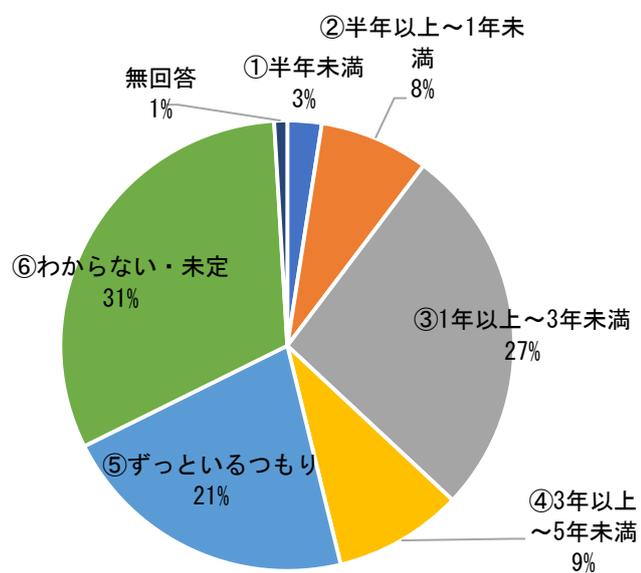
問4 現在お住いの街に合計でどれくらい住んでいますか？ (N=859)



問5 あなたは、いつごろまで日本にいる予定ですか？ (N=859)

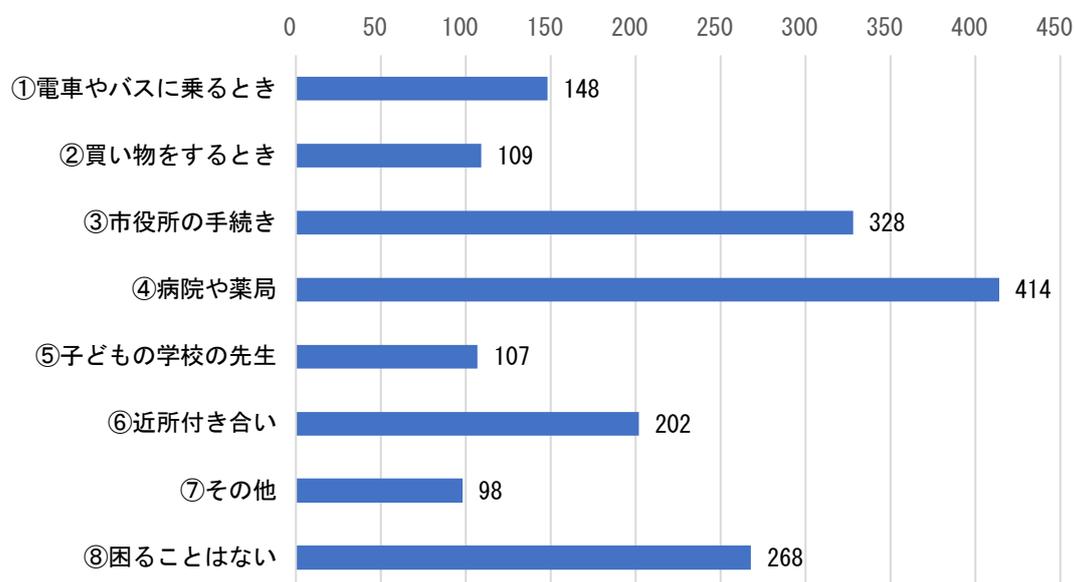


問6 あなたは、いつごろまで現在お住いの街にいる予定ですか？ (N=859)



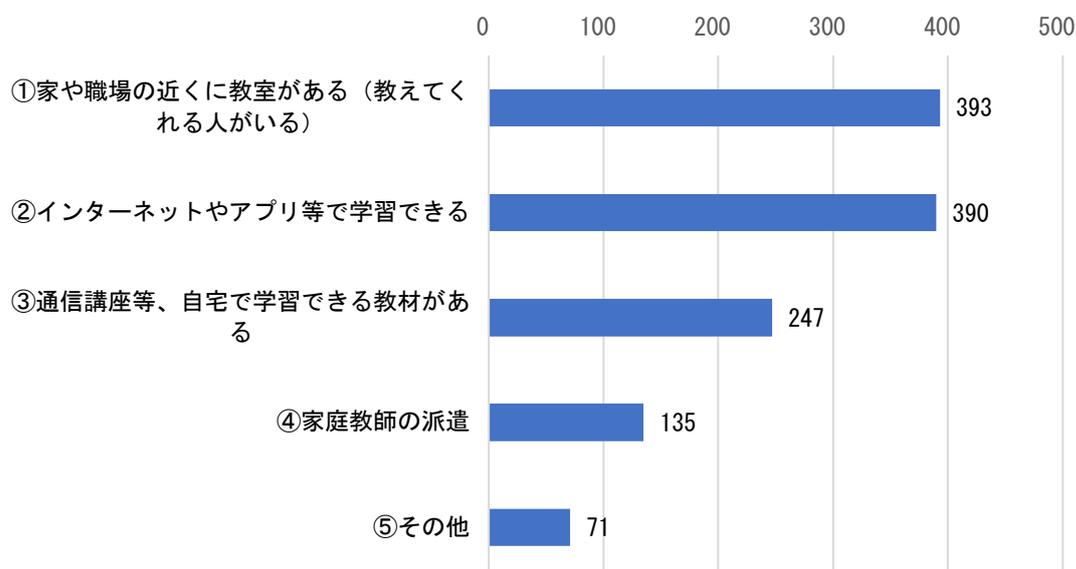
問7 日常生活において、日本語でのコミュニケーションに困ることがありますか？

該当するものすべてにチェックを入れてください。 (N=859)



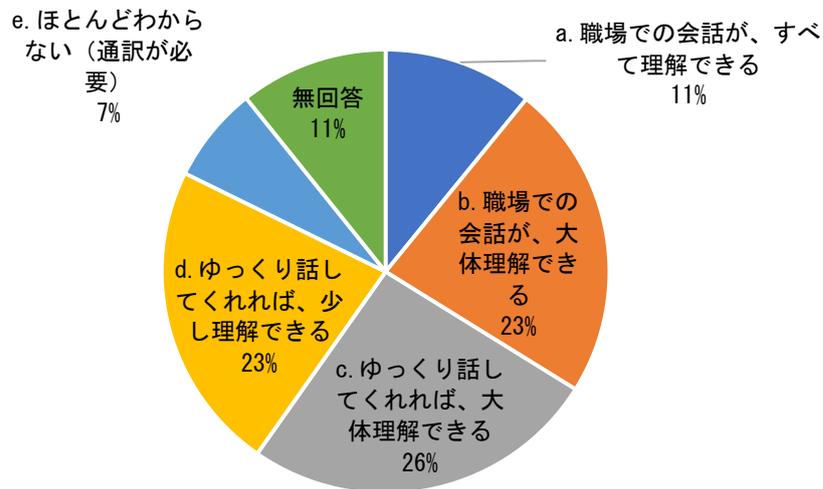
問8 日本語教室以外に、どのような日本語学習機会があればいいと思いますか？

該当するものすべてにチェックを入れてください。 (N=859)

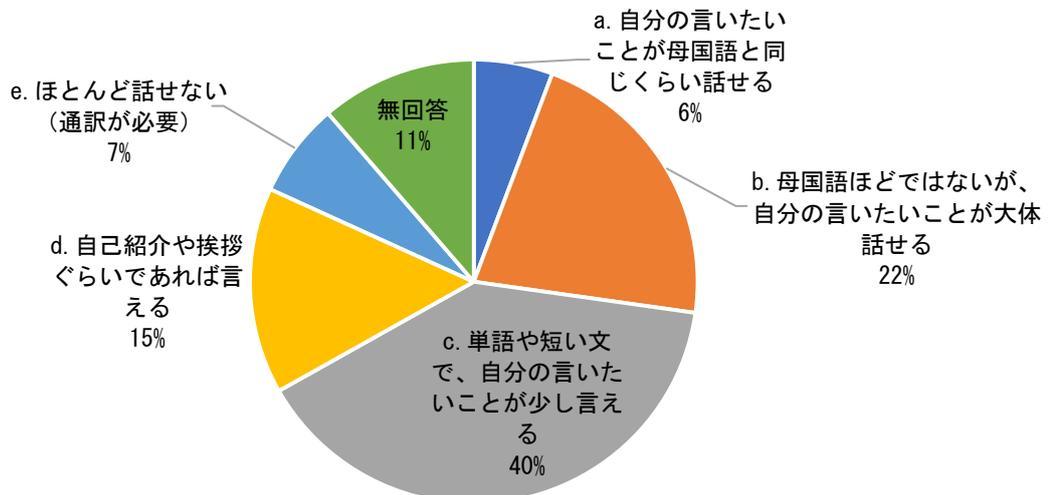


問9 あなたは、日本語をどのくらい理解できますか？下の[聞く][話す][読む][書く]から、それぞれ1つずつ選んでチェックを入れてください。

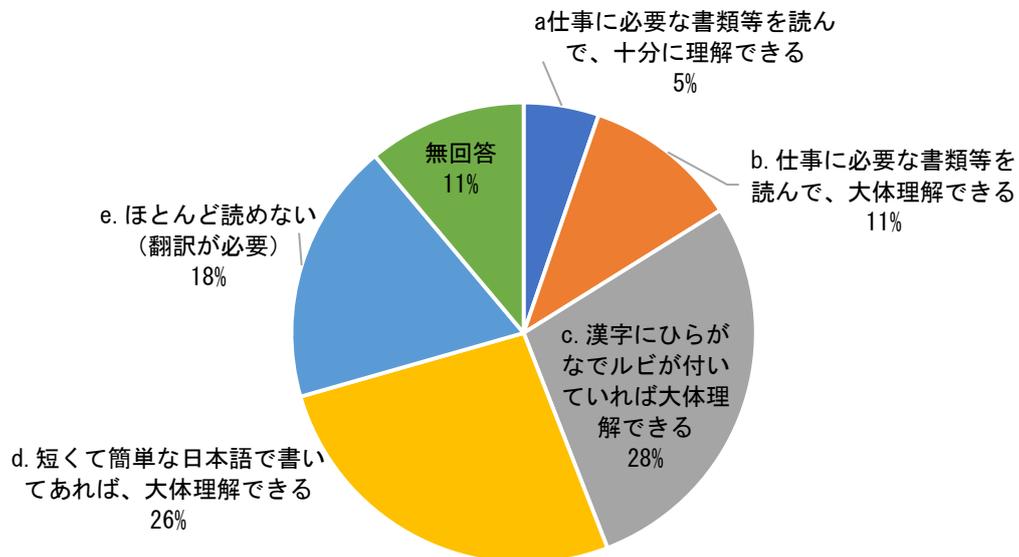
[①聞く] (n=859)



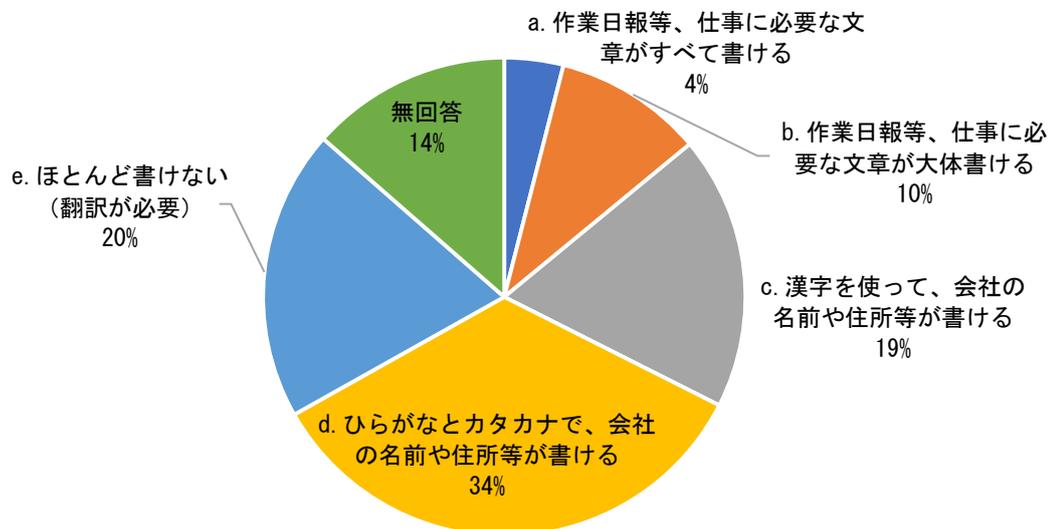
[②話す] (n=859)



〔③読む〕 (n=859)



〔④書く〕 (n=859)

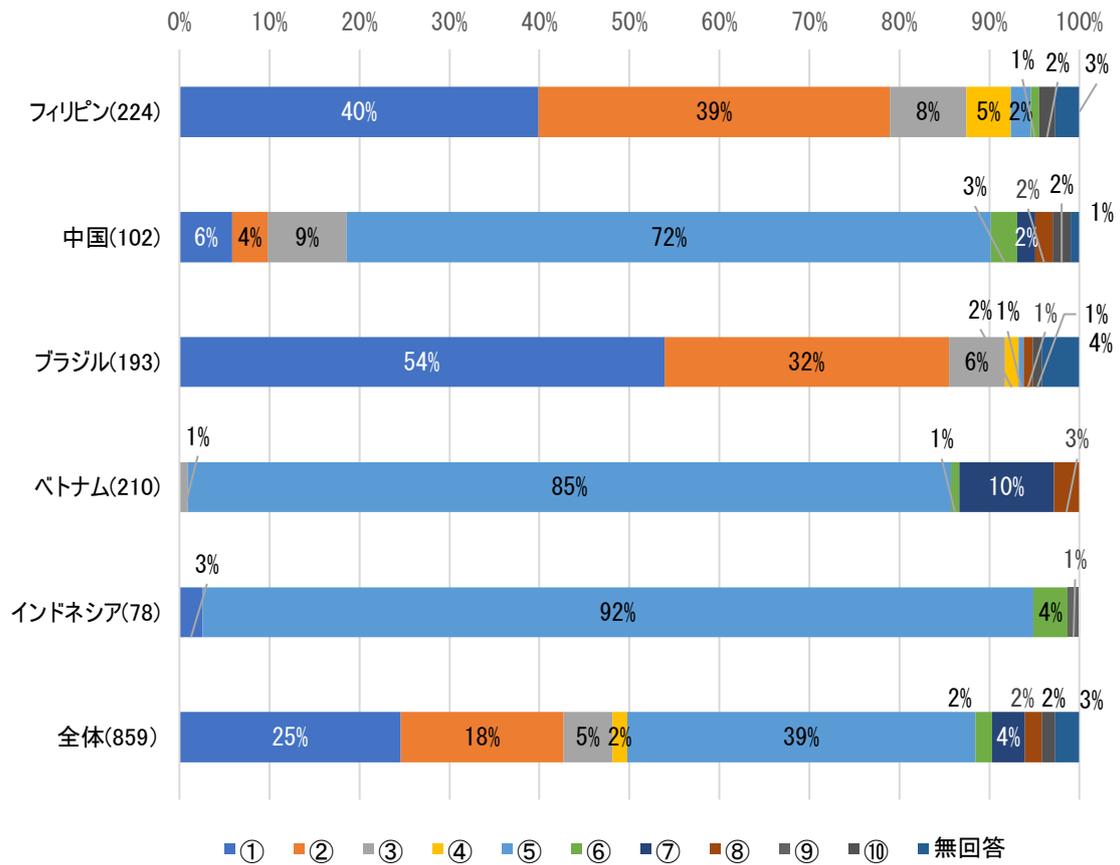


クロス集計

1 国籍別在留資格別割合

(N=859)

国籍横の()内の数値=回答者数(無回答を含む)

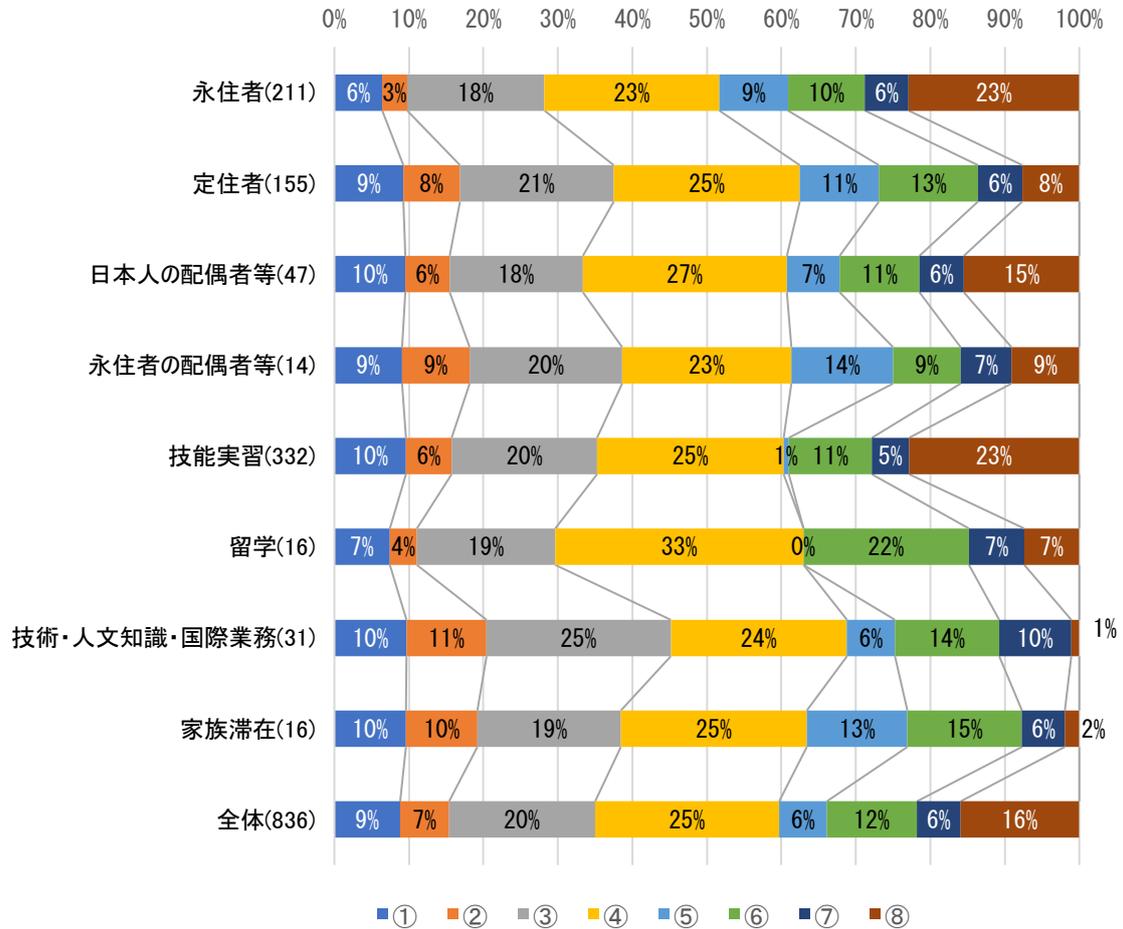


- ①永住者 ②定住者 ③日本人の配偶者等 ④永住者の配偶者等 ⑤技能実習
- ⑥留学 ⑦技術・人文知識・国際業務 ⑧家族滞在 ⑨特定活動 ⑩その他

2 在留資格による違い

1) 日常生活における日本語コミュニケーションの困り事

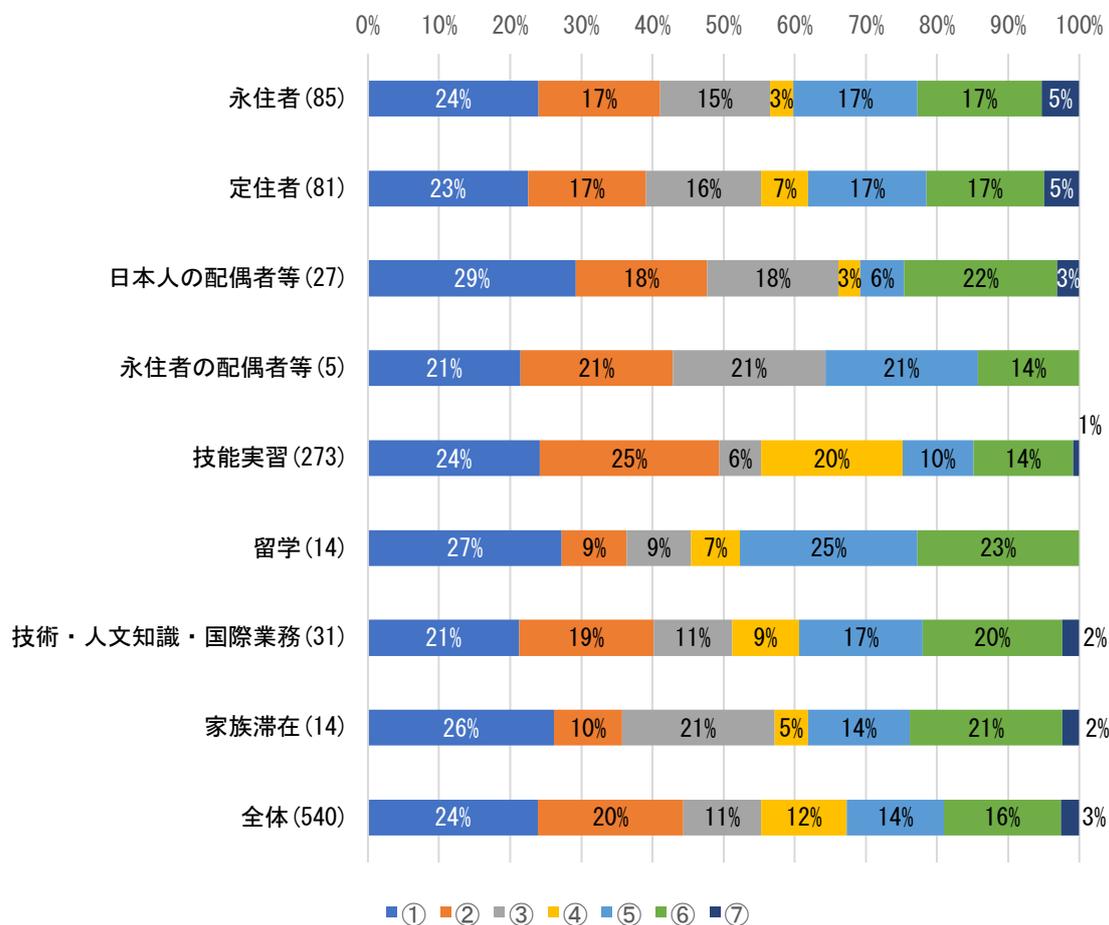
* 在留資格横の()内の数値＝回答者数(無回答を含む)



- | | | | |
|-------------|-----------|----------|----------|
| ①電車やバスに乗るとき | ②買い物をするとき | ③市役所の手続き | ④病院や薬局 |
| ⑤子どもの学校の先生 | ⑥近所付き合い | ⑦その他 | ⑧困ることはない |

2) 日本語を学ぶ目的

* 在留資格横の()内の数値=回答者数(無回答を含む)



①生活するために必要だから

②現在の仕事に必要なだから

③より条件の良い仕事に就きたいから

④帰国後日本語を使った仕事をしたいから

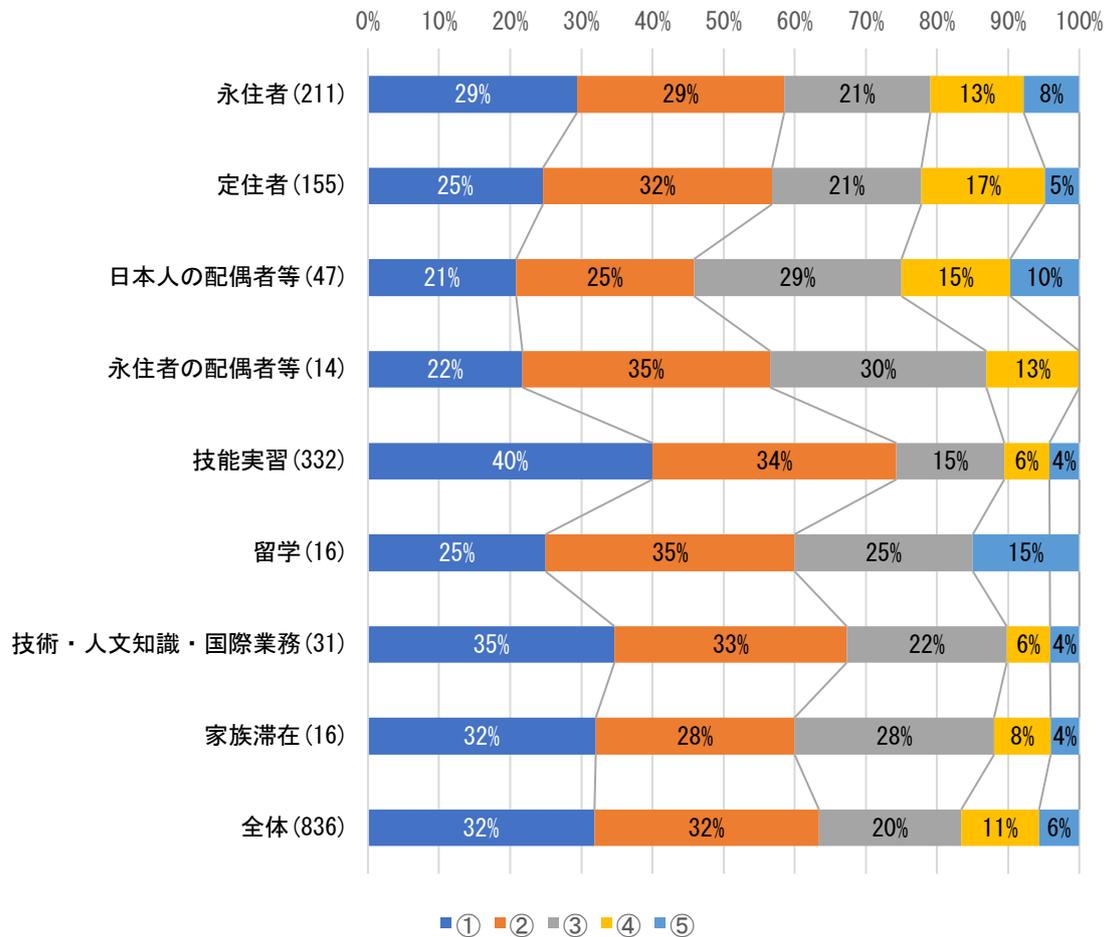
⑤日本人と親しくなりたいから

⑥日本語や日本の文化が好きだから

⑦その他

3) 希望する日本語学習機会

* 在留資格横の()内の数値=回答者数(無回答を含む)

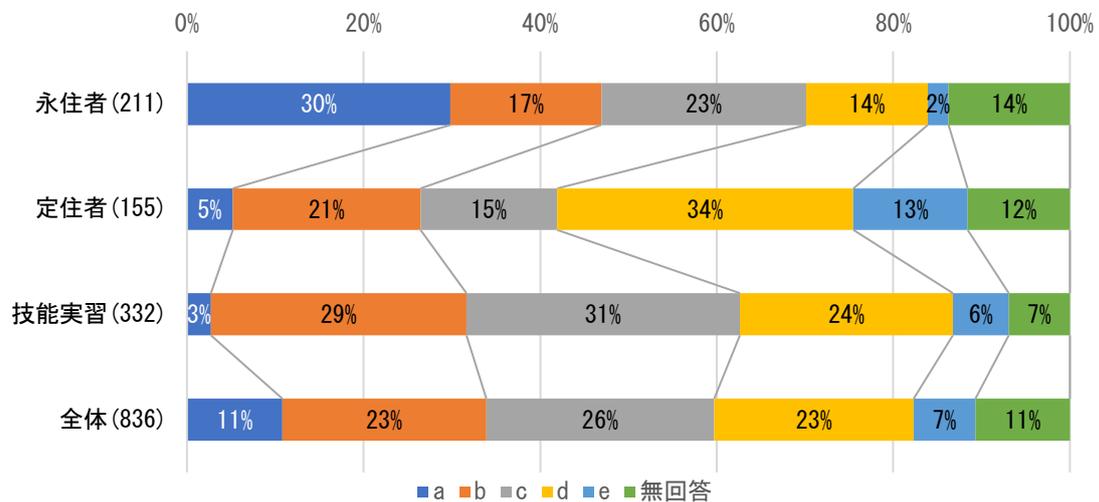


- ①家や職場の近くに教室がある／教えてくれる人がいる
- ②インターネットやアプリ等で日本語が学習できる
- ③通信講座等、自宅で日本語を学習できる教材がある
- ④家庭教師の派遣がある
- ⑤その他

4) 日本語力(永住者、定住者、技能実習、全体の比較)

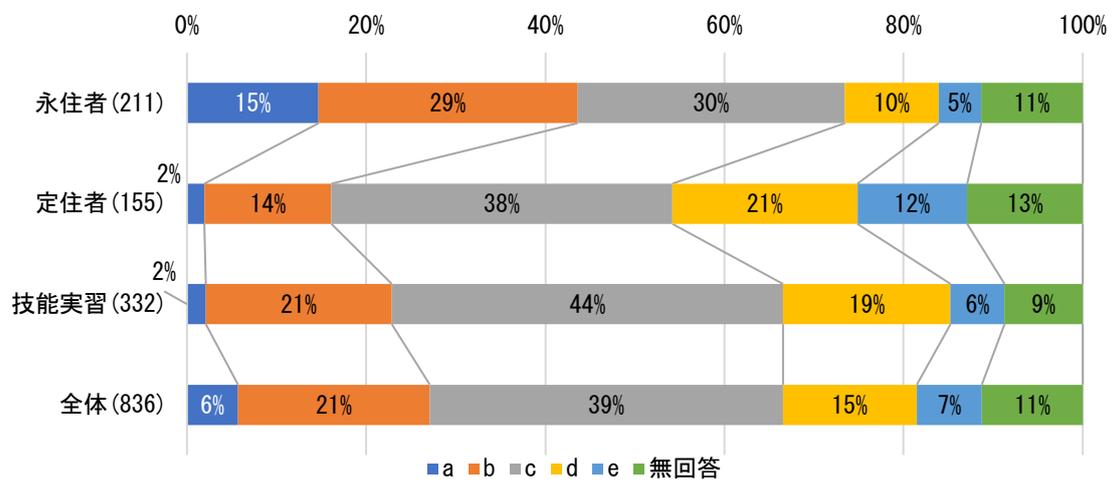
* 以下、在留資格横の()内の数値=回答者数(無回答を含む)

[①聞く]



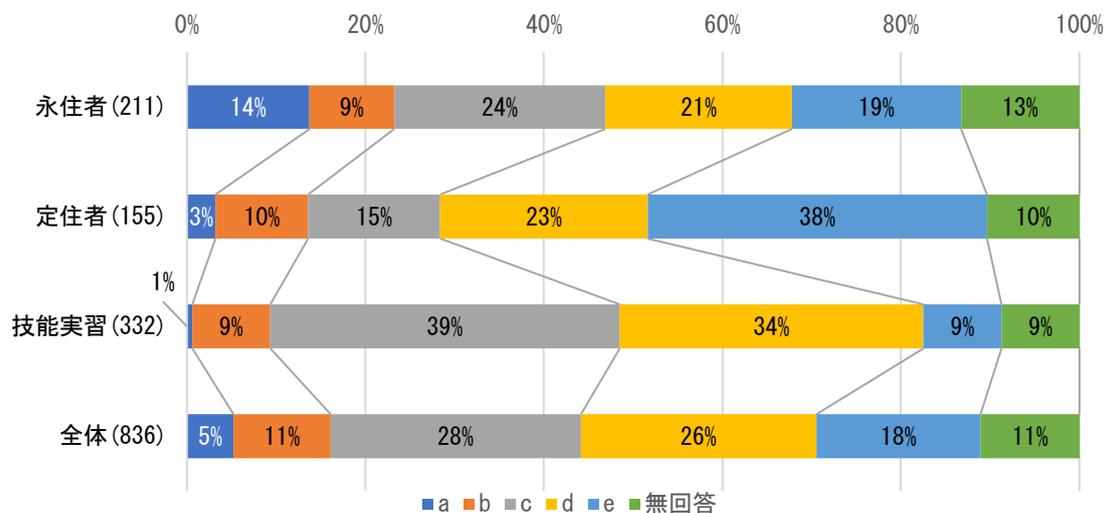
- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| a.職場での会話が、すべて理解できる | b.職場での会話が、大体理解できる |
| c.ゆっくり話してくれれば、大体理解できる | d.ゆっくり話してくれれば、少し理解できる |
| e.ほとんどわからない(通訳が必要) | |

[②話す]



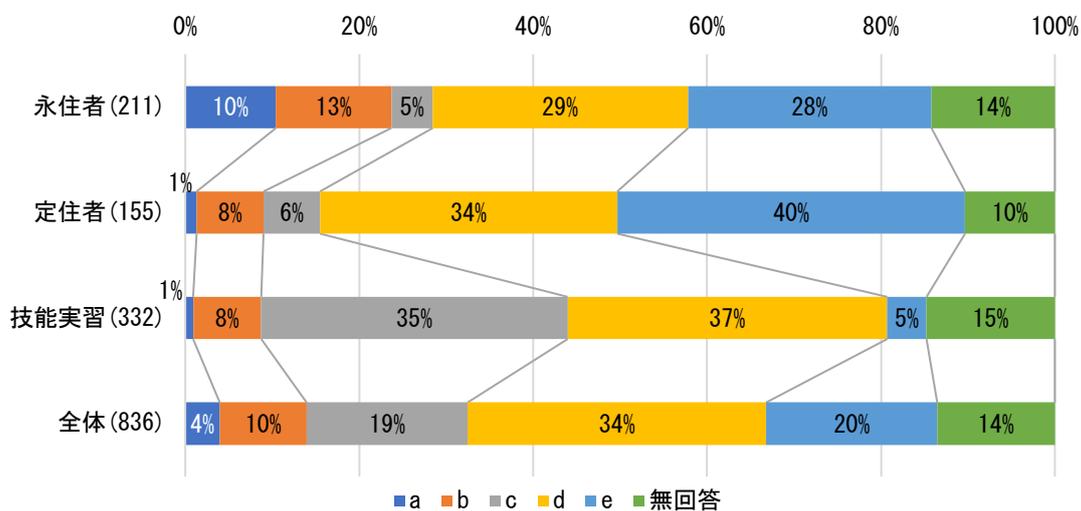
- | |
|------------------------------|
| a.自分の言いたいことが母国語と同じくらい話せる |
| b.母国語ほどではないが、自分の言いたいことが大体話せる |
| c.単語や短い文で、自分の言いたいことが少し言える |
| d.自己紹介や挨拶ぐらいであれば言える |
| e.ほとんど話せない(通訳が必要) |

【③読む】



- a. 仕事に必要な書類等を読んで、十分に理解できる
- b. 仕事に必要な書類等を読んで、大体理解できる
- c. 漢字にひらがなでルビが付いていれば、大体理解できる
- d. 短くて簡単な日本語で書いてあれば、大体理解できる
- e. ほとんど読めない(翻訳が必要)

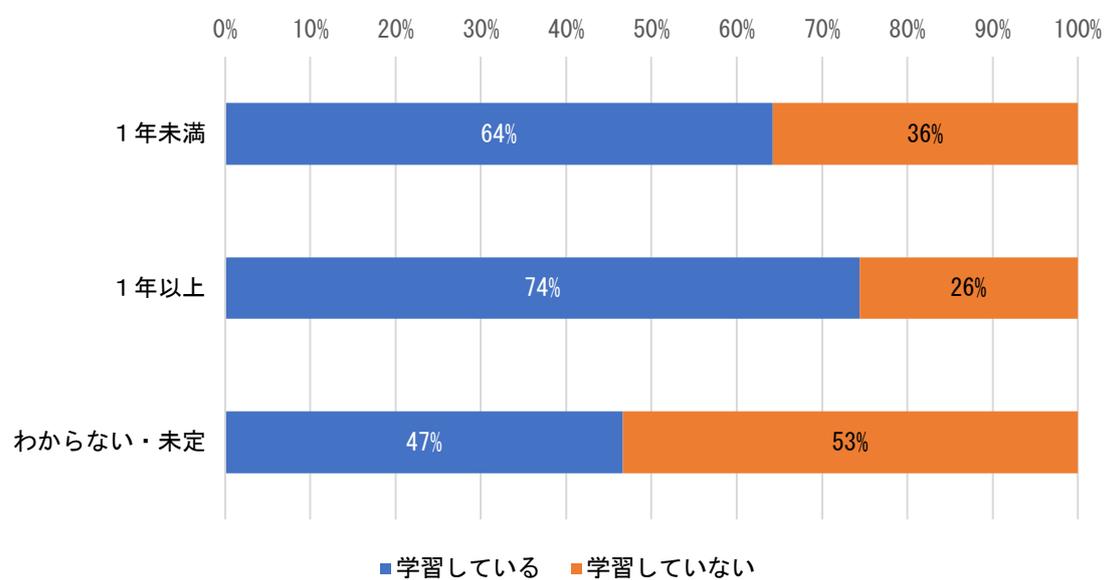
【④書く】



- a. 作業日報等、仕事に必要な文章がすべて書ける
- b. 作業日報等、仕事に必要な文章が大体書ける
- c. 漢字を使って、会社の名前や住所が書ける
- d. ひらがなとカタカナで、会社の名前や住所が書ける
- e. ほとんど書けない(翻訳が必要)

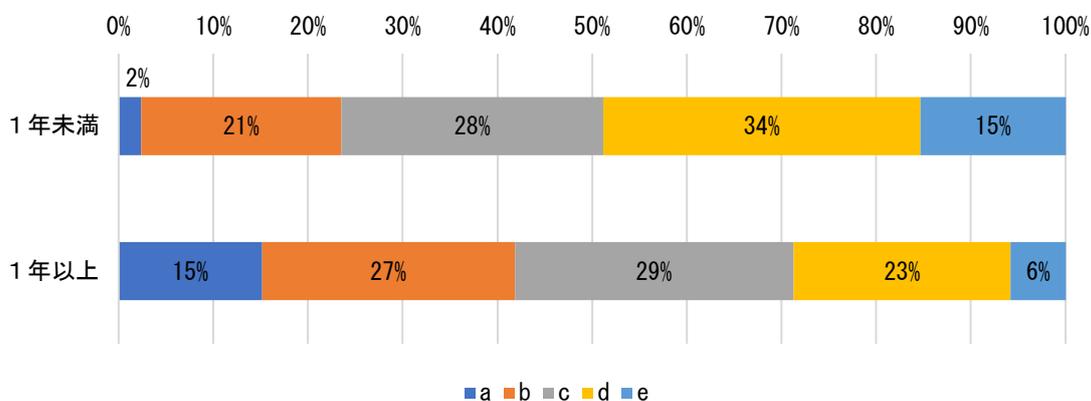
3 日本滞在期間による違い

1) 今後の日本滞在予定期間と現在の日本語学習状況 (n=818)



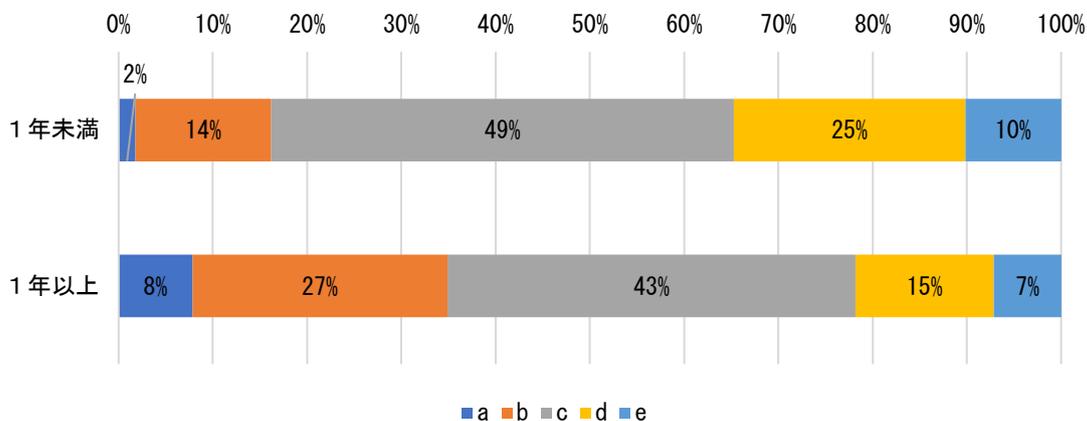
2) 現在の日本滞在期間と日本語力

[①聞く] (n=758)



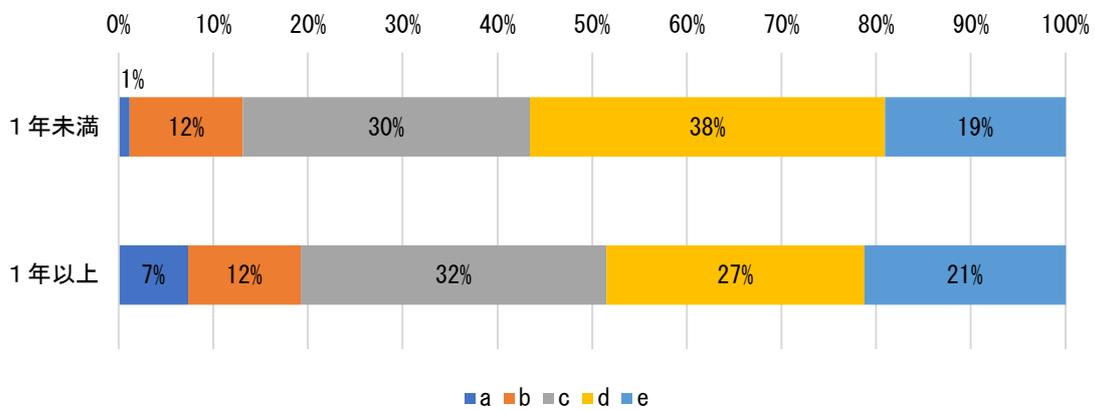
- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| a.職場での会話が、すべて理解できる | b.職場での会話が、大体理解できる |
| c.ゆっくり話してくれれば、大体理解できる | d.ゆっくり話してくれれば、少し理解できる |
| e.ほとんどわからない(通訳が必要) | |

[②話す] (n=754)



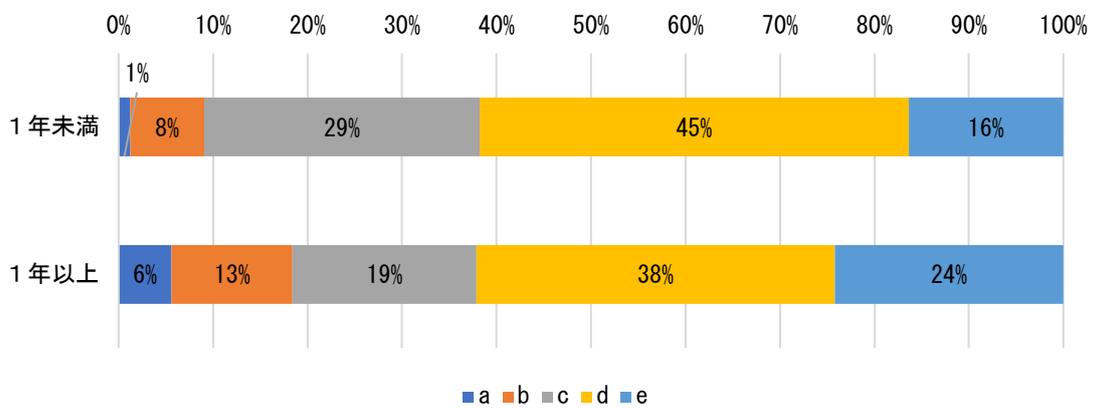
- | |
|------------------------------|
| a.自分の言いたいことが母国語と同じくらい話せる |
| b.母国語ほどではないが、自分の言いたいことが大体話せる |
| c.単語や短い文で、自分の言いたいことが少し言える |
| d.自己紹介や挨拶くらいであれば言える |
| e.ほとんど話せない(通訳が必要) |

【③読む】 (n=756)



- a.仕事に必要な書類等を読んで、十分に理解できる
- b.仕事に必要な書類等を読んで、大体理解できる
- c.漢字にひらがなでルビが付いていれば、大体理解できる
- d.短くて簡単な日本語で書いてあれば、大体理解できる
- e.ほとんど読めない(翻訳が必要)

【④書く】 (n=735)



- a.作業日報等、仕事に必要な文章がすべて書ける
- b.作業日報等、仕事に必要な文章が大体書ける
- c.漢字を使って、会社の名前や住所が書ける
- d.ひらがなとカタカナで、会社の名前や住所が書ける
- e.ほとんど書けない(翻訳が必要)

第3章 ヒアリング結果

1 市町村調査結果

1) 日本語教室の運営主体について

- 市としては、現在、日本語教室は国際交流協会の事業の一つとして位置付けているが、市の担当課職員が協会職員を兼務しているため、実質的には市もやっているような感覚がある。
- 近年及び今後の外国人住民の増加を見据えて、日本語教室だけでなく多文化共生事業を全体的に充実させていく必要もあるだろうと思う。市は協会に補助金等を出して活動を支える、という形態がよいだろうと考えている。他市でもそれが一般的なようだ。
- 市としては、基本的な生活日本語の習得を促したいが、技能実習生等は日本語能力試験の勉強がしたいという希望を持つ人が多いため、具体的なニーズを把握し、それに合わせた教室の紹介ができるといい。現状は、ボランティア団体がその部分を担っている。
- 当市に住んでいる外国人の数は多いため、現状は把握していないが、ニーズはあると予測できる。ただし、担当課職員は2名のみであり、他の業務も兼任していることから、人材不足のため教室開設・運営等はできない。
- 具体的に外国人等から日本語教室をやってほしいという声は聞いていないが、外国人住民数が1,000人を越えているので、本来は必要なのではないかと考えている。
- 単純に、今までだれもやったことがないし、どうしたらいいのかまったくわからない。ニーズの把握方法もわからないし、もしニーズがあったとしてどう応えていけるのかも現段階では不明。
- ずいぶん前から市民団体（＝国際交流協会）が日本語教室を運営しているため、それを市が引き取ったり、市から委託を出したりすることによって、市民の主体性が損なわれたり、活動に制限がかかったりすることはよくないと考えている。
- 国際交流協会も教室運営や日本語指導について専門的なノウハウがあるわけではないので、特に日本語がほとんど話せない入門レベルの人への対応などは難し

く、そのあたりを市として研修会を開くなどサポートしていきたいと考えている。

- 国際交流協会からは、できれば日本語教室は市でやってもらいたいという声もあるが、それは教室運営の負担の大きさが要因にあり、負担が軽減されれば活動自体は協会でやっていきたいのではないかと考えている。
- 当市には国際交流協会のような外郭団体も、外国人支援を専門にしているボランティア団体もないので、自治体が主体となってやっている。委託等をする先がないというのが正直なところ。

2) 教室の目的について

- 市として、生涯学習講座の一つとして位置付けているので、「日本語能力試験 N〇合格」といったことではなく、このまちで暮らすために必要なことを、交流を通じて学んでいただくことが大事だと考えている。
- 最近では技能実習生（介護）が増えていることから、今後は試験対策を求める声が大きくなっていくかもしれないが、それは基本的に雇用する事業主の側でやっていただきたい。
- 技能実習生の増加等を見据えて、今後の教室活動や運営体制のあり方を見直す必要があるのではないかと感じている。それは、ボランティアの中には技能実習生向けに試験対策をしている人もいるようなので、教室では試験対策を行うということではなく、改めて「生活日本語」を広めていきたい。これは当課だけでなく、他の課とも話し合っていきたい。

3) 県に期待するサポート

- 外国人の日本語学習ニーズが多様であるが、その把握とそれに応じた教室活動の実施ノウハウがない。
- 本市と同様の運営形態をもつ他市の取り組み事例を知り、担当者とも意見交換ができる機会があるとよい。県や国の今後の日本語教育施策の方向性や財政的な支援メニュー等あれば教えていただきたい。
- 既存の教室はボランティアが不足しているようなので、ボランティア募集や人材育成、さまざまなノウハウの提供等、県としての幅広いサポートを期待したい。
- ICT教育については、市内にも距離や交通手段の問題で教室に通えない人もいるし、教室に通っている人でも週に1回2時間では足りないと思っている人もいる

だろうから、ICTを活用した学習機会の提供があればいいと思う。ただし、それを市独自に構築することは難しいので、汎用性のあるものを県なり国なりが作ってもらえるとよい。

- 教材の選定・活用方法については、ボランティアも多様な学習者ニーズにどう応えてよいかかわからないようなので、ニーズやレベルに応じた教材が選べるようなアドバイスを外部の専門家や実践者から受けられるといい。
- できれば外部の団体に教室運営をお願いしたいと考えているので、そうした運営を行っている他地域の状況について情報がほしい。
- 必要となる費用について、市からも補助等を出すことも考えるが、県からも何らかの補助があると心強い。
- 当市でも外国人労働者（特に技能実習生）を雇用する企業が増えており、既存の日本語教室への参加を希望する声も多い。ただし、希望者をすべて受け入れられる人的余裕はなく、また学習内容も日本語能力試験対策が中心となってボランティアの負担が大きくなるため、県でそうした対象者・ニーズへの対応をしてくれるのであればありがたく、市としても市内企業への参加呼びかけ等の協力をしていきたい。
- 役所の人手不足で時間もなく、まずは現状把握をしたいが、そもそもそれもできていない。アンケートに回答した内容ができる人材の派遣をお願いしたい。
- まずはニーズ把握が必要。外国人コミュニティやキーパーソンも知らないし、外国人雇用企業とのつながりもないので、だれにどう聞けばいいのかわからない。ニーズを聞き取る際の通訳や翻訳人材の確保も当市だけでは難しい。

4)その他の意見

- 中学校3年生年齢のフィリピン人で日本語力がほぼゼロの子が入ってきたが、そういった子の高校進学までの日本語学習支援等について、どのようなことが選択肢としてあるのかを知りたい。

2 市町村教育委員会調査結果

1) 子どもの日本語学習支援に関する外部団体との連携について

- 子どもたちへの学習支援をしっかりとしたノウハウのある他市の国際交流協会へ委託して行っている。
- 子どもの学習支援については市国際交流協会に依頼して通訳を派遣している。
- 入学後、子どもの日本語学習に特化した支援は行っていないが、市教委で人材バンクを持っており、通訳として必要な場合に学校に派遣している（有償）。

2) 外国人保護者とのコミュニケーションについて

- 教員からは、日本語での各種連絡事項がきちんと伝わっていないことがあると聞くが、保護者は入学手続きを終えると接点がなくなるので、こちらでは把握していない。
- 今は支援員等の協力を得て通訳・翻訳ができていますので、実は困っているという声は聞いていない。そういう人がいなくなったら困る。
- 両親ともに日本語がまったく通じないという人は少数派。
- どうしても困ったら他市の国際交流協会に相談するが、今のところは大丈夫。保護者について、日本語学習の希望があれば、国際交流協会がやっている日本語教室を紹介するなどするが、今のところそのような希望を聞いたことはない。
- 入学手続き時には、何か細かいことを伝えたり、発達検査の結果によっては配慮が必要な内容を伝えたりする際に通訳が必要となる。
- 三者面談のように予め通訳が必要だとわかる場合には準備することも可能だが、子ども同士が喧嘩をした際に保護者を呼んで説明するなど、緊急時の対応には通訳が手配できず困ることがある。

3) 県に期待するサポート

- いちばん必要なのは人的支援。通訳人材の確保・育成を拡充していただけると助かる。時期や内容、言語によって、県教育事務所や市国際交流協会からの派遣だけでは対応が難しいこともあるし、今後の増加を考えるとマンパワーを増やしていく必要がある。
- 当市だけでなく近隣市や県内全域を見渡したときに、日本語学習の支援状況における自治体間格差が大きいと感じている。外国人は日本人に比べて移動が激しい

ので、移動した先で支援が途切れるようなことがないように、全体的に支援の充実が必要だと思う。

- 20年前に来日した人が十分な支援を受けられないまま「ダブルリミテッド」の状態になり、子どもができ、学校や親子間でのコミュニケーションがうまくいかない人もいます。今後はそういう人が増えていかないように、広域での支援システムの構築や、それに必要な人材の育成・確保が必要だと思う。

3 国際交流協会調査結果

1) 教室運営やボランティアについて

- 近年ニーズが多様化し、受講希望者も増えているため、教室活動は拡充させていきたい。ボランティア主体による運営に切替えていきたい。
- 本来1対1で教えられるといいが、指導者が足りないため小グループでの対応になっており、常時ボランティアを募集している。
- 必要があれば国際交流協会日本語ボランティア養成講座を開催するようにしているが、受講者はいても活動に参加・定着する人が少ない。
- 今いるボランティアは名古屋で勉強してきており、そこでのつながりから声かけをしているそうなので、近隣市含め広く募集できるといい。
- 若い世代で日本語を教えられる人が増えるといい。日本語を学びたい外国人は若い世代が多いが、日本語を教えるのは高齢者が多い。
- 国際交流の仕事に携わった人が、副業的に有償で地域の日本語教室に関われる仕組みがあるといい。

2) 教室の目標、評価について

- 日本語能力試験に合格したい人や、日常生活で困らないよう居場所を求めている人等、教室への参加目的が一人ひとり異なるため、教室によって、全体的な目標設定が可能かどうかは異なる。
- 技能実習生は残業があり、夜の教室に参加できない人も多い。子育て中の人に参加できる時間帯とも異なる。選択肢を増やすために一昨年度、教室の種類を増やした。
- 初級クラスは最低限生活に困らないように基礎的なことをやっている（N4レベル）。目標設定が難しいため、測定方法がわからない。
- ボランティアは楽しく会話しながらやりたいという人が多い。日本語能力試験合格を目標とすると、ボランティアの中に指導力において序列が生まれてしまい、モチベーションも下がってしまう恐れがある。
- 現状の活動には満足しており、参加者数等によって事業費を削減するということも考えていないので、特に数値的な成果を求めることはしていない。

3)教室の周知について

- 学習者も毎週必ず参加するわけではないため、今年から facebook やホームページの運営を始めた。
- 外国人は facebook をよく使っていると聞く。技能実習生は点在しているため協会としても繋がりにくい。
- 日本語学習を必要とする人に情報を届けていきたいが、市内には外国人コミュニティがない。外国人は他市に行って友達と集まったりしているようなので、そういうところでも広報ができるといい。

4)他団体等との連携について

- 市内の教室と市外のボランティア団体や教育委員会のプレスクールとの連携ができると、相互に日本語教育が必要な人の紹介や、活動に関して情報共有ができるようになる。
- 市内外の関係者等との横のつながりがあれば、学習者が移動する際にも連携がとれる。

5)県に期待するサポート

- 日本語教材の選定・活用については、日本語教育の経験がある人が選定している。業者が営業に来て説明されるが、客観的な情報がほしい。
- 県が実施している日本語教育事業の情報がどこにあるかわからない。具体的な事がウェブサイト等で分かるといい。既にあるのであればもっと周知してほしい。
- 教室の運営方法や学習者ニーズに合った日本語教室の紹介（マッチング方法）についての情報、効果的な広報、ボランティアの謝礼の支払い基準設定・支払い書類等、他地域の先行事例の情報がほしい。
- 事業所から日本語教師を紹介・派遣してほしいという依頼もある。「日本語教育人材バンク」のようなものを設置して、賃金単価も設定し、地域別（中濃・岐阜・飛騨等）に派遣可能な教師リストが県のホームページに掲載されるといい。

6)その他の意見

- 市内には外国人を雇用している事業所が多く、利益を得ているのは企業。協会に来るよりも、各事業所が日本語教師を雇用して、社内で日本語を教えるほうがいいのではないか。

4 日本語教室代表者調査結果

1) 教室運営やボランティアについて

- 日本語指導者が足りていない。口コミでどんどん学習希望者が来るが、指導者は増えていない。指導者1人に対して学習者は2～8名。できれば1対1でもっと質の高いレッスンを行いたいと思っている。
- 多い時にはボランティア一人が一度に10人程度に教えることもあるが、それでは学習者一人ひとりの発話機会が少なくなるため、基本は少人数クラスで対応するのがよいと考えている。
- 指導者のモチベーションアップが大切。そうしないと適切な日本語学習の機会を提供することができない。
- 年間2、3人が見学に来てくれるが、活動の様子を見て「こんな難しいことはできない。毎週休まず参加するのも難しい」と言って実際には参加してもらえないことが多い。
- ボランティア不足から学習者の募集については現在ストップをかけているところ。

2) 教室の目標、評価について

- 目的は日本語の習得で、生活支援等は相談があれば聞くようにはしている。学習者のほとんどが日本語能力試験を受験するので、その結果を聞いたりもするが、きちんと確認したりはしていない。
- 日本語能力試験（N3）の合格率で評価している。ほぼみんな合格して出ていくし、勉強していく中でN2やN1を目指すなど、学習の意欲を高める学習者もいる。受講開始時にニーズを聞いて、ニーズに合った形で授業を進められるようにしているが、一番多いリクエストはN3合格。

3) 県に期待するサポート

- もっと市に能動的に動いてほしいし、多文化共生を積極的に進めてほしい。岐阜県の中でも外国人が多い市であるにもかかわらず、ほとんど動いていないし、私たちの活動に協力的ではない。県から働きかけてもらえないか。

- ボランティアのスキルアップ講座を広域で開催してほしい。県国際交流センターが開催する講座に参加したこともあるが、岐阜市まで行くのが大変。県内各地で、参加しやすいところで開催してもらえると助かる。
- 近隣地域でボランティア同士の交流会・情報交換会を開催してほしい。
- 子どもたちのためにも保護者のためにも、小中学校での外国人受け入れ体制を充実させてほしい。ボランティアの中には見るに見かねて個人的にサポートに入っている人もいるが、やはり学校としての体制整備が重要。

4)その他の意見

- 市も外国人雇用企業も当教室活動に対しては何の支援もなく、外国人への日本語教育が丸投げされている。
- 現在、活動しているところは立地が良く、いろんな方面からの学習者が通っている。ただ、学習者が増えすぎており、市の施設を無料で借りられるといい。
- 市は地域おこしをと言っているが、外国人にとってどこよりも住みやすいまちづくりをすることも地域おこしのポイントの一つではないか。実際、地元の祭の神輿を担いでいるのも多くが技能実習性。市も企業も、日本人がやらない・やれないことだけを外国人に担わせているようなことではいけない。
- 日本語教師資格を取得する際に、国や県から補助があると助かる。
- 企業が社内で日本語教室を開設する際に、活動費の補助等何らかの支援があるとよい。そうすれば、もっと雇用企業が従業員のことを考えてくれるようになり、当教室の負担も軽くなる。

5 日本語学校調査結果

1) 地域の日本語教育との関わりについて

- 国際交流協会が開催している全 12 回の講座に、毎年 5、6 名の講師を派遣している。先方がいろいろな講師を希望されているので、多いときは 10 名になる。直接、外国人学習者に日本語を教えている。
- すでに関わりを持っている団体以外からも依頼があり、マッチング可能であれば検討したい。他地域の国際交流協会からは、交流イベント等に当校の学生の参加を依頼されており、都合がつく学生を紹介している。今後もそうした機会が地域で増えれば、日本人住民の外国人への理解も深まってよいと思う。
- 他市の専門学校には講師を派遣したりしているので、講師の活躍の場が広がればよいし、留学生も地域の人々と交流したり、地域活動で何かお手伝いしたりする機会があるといい。
- 今はベトナム人しかいないため校内のコミュニケーションもほとんどがベトナム語であり、日本人と日本語でコミュニケーションする機会が不足している。地域のイベント情報等をもらえるだけでも嬉しい。
- 以前、在住外国人の方が日本語を学びたいと相談に来られたが、当校のプログラムとはニーズが合わず、市内に日本語ボランティア教室などがあるだろうと思って他をあたってくれるよう伝えたが、実際にそういう教室がどこにあるのか知らない。
- 講師は県外から通ってきており、職員の中に一人も市内の関係機関につながりがないので地域の情報が入ってこない。

6 大学調査結果

1) 地域の日本語教育との関わりについて

- 留学生別科で日本語教育を行っており、地域貢献を検討する中で在住外国人の希望者にクラスを開放し始めた。受講人数は多くないが、比較的中国人が多い。
- あくまでも留学生を対象に行っている日本語教育のため、在住者のニーズにはあっていないと思っている。自分たちの持っているノウハウは役に立たないと思う。
- 本校の日本語教師の多くは名古屋在住のため、この地域で派遣するにも教師の意向によるところが多い。ただ、協力したい人は多いと思うので、学校から通知を出して協力者を募集したりすることは可能。
- 学校として、教材作成などの協力はできる。
- いろいろなところで日本語教育が行われているが、他の地域や自治体での取り組み等を知る機会がない。県などが中心となって、連携して取り組みや人材を共有できればより効率的な活動ができると思う。
- 日本語教育事業に関して各種相談できる窓口が、県国際交流センターにできるとよい。

7 外国人雇用企業調査結果

1) 日本語での意思疎通について

—技能実習生

- 仕事の指示等については単純作業については問題ないが、原理・原則や必要性についての理解が難しい。
- 説明するとうなずくが、理解しているかどうかは疑問。組合の通訳を名古屋から手配したことがあるが、朝9時前で時間外も請求された。
- 事前にオリエンテーションで説明を受けているはずなのに住民税の仕組み、税制の理解ができていない。
- 来日時にできていた日本語が、帰国時にはできなくなっている者もいる。
- ベトナム人実習生はベトナム語のSNSや動画の中で生活している。
- 入国時に高い日本語力は期待していないが、思った以上に母国での日本語教育がうまくいっていないためか、日常会話さえままならない人が少なくない。
- 生活面においては、病院や銀行等での手続きをする際、どうしても通訳が同行しないと実習生だけでは難しい。市内の病院には通訳がいないので大変。こうした場面での日本語を学ぶ機会がほとんどなく今後も通訳頼みになるだろうが、それでは実習生も不便だろう。

—派遣社員

- 派遣会社に任せてあるが、権利説明が不十分ではないかと思う。
- 日本語が分かる人の方が仕事を見つけやすいが、日本語能力によって給与が違うことはない。日本語ができてリーダー格になれば仕事も違うし時給も上がる。
- 可児市、美濃加茂市は外国人を受け入れる学校、店舗、病院等環境が整っており、生活に困らないと思う。

—研修生

- 1年間の研修生については、入国前にほとんど日本語教育をしていないため、入国時のレベルは日本語能力試験N5にも満たない。
- 研修では日本人従業員とのやりとりはほぼ日本語で、口頭でのコミュニケーションや年に3、4回の活動報告、帰国前の研修報告等も日本語であるため、来日してしばらくは意思疎通に困ることが多い。

2) 日本語学習機会について

- 日本語教室に通う者もいるが、地域のバトミントンクラブに参加し、優勝した者も

いる。そういう人は日本語を自然に学ぶ。

- 就職して1年くらいで日本語力が変わる人もいるが、変わらない人もいる。学びたい人は自分で教室を探し、可児のフレビア等に行っている。
- 関市の日本語教室に通い、能力試験対策をしている者がいることは知っているが、自転車で40分～50分程度かかり、安全を考慮すると会社として積極的に勧められない。美濃加茂市内に教室があるとよい。
- 地域の日本語教室に通って、日本語能力試験N2やN1に合格する人もいるが、多くは仕事だけで精一杯で、週末に教室に通ってまで日本語を勉強する余裕はない様子。こちらからも日本語学習を推奨してはいるが、無理強いはしていない。

2) 企業での日本語教育の取り組みについて

- 毎週金曜日の10～12時に、社外から日本語教師を派遣してもらっている。テキストは『みんなの日本語』を使い、基本的な文法を学んでいる。
- 仕事上必要な専門用語は、各職場で上司や先輩に教えてもらっている。
- 日本語教育は、時間外に取り組んでもよいと思うが、指導方法が分からない。テキストがあれば、業務終了後に1～2時間教えてもよい。また、恒常的に助成金があればよい。
- 就業後に日本語講師を頼んで学習することは難しいが、家庭学習できる教材があれば紹介してもよい。
- 技能実習生受入団体で実施するのは法定講習のみ。それ以外は、希望者には養老町国際交流協会や大垣国際交流協会がやっている日本語教室を紹介している。
- ニーズがあれば、日本語の習得に対して何らかのインセンティブをつけることも考えたいが、団体では法定講習以上のことをやるのは難しく、受け入れ企業の理解と協力が必要。
- 現在、市国際交流協会が日曜日に開催している日本語教室への参加も勧めているが、先方もボランティア不足で受け入れが難しいとのこと。ご迷惑にもなるので、新たに受け入れる実習生には協会の教室は紹介しないつもり。

3) 県に期待するサポート

- インターネット等オンラインで学べるもの、特に映像付きの教材があれば場所を選ばず学習できるので、県で作成してもらえると助かる。

- 対面での交流を充実させてほしい。日本人住民から「おたくの外国人社員が〇〇して困る」といった言われのない苦情や噂が無くならない。
- 日本語能力試験の前だけでも、短期集中の対策講座を開いてくれば、受験する実習生は喜ぶだろう。
- 技能検定試験問題の多言語化を国に働きかけてほしい。せめて、学習教材は実習生の言語に合わせた翻訳教材を作成してもらえると助かる。

8 外国人学校・コミュニティ調査結果

1) 仕事や日常生活における日本語コミュニケーションについて

- 日本に長く住んでいる人が多いので、日常生活は大丈夫な人が多い。
- 混み入った話ができない。市役所に行くとか、パスポートを更新するとか、銀行、入管、病院などで必要となるコミュニケーションに対応することができない。
- 基本的に、保護者はほとんど日本語ができないため、いろいろな相談が寄せられる。スタッフでわかることは教えてあげるし、わからないことは市役所など通訳がいるところに相談するように言っている。

2) 日本語教育のニーズについて

- 自団体では日本語教育は行っていない。それは、団体の役割が日本語教育ではないから。
- 自分に仕事がなく時間十分であれば、日本語教室の開講は検討の余地があるかもしれないが、今はない。
- 以前、少しやっていたことがあるが、やっているうちにだんだん受講者が少なくなっていくのでやめた。仕事が忙しかったり、モチベーションが続かなくなったりするので、なかなかうまくいかない。
- 県や市がプロの日本語教師を（無償で）派遣してくれるのなら、再開を検討してみてもいいが、自分たちだけではやれない。子どもたちの教育だけで精一杯。
- 市は良くサポートしていると思う。ただ、フィリピン人の多くは仕事をしている。質の低い日本語教室（ボランティアがやっているようなところ）で、上達を感じなければ時間を無駄にしていると感じていなくなってしまう。

3) 県に期待するサポート

- 質の高い教室が安価であると良い。
- 自団体での日本語教育の提供は週1～2回程度であるが、毎日の日本語教育が必要なケースもあり、県内のボランティア教室～日々通学できるような学校（有償）まで、一覧になった教育提供団体等の情報があるといい。
- 日本語教育をやるというなら、責任を持ってずっとやり続けてほしい。そうでないと、私たちとしては協力できない。

9 外国人調査結果

1) 仕事や日常生活における日本語コミュニケーションについて

- 仕事の場合は、日本人からの指示がわからないことがある。休憩時間におしゃべりするときも時々わからないが、聞き返すとわかりやすく教えてくれることもある。
- 仕事においていちばん困るのはトラブルへの対応時（機械に不具合が出た時のコミュニケーション）。日本語で説明を受けたり、自分の意見を伝えたりすることが難しい。
- 漢字があまり読めないから、買い物とか市役所の手紙とかわからないが、店員さんとか友達に聞いて、説明してもらえばわかる。
- ムスリムにとっては大垣市内にハラル食材のお店がないので、食品表示に注意している。
- 日常生活ではあまり日本人と話す機会がないが、買い物をしたり、電車に乗ったりするときに見る漢字は読めないものが多いので、必要な時は近くにいる日本人に教えてもらう。
- 正直に言うと、あまり困ることはない。仕事の時は通訳がついてくれるので、何か困ったら彼が解決してくれる。
- 日常生活も家族の中に日本語がわかる人がいる。一人で行動するときには困ることがあるが、あまり一人で行動することはない。
- いつもフィリピン人と一緒にいると、日本語ができなくても大丈夫。私たちはフィリピン人の友達と一緒にいることが多いから生活には困らない。

2) 日本語学習について

- 社内での日本語クラスは基本的な文法を習っていて、作業現場に必要なことは現場で教えてもらうので、それぞれ、仕事と日常生活に役立っている。
- 以前、国際交流協会の日本語教室に参加していたが、ボランティア不足により次のクラスに参加できなかった。基礎的な日本語が学べてよかったし、他の国の人といっしょに日本語でコミュニケーションがとれて楽しかったので、継続できずに残念だ。

- 学校で勉強するだけでは、あまり身につかない。実際に日本人と話す機会がないと、勉強してもすぐに忘れてしまう。日本語を使わざるを得ない状況になれば、勉強する人は増える。
- できれば、日本に来てすぐ教えてくれるところがあったらよかった。日本に来たばかりのときは、やっぱり日本語を勉強しようという気持ちも強い。
- 学びたい気持ちは以前からあるが、仕事が忙しく、あまり困ることもないので、なかなか行動するまでに至らない。日本人だって、外国人と話す機会や必要性がなければ、外国語を覚えようとはしないだろう。
- 日本の生活に慣れてしまうと、日本語ができなくても大丈夫だと思ってしまう。
- 日本人でポルトガル語ができる人はほとんどいないので、私たちよりも日本人にとってのメリットのほうが大きいのではないか。市役所や病院も、通訳を雇わなくて済むのでお金もかからなくなる。
- 日本語が上手になっても給料が上がらないので残念。国に帰った時、日本語ができたほうがいい仕事が見つかりやすい。
- 日本語が上手なほうがいい仕事がある。仕事もいろいろ選べる。日本語があまりできないと、仕事のチャンスも少ない。給料も上がるし、いい仕事をしたいと思ったら、絶対に日本語は必要。
- 帰国後も日本語を使う機会があるので、日本語ができた方がいい。帰国後はYoutube等で自学自習が基本であるが、会社としてサポートがあると嬉しい。

令和元年度 岐阜県日本語教育実態調査結果
令和2（2020）年2月発行

岐阜県清流の国推進部 外国人活躍・共生社会推進課

〒500-8570 岐阜市藪田南 2-1-1

058-272-1111（代表）

※この調査は文化庁の補助により実施しています。

